

（１１）保育所

１）施設概要

① 設置目的等

保育所は、保護者が仕事や病気のために保育できない場合、０歳から５歳までの未就学児を保護者から預かり、保育を行う施設です。公立保育所は昭和３３年開設の蒲生保育所のほか、昭和４０年代から５０年代の急激な人口の増加による乳幼児の増加や、それに伴う需要に応えるため計画的に整備を進めました。

現在、市内の保育所数は公立保育所が１８施設、私立保育園が１６施設の３４施設となっています。



荻島保育所



大相模保育所

施設一覧（公立保育所）

（定員、児童数は平成２４年４月１日現在）

	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	入所児童数(人)							認可 定員 (人)	入所率	待機 児童 (人)	備考
						0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計				
市 立	１ 蒲生保育所	蒲生寿町9番23号	814.38	昭和44	鉄筋コンクリート造	6	12	15	30	43	25	131	150	87%	1	
	２ 大袋保育所	大字恩間150番地3	929.98	平成24	木造	6	10	15	21	24	25	101	120	84%	2	
	３ 大相模保育所	大成町一丁目2158番地	402.91	昭和41	木造	0	0	0	11	19	23	53	70	76%	0	
	４ 桜井保育所	大字平方1349番地	486.33	昭和43	木造	0	0	15	18	21	23	77	90	86%	0	
	５ 増林保育所	東越谷八丁目180番地	982.70	平成14	木造	12	19	21	23	23	25	123	120	103%	0	地域子育て支援 センター併設
	６ 大沢第１保育所	大沢三丁目16番45号	923.29	昭和45	鉄筋コンクリート造	6	12	15	30	45	25	133	150	89%	1	
	７ 中央保育所	越ヶ谷三丁目2番28号	980.40	昭和45	鉄筋コンクリート造	6	12	16	27	43	40	144	150	96%	0	
	８ 深田保育所	大字下間久里318番地1	879.80	平成13	木造	5	12	15	30	23	38	123	130	95%	4	
	９ 七左保育所	七左町一丁目184番地	459.55	昭和46	木造	0	0	13	23	23	25	84	100	84%	2	
	10 荻島保育所	南荻島330番地1	979.00	平成25	木造	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	地域子育て支援 センター併設
	11 赤山保育所	赤山町四丁目2番11号	553.36	昭和50	木造	6	12	16	23	23	23	103	100	103%	1	
	12 蒲生南保育所	南町一丁目10番20号	530.55	昭和50	木造	6	12	16	21	23	23	101	100	101%	0	
	13 新方保育所	大字北川崎729番地1	989.89	平成22	木造	9	19	21	23	23	25	120	120	100%	1	地域子育て支援 センター併設
	14 大袋北保育所	大字袋山475番地3	517.00	昭和52	木造	6	11	16	23	23	23	102	100	102%	1	
	15 宮本保育所	宮本町五丁目250番地1	597.27	昭和54	木造	6	12	16	21	23	23	101	100	101%	1	
	16 登戸保育所	登戸町42番10号	598.18	昭和55	木造	6	12	16	22	22	23	101	100	101%	0	
	17 赤山第二保育所	赤山町二丁目58番地1	602.64	昭和56	木造	6	12	16	22	23	22	101	100	101%	1	
	18 蒲生第三保育所	蒲生二丁目13番9号	586.51	昭和57	木造	6	12	16	23	23	22	102	100	102%	1	
合 計			12,813.74			92	179	258	391	447	433	1,800	1,900	95%	16	

※大袋保育所は平成２５年４月より新規供用開始

※荻島保育所は平成２６年４月より新規供用開始

施設一覧（私立保育園）

（平成 24 年 4 月 1 日現在）

	名称	入所児童数(人)							認可 定員 (人)	入所率	待機 児童 (人)	備考
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計				
私 立	1 越ヶ谷保育園	5	12	18	25	24	24	108	90	120%	0	
	2 おおたけ保育園	6	18	24	30	29	30	137	120	114%	2	地域子育て支援 センター併設
	3 のーびる保育園	6	16	18	20	22	23	105	100	105%	0	
	4 しらとり保育園	5	16	18	26	28	28	121	124	98%	1	
	5 袋山保育園	7	20	24	26	28	27	132	120	110%	3	地域子育て支援 センター併設
	6 第二越谷保育園	4	15	23	26	24	25	117	100	117%	0	
	7 わかばの森保育園	0	8	12	0	0	0	20	20	100%	0	地域子育て支援 センター併設
	8 南越谷保育園	9	19	24	24	28	28	132	123	107%	2	地域子育て支援 センター併設
	9 まどか保育園	1	8	7	5	3	0	24	38	63%	0	
	10 こまき保育園	0	8	12	0	0	0	20	20	100%	0	
	11 さくら保育園	12	20	24	29	30	30	145	124	117%	7	地域子育て支援 センター併設
	12 松沢保育園	8	11	15	20	20	20	94	90	104%	2	地域子育て支援 センター併設
	13 のーびる子どもの家保育園	2	4	6	6	6	5	29	30	97%	0	地域子育て支援 センター併設
	14 どんご保育園	6	7	11	3	7	1	35	90	39%	0	地域子育て支援 センター併設
	15 さくら分園保育園 (H24.5.1開園)	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	3	
	16 わかばの森ナーサリー (認定こども園)	3	21	24	22	20	0	90	102	88%	0	
合 計		74	203	260	262	269	241	1,309	1,291	101%	20	

② 運営時間

保育所の入所措置対象者は、0歳児から就学前までの児童で、開園日は、月曜日から土曜日です。公立保育所および私立保育園の保育時間は、午前8時半から午後4時30分までですが、延長保育として午前7時から8時半までと午後4時30分から最大午後7時まで保育を実施しています。

公立保育所・私立保育園運営時間(平成24年4月1日現在)

		7時	14時	18時	19時	20時
公立保育所(18園) (平均規模:712㎡) 対象年齢 0歳～就学前 (施設によって異なる) 開園日 月～土曜日 入所児童数 105人/施設 入所率 94%	3歳～5歳児	7:30 延長	8:30 保育	16:30 延長		
	0歳～2歳児	延長	保育	延長		
	一時保育		2施設で実施			
私立保育園 (16園) 対象年齢 0歳～就学前 (施設によって異なる) 開園日 月～土曜日 入所児童数 84人/施設 入所率 100%	3歳～5歳児	7:30 延長	8:30 保育	16:30 延長		
	0歳～2歳児	延長	保育	延長		
	一時保育		6施設で実施			

③ 事業内容

公立保育所では「すべての子どもを健やかで心豊かに育つよう支えます」という保育理念のもと、①子どもの人権や主体性を尊重する、②すべての家庭の子育てと就労を支える、③地域の子育てを支援し、異世代交流を深める、といった3つの基本方針を掲げるとともに、各保育所で独自の目標を掲げ、運営を行っています。

運営は、市の職員による直営で行われています。

2) 利用実態

① 建物の状況

■ 保育所のスペック情報

スペック一覧

No.	施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応					環境対応		
		建築年度	延床面積（㎡）	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2
1	蒲生保育所	昭和44	814	未実施	44	平成24	1	—	×	×	×	×	×	×	×	×
2	大袋保育所	平成24	930	不要	1		1	—	○	○	—	○	○	○	×	×
3	大相模保育所	昭和41	403	未実施	47		47	—	×	×	—	×	×	×	×	×
4	桜井保育所	昭和43	486	未実施	45		45	—	×	×	—	×	×	×	×	×
5	増林保育所	平成14	983	不要	11		11	—	○	○	—	○	○	×	×	×
6	大沢第1保育所	昭和45	923	未実施	43		43	—	×	×	×	×	×	×	×	×
7	中央保育所	昭和45	980	未実施	43		43	—	×	×	×	×	×	×	×	×
8	深田保育所	平成13	880	不要	12		12	—	○	○	—	○	○	×	×	×
9	七左保育所	昭和46	460	未実施	42		42	—	×	×	—	×	×	×	×	×
10	荻島保育所	平成25	979	不要	—		—	—	○	○	—	○	○	○	×	×
11	赤山保育所	昭和50	553	未実施	38		38	—	×	×	—	×	×	×	×	×
12	蒲生南保育所	昭和50	531	未実施	38		38	—	×	×	—	×	×	×	×	×
13	新方保育所	平成22	990	不要	3		3	—	○	○	—	○	○	○	×	×
14	大袋北保育所	昭和52	517	未実施	36		36	—	×	×	—	×	×	×	×	×
15	宮本保育所	昭和54	597	未実施	34	平成22	3	—	×	×	—	×	×	×	×	×
16	登戸保育所	昭和55	598	未実施	33		33	—	×	×	—	×	×	×	×	×
17	赤山第二保育所	昭和56	603	未実施	32		32	—	×	×	—	×	×	×	×	×
18	蒲生第三保育所	昭和57	587	不要	31		31	—	×	×	—	×	×	×	×	×
合 計			12,814													

記載例

実施済み：○
未実施：×
不 要：—

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

蒲生保育所や大相模保育所など12施設は、昭和56年以前に建設された旧耐震基準の建物で、老朽化もみられることから、早急な耐震診断を実施し、その結果を受けて耐震化への対策および老朽化対策の検討が必要です。

荻島保育所など5施設は、比較的新しい施設で、建物の耐震性は問題が無い施設です。

■ 保育所の利用状況

入所児童数・園児数の推移

本市では、年少人口が減少していますが、働きながら子育てをする親は増え、保育ニーズは高まっています。このような社会的情勢をふまえ、公立保育所の建替えに伴い、定数を拡大するとともに、民間の保育施設を支援し、待機児童の解消につとめてきました。

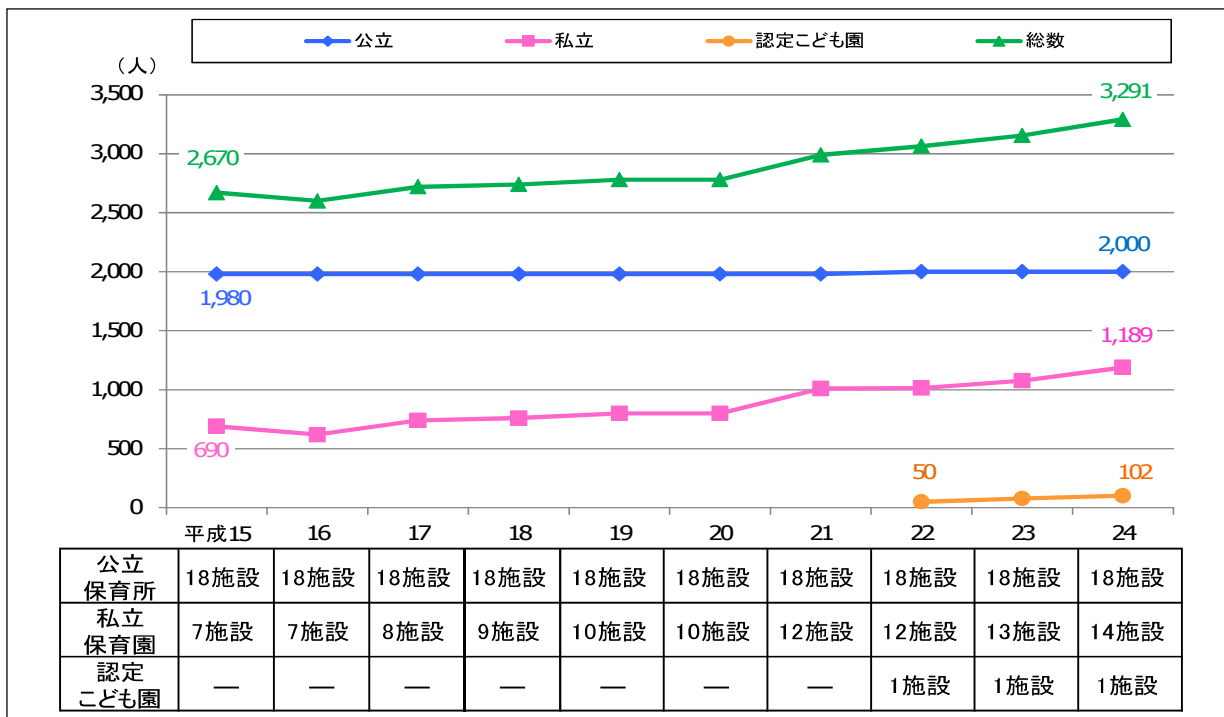
公立保育所・私立保育園、認定こども園を合わせた入所定員数は、平成15年度の約2,700人から平成24年度の約3,300人となっています。

このうち、公立保育所の定員は、平成15年度から平成24年度まで、約2,000人前後で推移しています。

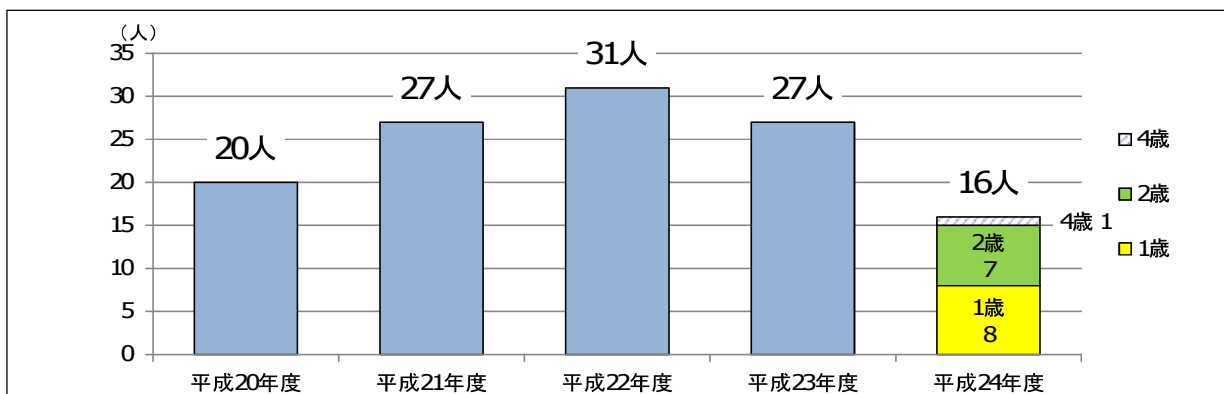
私立保育園、認定こども園の定員は、平成15年度の約700人に対し、平成24年度には約1,300人となっています。

② 利用状況

公立保育所・私立保育園の入所児童数の推移（各年4月1日現在）



公立保育所の待機児童数の推移（各年4月1日現在）



③ スペース構成

■ 保育所

平成２４年度、２５年度に建替えを行った大袋保育所及び荻島保育所を除いた公立保育所は、大相模保育所の４０３㎡から新方保育所９９０㎡までとなっており、基本的なスペース構成は乳児室、保育室、その他保育室となっています。

大相模保育所は３歳から、桜井保育所及び七左保育所は２歳からの保育となっているため、乳児室が無く、増林保育所及び新方保育所は、その他保育室として、一時預かり対応のスペースを保有しています。

公立保育所のスペース構成

入所 児童数		スペース構成					
		0	200	400	600	800	1,000 (㎡)
131人	蒲生保育所	40	207	567	814		
53人	大相模保育所	104	299	403			
77人	桜井保育所	174	313	486			
123人	増林保育所	71	323	50	539	983	
133人	大沢第一保育所	36	298	589	923		
144人	中央保育所	34	306	641	980		
123人	深田保育所	39	277	564	880		
84人	七左保育所	179	280	460			
103人	赤山保育所	34	214	305	553		
101人	蒲生南保育所	34	206	290	531		
120人	新方保育所	63	310	37	580	990	
102人	大袋北保育所	27	204	286	517		
101人	宮本保育所	34	221	343	597		
101人	登戸保育所	34	244	320	598		
101人	赤山第二保育所	39	232	332	603		
102人	蒲生第三保育所	34	242	311	587		
		□ 乳児室 ■ 保育室 ■ その他保育室 □ その他共用部					

３）コスト状況

■ 保育所のトータルコスト

平成２４年度、２５年度に建替えた大袋保育所及び荻島保育所を除いた公立保育所１６施設の年間トータルコストは、約３１億円です。１施設当たり平均約１億９,０００万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（人件費、修繕費、光熱水費、委託費等）は約２億２,０００万円、事業運営にかかるコスト（人件費・その他事業費等）は約２８億円、減価償却相当額が約３,４００万円となっています。

施設別行政コスト計算書

		(円)					
Ⅰ. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		蒲生保育所	大相模保育所	桜井保育所	増林保育所	大沢第一保育所	中央保育所
施設にかかる コスト	職員人件費	8,200,000	8,200,000	8,200,000	8,200,000	8,200,000	2,745,167
	修繕費	761,234	477,700	535,640	880,061	838,906	877,744
	改修費	10,510,500	2,640,750	3,097,500	0	3,234,000	0
	光熱水費	3,381,394	1,672,926	2,019,295	4,080,276	3,833,600	4,070,727
	委託費	749,073	322,288	389,016	930,963	836,190	1,026,773
	使用料及び賃借料	287,071	1,409,626	813,736	346,405	325,462	2,076,672
	施設にかかるコスト計…A	23,889,272	14,723,290	15,055,186	14,437,705	17,268,159	10,797,082
事業運営にかかる コスト	職員人件費	177,832,341	84,780,669	117,071,003	228,697,649	183,287,174	202,432,341
	嘱託医報酬	425,800	425,800	425,800	425,800	425,800	425,800
	委託費	60,559	29,961	36,165	73,076	68,658	72,905
	使用料及び賃借料	168,127	83,180	100,402	406,040	190,611	202,401
	車両・備品購入費	316,024	181,614	208,844	370,778	351,581	370,256
	負担金補助及び交付金	2,419	1,197	1,445	2,919	2,743	2,913
	その他事業費	10,204,217	5,106,244	6,181,451	12,396,271	11,521,063	12,240,086
事業運営にかかるコスト計…B		189,009,488	90,608,665	124,025,109	242,372,534	195,847,630	215,746,703
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		212,898,760	105,331,955	139,080,296	256,810,238	213,115,789	226,543,784
【収入の部】							
収入	保育料	36,253,560	12,571,800	19,282,650	35,811,150	33,612,920	39,103,810
	使用料収入	0	0	9,000	0	0	0
	諸収入	996,450	297,100	326,450	6,468,850	1,043,850	1,260,950
	収入合計…②	37,250,010	12,868,900	19,618,100	42,280,000	34,656,770	40,364,760
Ⅱ. 現金収支を伴わないコスト							
減価償却相当額…③		3,263,955	181,327	59,477	9,940,330	3,560,539	3,659,480
Ⅲ. 総括							
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		216,162,715	105,513,282	139,139,773	266,750,568	216,676,328	230,203,264
収支差額(④-②)		178,912,705	92,644,382	119,521,673	224,470,568	182,019,558	189,838,504

子育て支援施設（１１）保育所

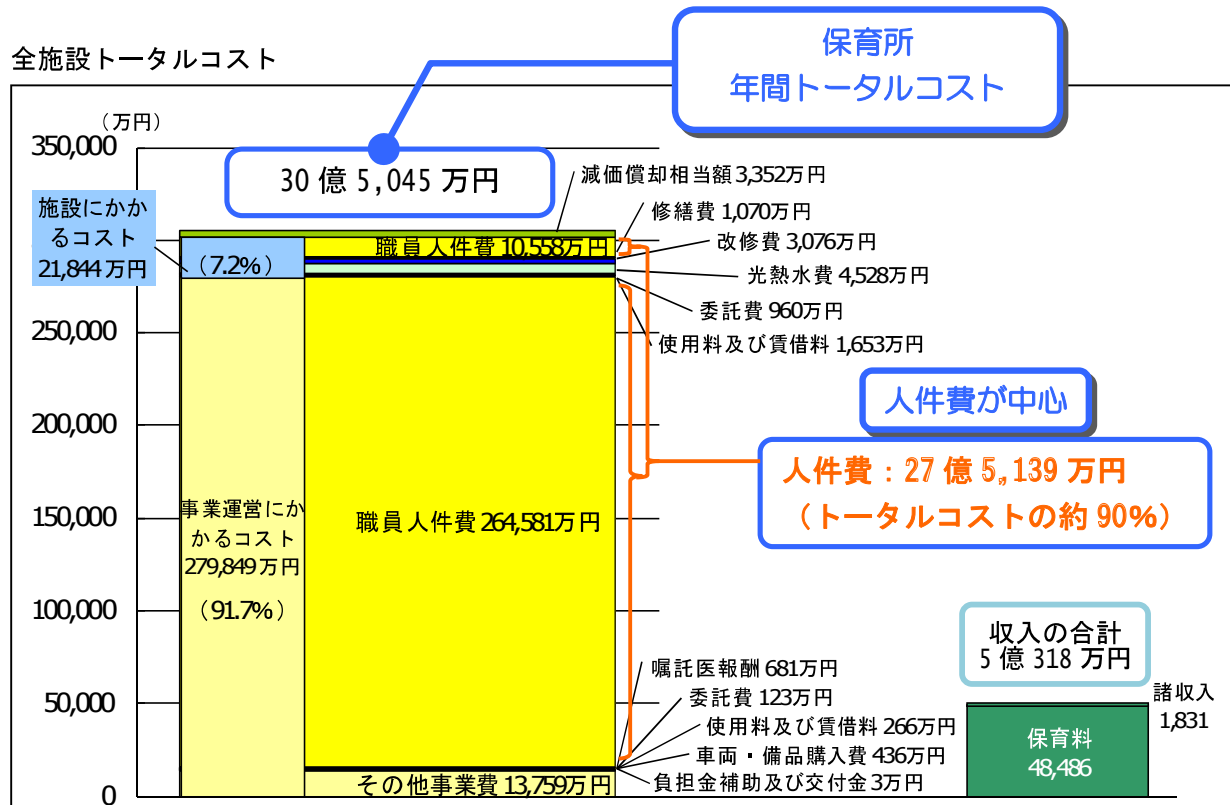
(円)

Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		深田保育所	七左保育所	赤山保育所	蒲生南保育所	新方保育所	大袋北保育所
施設にかかる コスト	職員人件費	2,745,167	2,745,167	8,200,000	8,200,000	2,745,167	8,200,000
	修繕費	808,776	512,277	582,928	559,412	885,044	557,455
	改修費	787,500	0	8,358,000	0	0	0
	光熱水費	3,653,024	1,908,101	2,297,610	2,202,901	4,110,130	2,146,640
	委託費	848,653	367,594	442,633	424,387	936,714	413,549
	使用料及び賃借料	310,132	194,684	195,061	3,274,153	2,599,059	182,244
	施設にかかるコスト 計…A	9,153,253	5,727,824	20,076,232	14,660,854	11,276,114	11,499,887
事業運営にかかる コスト	職員人件費	180,542,006	117,616,170	169,561,338	163,051,672	220,497,648	155,906,505
	嘱託医報酬	425,800	425,800	425,800	425,800	425,800	425,800
	委託費	65,424	34,173	41,149	39,453	73,611	38,446
	使用料及び賃借料	181,633	94,873	114,240	109,531	407,525	106,734
	車両・備品購入費	337,394	200,111	230,760	223,289	373,336	218,883
	負担金補助及び交付金	2,614	1,365	1,644	1,576	2,941	1,536
	その他事業費	10,991,828	5,864,954	7,028,665	6,766,783	12,484,830	6,601,447
	事業運営にかかるコスト 計…B	192,546,699	124,237,447	177,403,595	170,618,104	234,265,690	163,299,350
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		201,699,952	129,965,271	197,479,827	185,278,958	245,541,804	174,799,237
【収入の部】							
収入	保育料	31,645,690	21,583,010	35,546,010	28,995,120	34,921,380	29,944,220
	使用料収入	0	0	0	0	0	0
	諸収入	768,100	627,550	746,600	654,200	1,367,750	614,500
	収入合計…②	32,413,790	22,210,560	36,292,610	29,649,320	36,289,130	30,558,720
Ⅱ.現金収支を伴わないコスト							
減価償却相当額…③		9,604,370	37,440	572,619	0	1,694,767	203,868
Ⅲ.総括							
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		211,304,322	130,002,711	198,052,446	185,278,958	247,236,571	175,003,105
収支差額(④-②)		178,890,532	107,792,151	161,759,836	155,629,638	210,947,441	144,444,385

(円)

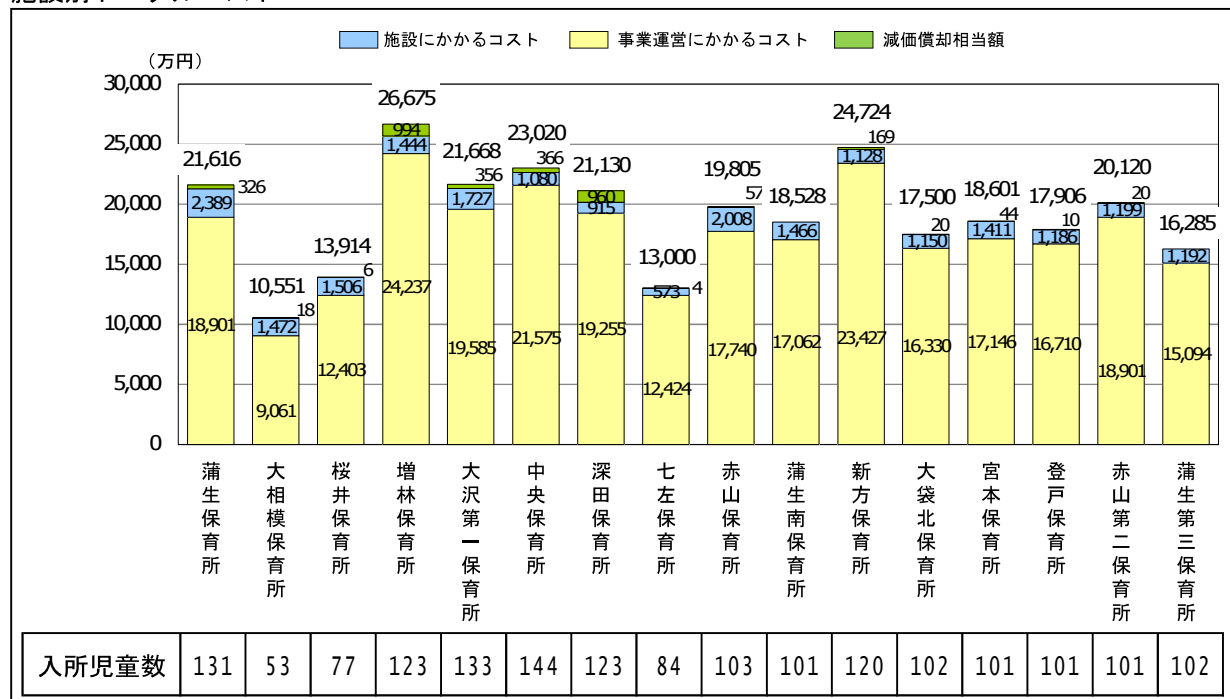
Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		宮本保育所	登戸保育所	赤山第二保育所	蒲生第三保育所	合計
施設にかかる コスト	職員人件費	8,200,000	4,400,000	8,200,000	8,200,000	105,580,669
	修繕費	613,329	613,780	589,251	605,882	10,699,419
	改修費	2,131,500	0	0	0	30,759,750
	光熱水費	2,479,929	2,483,708	2,502,226	2,435,253	45,277,739
	委託費	477,757	478,485	482,052	469,150	9,595,276
	使用料及び賃借料	210,539	3,882,670	212,432	206,746	16,526,694
	施設にかかるコスト 計…A	14,113,055	11,858,643	11,985,962	11,917,031	218,439,547
事業運営にかかる コスト	職員人件費	163,051,672	158,687,174	180,542,006	142,251,672	2,645,809,040
	嘱託医報酬	425,800	425,800	425,800	425,800	6,812,800
	委託費	44,415	44,482	44,814	461,514	1,228,807
	使用料及び賃借料	123,305	123,493	124,414	121,084	2,657,592
	車両・備品購入費	245,104	245,401	246,858	241,569	4,361,801
	負担金補助及び交付金	1,774	1,777	1,790	1,742	32,395
	その他事業費	7,568,007	7,571,011	7,628,596	7,432,193	137,587,646
	事業運営にかかるコスト 計…B	171,460,077	167,099,138	189,014,278	150,935,574	2,798,490,081
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		185,573,131	178,957,780	201,000,240	162,852,605	3,016,929,627
【収入の部】						
収入	保育料	32,176,586	31,534,900	31,035,560	30,839,860	484,858,226
	使用料収入	0	0	0	0	9,000
	諸収入	662,850	979,000	850,750	644,150	18,309,100
	収入合計…②	32,839,436	32,513,900	31,886,310	31,484,010	503,176,326
Ⅱ.現金収支を伴わないコスト						
減価償却相当額…③		437,409	103,857	201,230	0	33,520,668
Ⅲ.総括						
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		186,010,540	179,061,637	201,201,470	162,852,605	3,050,450,295
収支差額(④-②)		153,171,104	146,547,737	169,315,160	131,368,595	2,547,273,969

保育所の全施設トータルコストのうち人件費が約 28 億円と全体の約 90 %を占めています。
 保育所別トータルコストでは、大相模保育所の約 1 億 1 000 万円から増林保育所の約 2 億 7 000 万円となっています。



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

施設別トータルコスト



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

4）まとめ

- 公立保育所18施設のうち、増林保育所、深田保育所、新方保育所、大袋保育所及び荻島保育所の5施設については、建て替えを行いました。
- 耐震診断は12施設が対象ですが未実施で、計画的な診断とその結果により対策が求められることとなります。
- また、24年度決算では、24年度から25年度に建て替えを行った大袋保育所及び荻島保育所を除いた16施設の年間コストは、約31億円で、1施設平均1億9,000万円となります。
- 今後、老朽化施設の建て替えについては、児童数の推移と保育ニーズを踏まえ検討を進め、改修の経済的設計及び費用対効果を上げる工夫をしながら優先順位を決める必要があります。

（１２）児童館

１）施設概要

① 設置目的等

児童館は、天文と物理をテーマにした「コスモス」と生物と環境をテーマにした「ヒマワリ」の２施設が設置され、目的に応じて０才～１８才までの幅広い年齢の子どもたちに利用されています。



児童館コスモス

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	備考
１ 児童館コスモス	千間台東二丁目９番地	２,８７４.５６	昭和６１	鉄筋コンクリート造	
２ 児童館ヒマワリ	蒲生旭町１１番３５号	３,２３０.５２	平成６	鉄筋コンクリート造	
合 計		６,１０５.０８			

② 事業内容

コスモスでは、子どもたちが展示物に直接触れたり動かすことができる体験コーナーや、プラネタリウムによる星空の鑑賞など、科学への関心と理解を深める事ができます。

また、ヒマワリでは、電子顕微鏡による観察やバイオ技術を体験できる実験室、ミニ水族館等を備え、人と自然の調和、生命の大切さ不思議さについて、興味や関心を高める事ができます。

両施設とも市の職員により直営で運営されています。ただし、一部の主催事業等については、委託しています。

③ 開館時間・休館日・開館日数

開館時間：午前９時から午後５時まで

休 館 日：月曜日、年末年始

(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌火曜日)

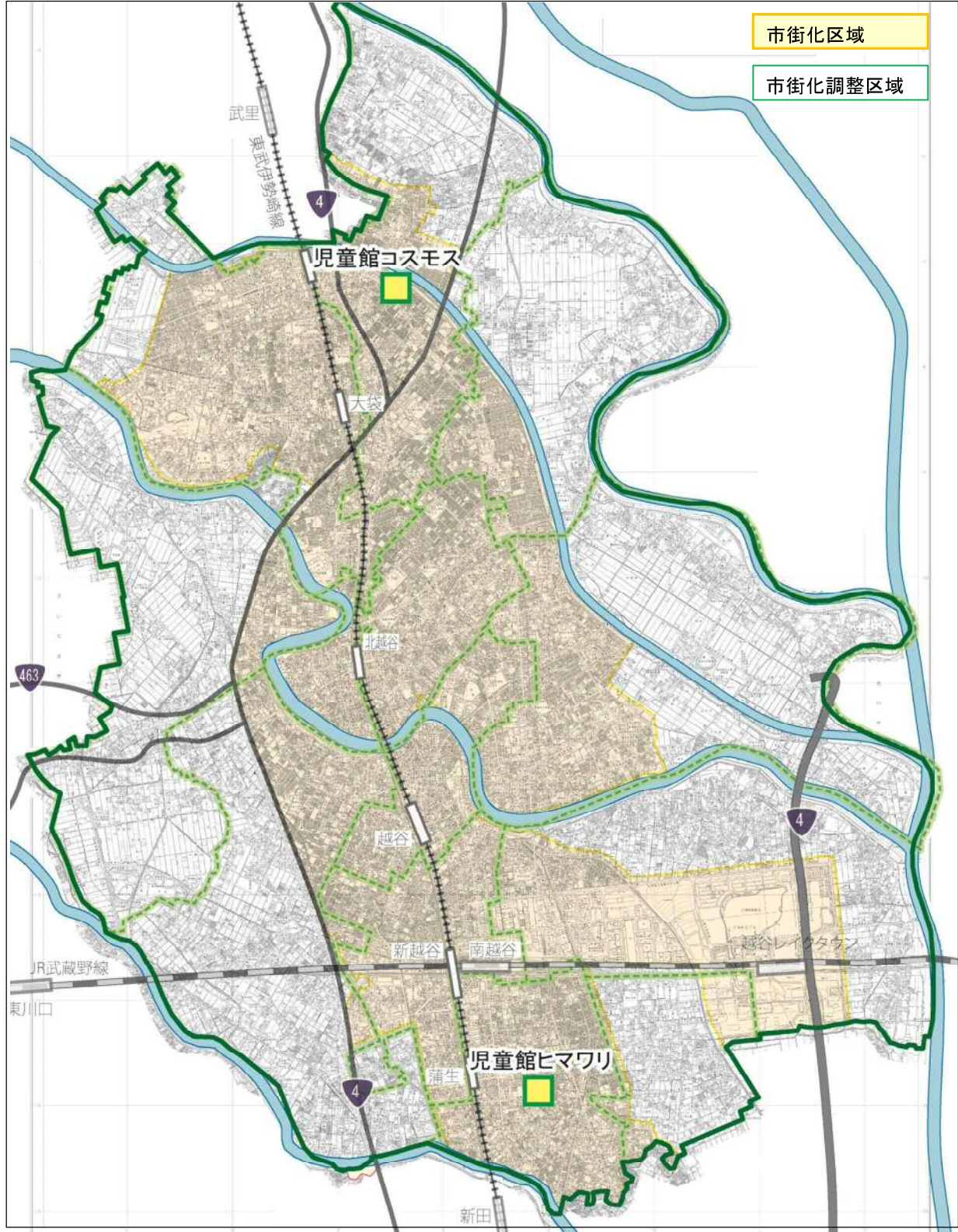
開館日数：児童館コスモス：３０６ 日

児童館ヒマワリ：３０５ 日

④ 配置状況

市北部にコスモス、市南部にヒマワリが設置されています。

児童館位置図



２）利用実態

① 建物の状況

■ 児童館のスペック情報

スペック一覧

		基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応						環境対応			
No.	施設名	建築年度	延床面積（㎡）	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	車いす用エレベーター※1	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2
1	児童館コスモス	昭和61	2,875	不要	26	平成21	4	—	○	○	○	○	○	○	×	×	×	
2	児童館ヒマワリ	平成6	3,231	不要	18		18	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	合 計		6,105															

記載例

実施済み：○

未実施：×

不 要：—

※１ 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置

※２ 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

児童館２施設は、新耐震基準の建物でコスモスは大規模改修を実施しており、安全性上は問題がありませんが、今後老朽化が進行するため、計画的な改修が必要です。また、バリアフリーへの対応は終了していますが、環境対応が一部完了していないため、今後の大規模改修時等での対応が望まれます。

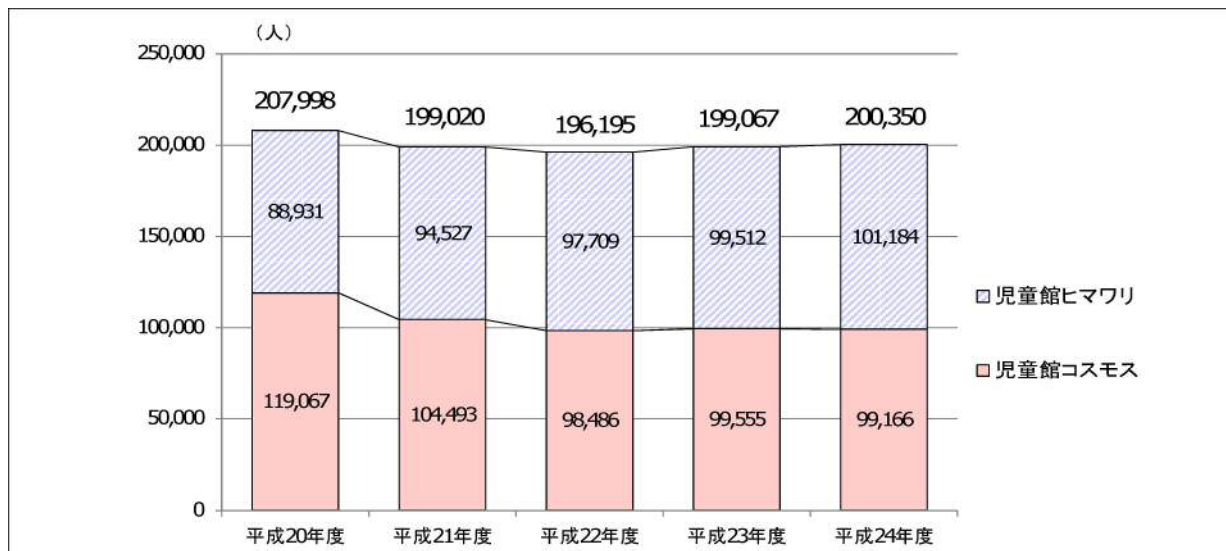
② 利用状況

■ 年間利用者数

平成２４年度の児童館年間利用者数をみると、２館合計約２０万人が利用しています。

また、平成２０年度からの５ヶ年の推移をみると、約２０万人程度と横ばいで推移しています。

年間利用者数の推移

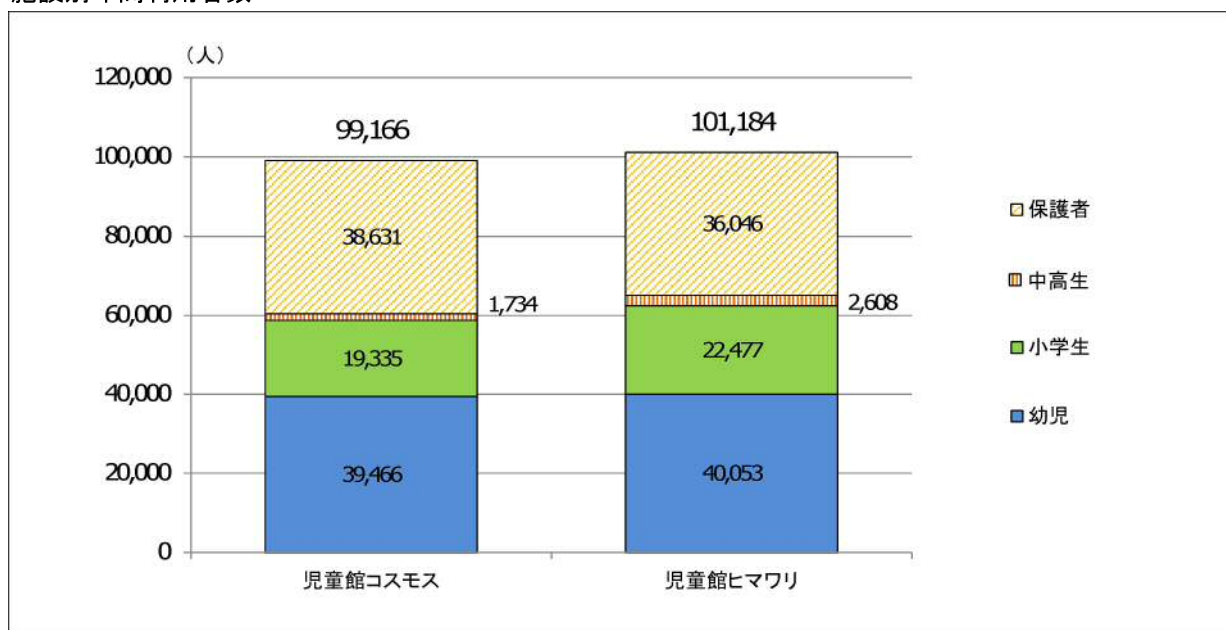


■ 施設別利用者数

平成２４年度施設別の利用者数をみると、児童館コスモスは約９万９０００人、児童館ヒマワリは約１０万１０００人となっています。

利用者の内訳をみると、幼児とその保護者、小学生が中心となっています。

施設別年間利用者数

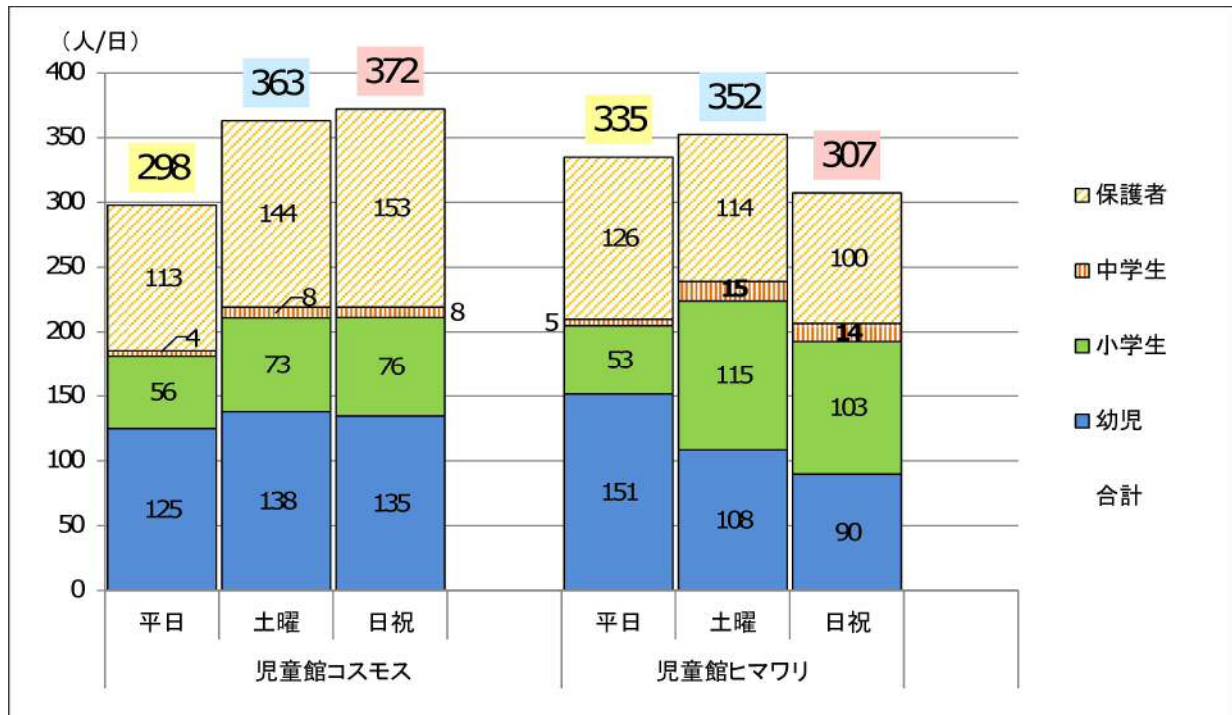


■ 平日・土曜・日祝日別 １日当たり利用者数

平日・土曜・日祝日別の１日当たりの利用者数をみると、児童館コスモスは幼児と保護者の割合が比較的高く、日曜・祝日の利用が多くなっています。

児童館ヒマワリは、小学生・中学生の利用の割合が比較的高く、平日や土曜日の利用が多くなっています。

１日当たり利用者数



３）コスト状況

児童館２施設の年間トータルコストは約２億３,０００万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕費、光熱水費・委託費等）は約７,１００万円、事業運営にかかるコスト（人件費・委託費、その他事業費等）は約１億２,０００万円、減価償却相当額は約４,１００万円となっています。

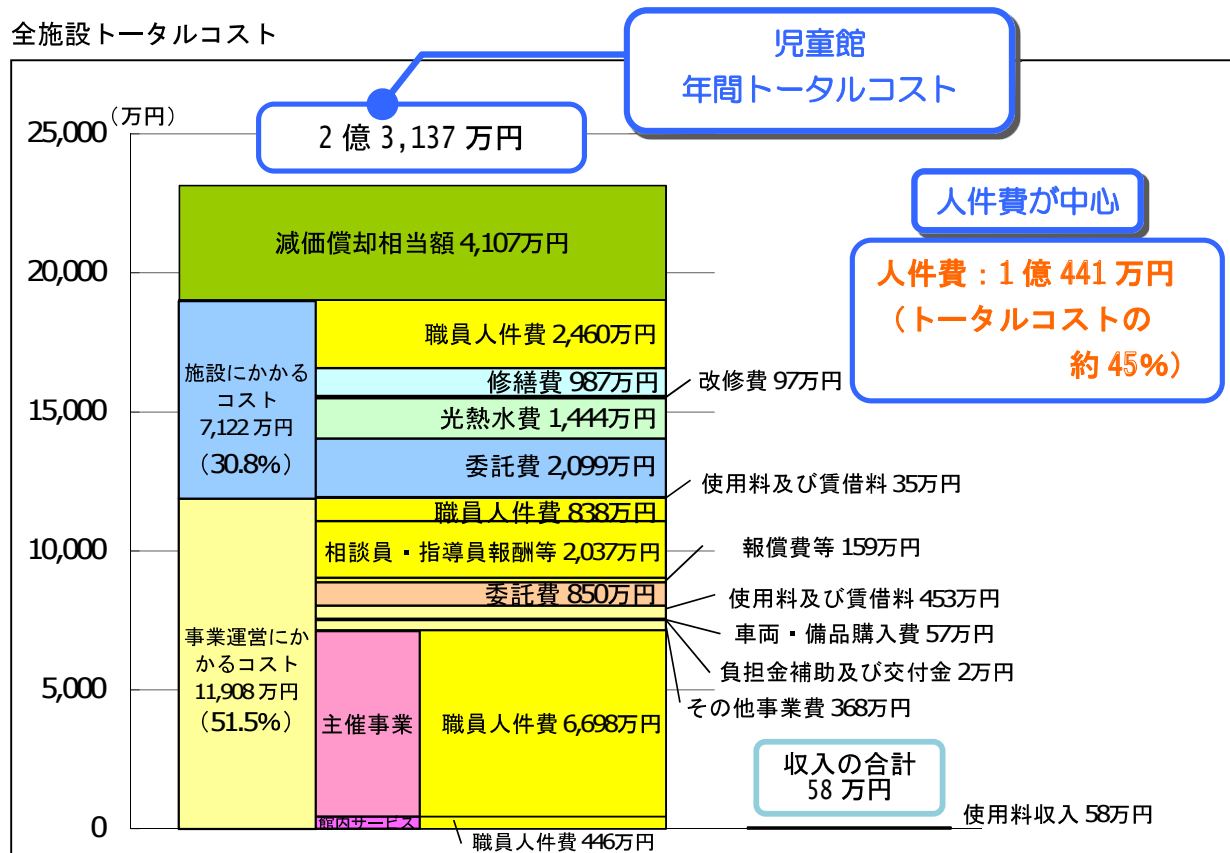
施設別行政コスト計算書

(円)

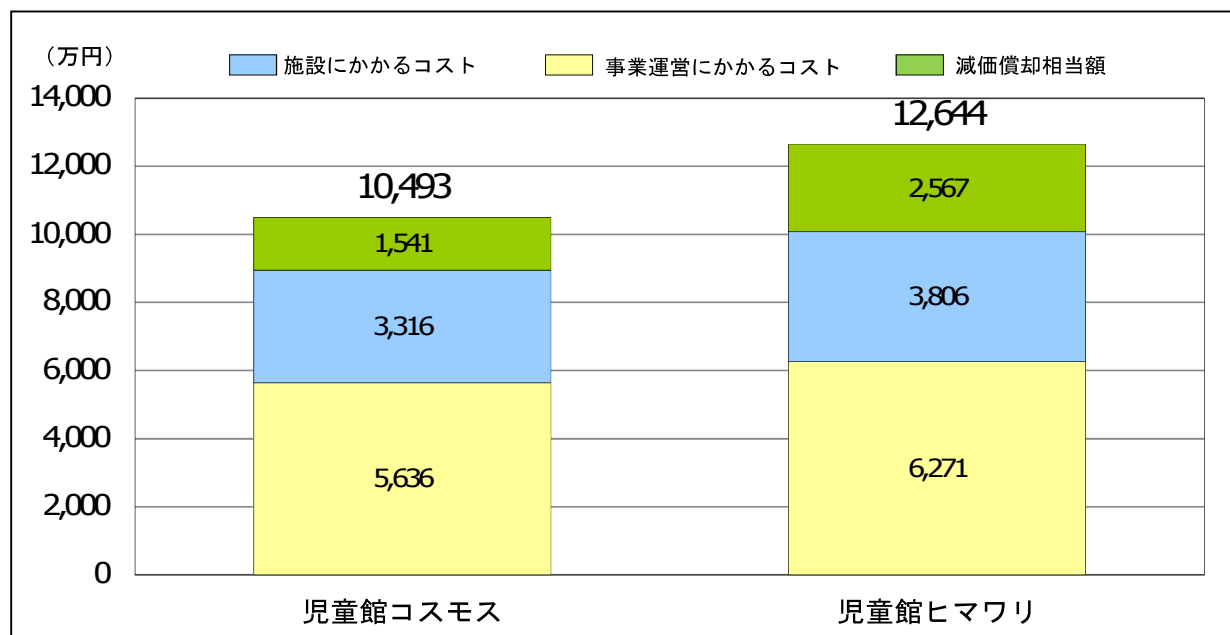
Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		児童館コスモス	児童館ヒマワリ	合計
施設にかかるコスト	職員人件費	12,300,000	12,300,000	24,600,000
	修繕費	4,225,090	5,646,227	9,871,317
	改修費	966,000	0	966,000
	光熱水費	5,271,657	9,170,584	14,442,241
	委託費	10,300,920	10,687,080	20,988,000
	使用料及び賃借料	94,185	258,405	352,590
	施設にかかるコスト計…A	33,157,852	38,062,296	71,220,148
事業運営にかかるコスト	事業運営			
	職員人件費	4,198,249	4,179,368	8,377,617
	相談員・指導員報酬等	10,184,446	10,184,446	20,368,892
	報償費等	669,000	925,360	1,594,360
	委託費	3,693,000	4,802,595	8,495,595
	使用料及び賃借料	104,960	4,428,293	4,533,253
	車両・備品購入費	322,445	249,984	572,429
	負担金補助及び交付金	0	17,000	17,000
	その他事業費	1,385,949	2,295,614	3,681,563
	小計…(ア)	20,558,049	27,082,660	47,640,709
	事業主催			
	職員人件費	33,557,979	33,422,315	66,980,294
	小計…(イ)	33,557,979	33,422,315	66,980,294
	Ⅰ館内サ ビス			
	職員人件費	2,246,498	2,208,737	4,455,235
	小計…(ウ)	2,246,498	2,208,737	4,455,235
	事業運営にかかるコスト計 (ア+イ+ウ)…B	56,362,526	62,713,712	119,076,238
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		89,520,378	100,776,008	190,296,386
【収入の部】				
収入	使用料収入	575,700	0	575,700
	諸収入	0	0	0
	収入合計…②	575,700	0	575,700
Ⅱ.現金収支を伴わないコスト				
減価償却相当額…③		15,405,239	25,666,058	41,071,297
Ⅲ.総括				
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		104,925,617	126,442,066	231,367,683
収支差額(④-②)		104,349,917	126,442,066	230,791,983

施設別トータルコストでは、児童館コスモス約１億円、児童館ヒマワリ約１億３０００万円となっています。

全施設トータルコスト



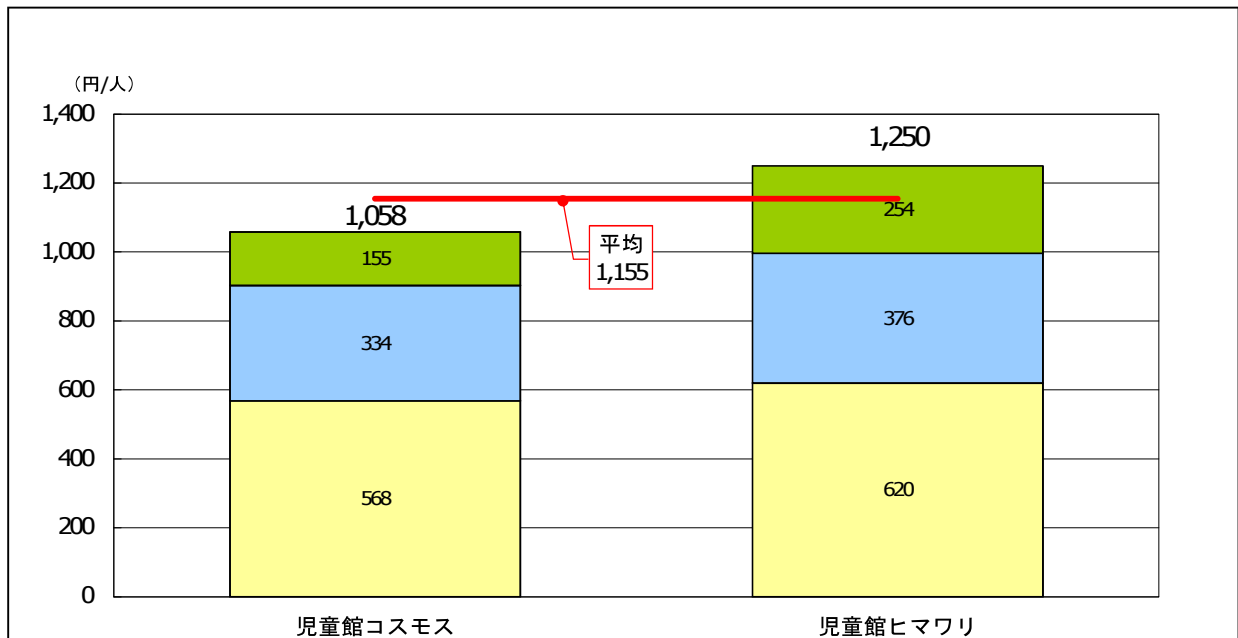
施設別トータルコスト



■ 利用者１人当たりのコスト

利用者１人当たりにかかるコストを算出すると、平均は１,１５５円です。施設別では、児童館コスモス１,０５８円/人、児童館ヒマワリ１,２５０円/人となっています。

施設別 利用者１人当たりにかかるコスト



※小数点以下を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

４）まとめ

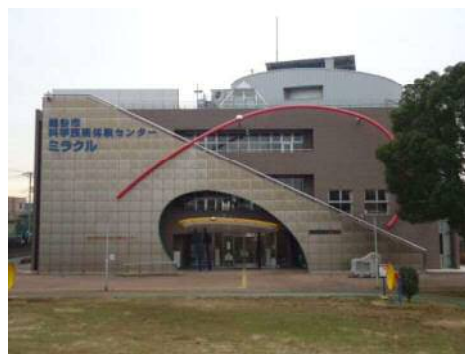
- ・両児童館とも新耐震基準で、児童館コスモスについては直近での大規模改修工事も終了しています。運営は、直営となっていますが、一部の主催事業等を委託しています。
- ・年間利用状況は、児童館コスモスは約９万９,０００人、児童館ヒマワリは約１０万１,０００人となっています。
- ・児童館コスモスは、幼児と保護者の割合が比較的高く、日曜・祝日の利用が多くなっています。児童館ヒマワリは、小学生・中学生の利用の割合が比較的高く、平日や土曜日の利用が多くなっています。
- ・また、年間コストは約２億３,０００万円で、施設にかかるコスト（修繕費、光熱水費・委託費等）は約７,１００万円、事業運営にかかるコスト（人件費・委託費、その他事業費等）は約１億２,０００万円となっています。
- ・児童館は、児童の健全な遊びや体力増進の指導等を行う役割を果たしていますが、今後の検討課題として、少子高齢化を見据え、現状の施設数を維持していくのか、検討を行う必要があります。

（１３）その他児童施設

１）施設概要

① 設置目的等

本施設は、実験や観察、工作などだれもが体験しながら科学に親しみ、科学への関心を高めるとともに、未来を担う創造性豊かな人材を育てることを目的とした参加型体験施設として設置され、ミラクルの愛称で親しまれています。



科学技術体験センター

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	備考
１ 科学技術体験センター	七左町二丁目205番地2	3,644.33	平成13	鉄骨鉄筋 コンクリート造	

② 事業内容

月面歩行を疑似体験できる「ムーンウォーカー」をはじめとする体験装置や科学実験、科学工作、サイエンスショーなど参加体験を通じて利用者が楽しみながら科学に親しめる事業に取り組んでいます。運営は、市の職員等による直営と一部事業委託にて行っています。

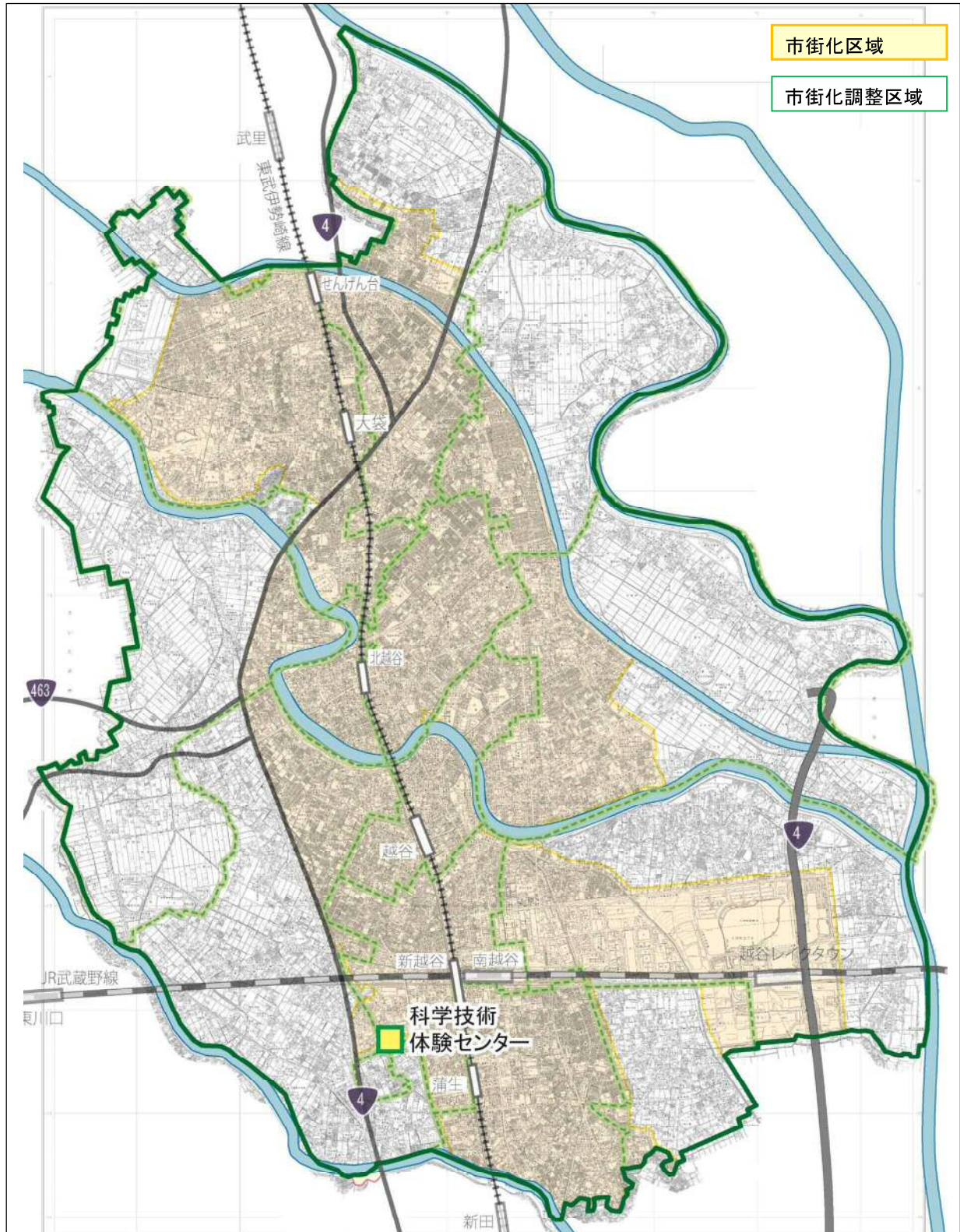
③ 開館時間・開館日数

開館時間	休館日	開館日数
午前９時～午後５時	月曜日（祝日除く）、祝日の翌日（金曜日 の場合は翌週の火曜日）、年末年始（１２ 月２９日～１月３日）	310日

④ 配置状況

本施設は市の南部に設置されています。

その他児童施設位置図



2) 利用実態

① 建物の状況

■ 科学技術体験センターのスペック情報

スペック一覧

	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応					環境対応				
施設名	建築年度	延床面積（㎡）	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2
科学技術体験センター	平成13	3,644	不要	12		12	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

記載例

実施済み：○

未実施：×

不要：—

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

本施設は、新しい建物で安全性上の問題は無い施設です。バリアフリーにも対応していますが、環境対応が一部完了していません。

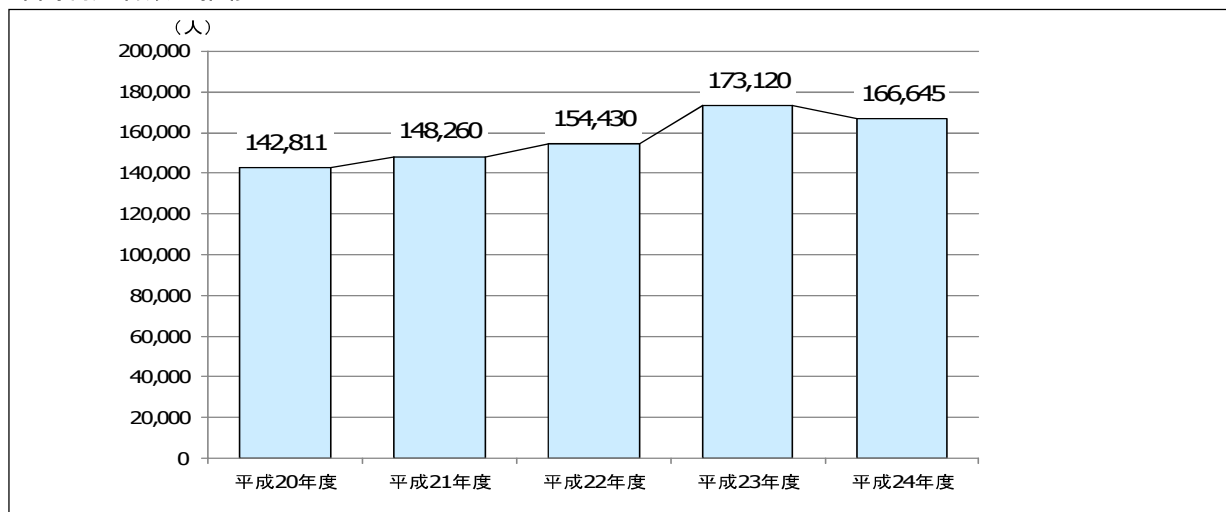
② 利用状況

■ 年間利用者数

本施設の平成２４年度年間利用者数をみると、約１７万人が利用しています。

平成２０年度からの５ヶ年の推移をみると、約１４万人から約１７万人で推移しています。平成２４年度は前年度と比較して約４％減少しています。

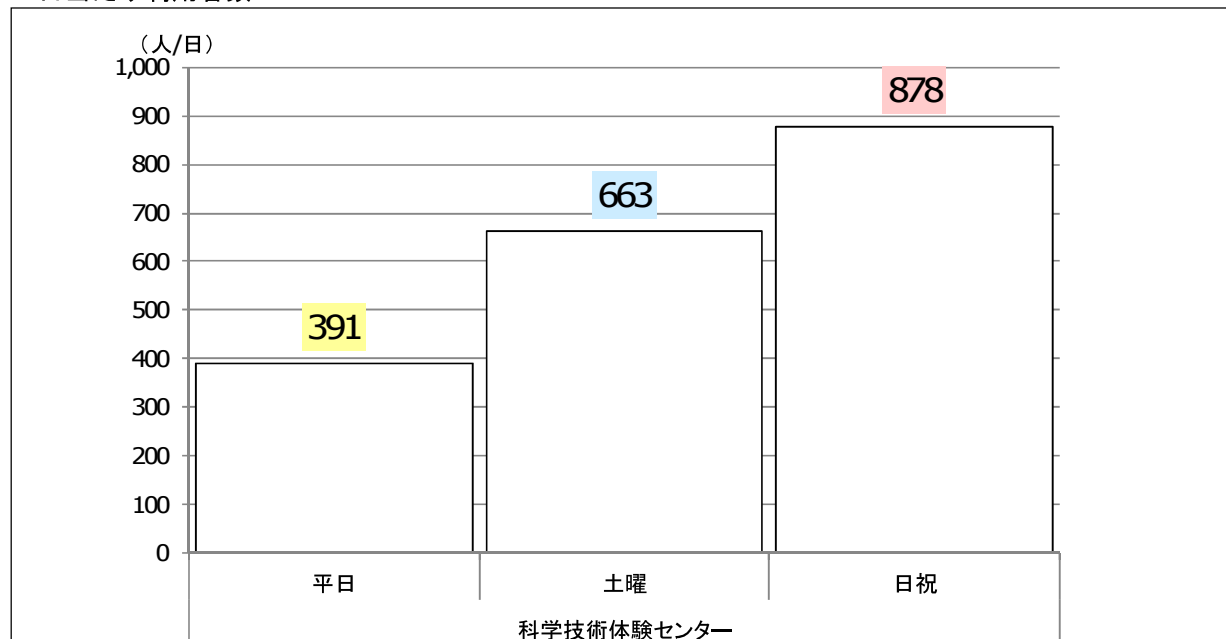
年間利用者数の推移



■ 平日・土曜・日祝日別 １日当たり利用者数

平日・土曜・日祝日別の１日当たりの利用者数をみると、平日が３９１人/日、土曜日が６６３人/日、日曜・祝日が８７８人となっています。

１日当たり利用者数



３）コスト状況

■ その他児童施設のトータルコスト

本施設の年間トータルコストは、約１億８０００万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（人件費、修繕費、光熱水費・委託費等）は約２７００万円、事業運営にかかるコスト（人件費・委託費等）は約１億円、減価償却相当額は約５２００万円となっています。

利用者１人当たりにかかるコストは、１０８３円/人です。

行政コスト計算書

(円)

Ⅰ.現金収支を伴うもの

【コストの部】

I.現金収支を伴うもの 【コストの部】		科学技術 体験センター	
施設に かかる コスト	職員人件費	8 200,000	
	修繕費	2 357,820	
	改修費	7 990,500	
	光熱水費	8 336,607	
	委託費	155,925	
	使用料及び賃借料	322,257	
	施設にかかるコスト 計…A	27,363,109	
	事業運営に かかる コスト	事業運営	職員人件費
報酬費等			15 484,872
講師等謝礼等			364,489
委託費			21 939,975
使用料及び賃借料			496,692
車両・備品購入費			813,980
その他事業費			3 237,338
小計…(ア)			54 637,346
事業主催		職員人件費	41 138,884
		委託費	749,140
		小計…(イ)	41 888,024
館内 サービス		職員人件費	4 100,000
		小計…(ウ)	4 100,000
事業運営にかかるコスト 計 (ア+イ+ウ)…B		100 625,370	
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		127 988,479	

【収入の部】

収入	使用料収入	108,760
	諸収入	509,935
	収入合計…②	618,695

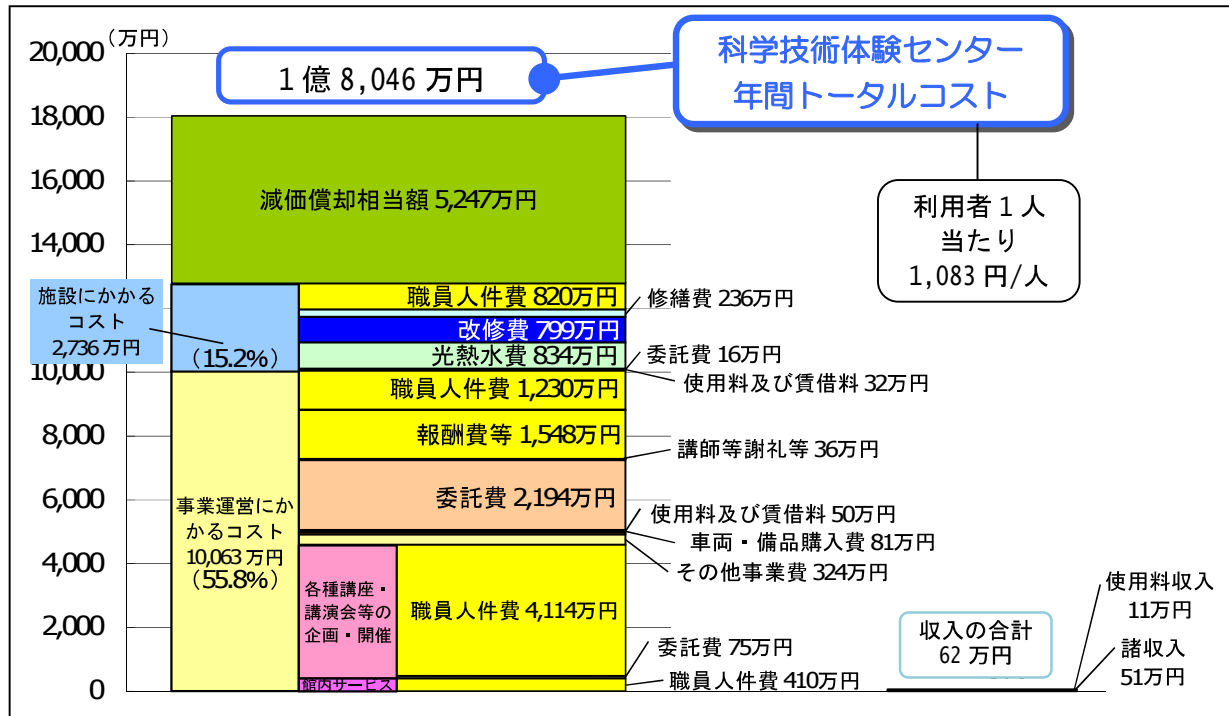
Ⅱ.現金収支を伴わないコスト

減価償却相当額…③	52,470,337
-----------	------------

Ⅲ.総括

コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)	180,458,816
収支差額(④-②)	179,840,121

トータルコスト



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

4) まとめ

- 本施設は平成 13 年度に開所した施設であり、耐震改修の必要はありません。
- 運営は市の職員等による直営と、一部の事業委託にて行っています。年間利用状況は、約 17 万人が利用しています。
- 年間コストは約 1 億 8,000 万円で、施設にかかるコスト（人件費、修繕費、光熱水費・委託費等）は約 2,700 万円、事業運営にかかるコスト（人件費・委託費等）は約 1 億円となっています。
- 本施設は、青少年をはじめ市民の理科又は科学に関する関心を高めるという重要な役割を果たしていますが、今後の検討課題として、体験設備にかかる更新及びメンテナンス費用の軽減化、等が挙げられます。

（14）学童保育室

1）施設概要

① 設置目的等

学童保育室は、児童の健全育成を図ることを目的として、保護者の就労などにより保育が困難な児童を対象に、放課後の余暇指導を行うために設置されており、本市では他市に先駆けて昭和49年より事業を開始いたしました。

女性の社会進出が高まる中、共働き世帯に対する支援策として、重要な役割を担っています。



宮本学童保育室及び
宮本第2学童保育室



城ノ上第2学童保育室

施設一覧

	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	定員	複合・併設施設の状況	備考
公立	1 蒲生学童保育室 (蒲生小校舎内)	蒲生旭町1-84	65.00	昭和40	鉄筋コンクリート造	45		
	2 南越谷学童保育室 (南越谷地区センター内)	南越谷4-21-1	135.00	平成14	鉄筋コンクリート造	70	・南越谷学童保育室: 135㎡ ・南越谷地区センター・公民館: 1,947㎡ ・プール付帯施設等: 181㎡	
	3 南越谷第2学童保育室	南越谷4-21-1	167.67	平成19	軽量鉄骨造	70		
	4 大沢学童保育室	大沢2-13-21	107.65	昭和62	軽量鉄骨造	65		
	5 大袋学童保育室	大竹147	107.65	昭和63	軽量鉄骨造	45		
	6 東越谷学童保育室	東越谷6-1040	126.70	昭和62	軽量鉄骨造	70		
	7 弥栄学童保育室	北川崎725	99.37	平成3	木造	55		
	8 大袋北学童保育室	袋山515	107.65	平成5	木造	60		
	9 宮本学童保育室	宮本町5-85	138.91	平成23	木造	50		
	10 宮本第2学童保育室	宮本町5-85	128.98	平成23	木造	50		
	11 蒲生南学童保育室	南町1-8-1	106.82	平成6	木造	60		
	12 西方学童保育室	西方2-12-1	157.34	平成25	木造	—		平成25年度建替
	13 西方第2学童保育室	西方2-12-1	157.34	平成25	木造	—		平成25年度建替
	14 桜井南学童保育室	下間久里226	154.02	平成22	木造	60		
	15 桜井南第2学童保育室	下間久里226	139.12	平成22	木造	60		
	16 大沢北学童保育室	大林580	107.65	昭和59	軽量鉄骨造	60		
	17 鷺後学童保育室	東大沢2-1-1	107.65	平成4	木造	57		
	18 鷺後第2学童保育室 (鷺後小校舎内)	東大沢2-1-1	193.60	昭和53	鉄筋コンクリート造	90		
	19 千間台学童保育室	千間台西5-4	139.12	平成21	軽量鉄骨造	65		
	20 千間台第2学童保育室	千間台西5-4	139.12	平成21	軽量鉄骨造	65		
	21 花田学童保育室	花田4-14-1	92.19	平成14	軽量鉄骨造	—		
	22 花田第2学童保育室	花田4-14-1	92.19	平成14	軽量鉄骨造	—		平成25年度整備
	23 出羽学童保育室	谷中町2-69	104.34	平成11	軽量鉄骨造	40		
	24 出羽第2学童保育室	谷中町2-69	128.77	平成24	木造	45		
	25 増林学童保育室 (増林小校舎内)	増林2-512	90.00	昭和49	鉄筋コンクリート造	35		
	26 平方学童保育室	平方2784	104.34	平成12	木造	60		
	27 大間野学童保育室	大間野町2-115	104.34	平成13	木造	60		

子育て支援施設（14）学童保育室

	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	定員	複合・併設施設の状況	備考
公立	28 川柳学童保育室 (川柳小校舎内)	川柳町1-471-1	82.40	昭和51	鉄筋コンクリート造	45		
	29 北越谷学童保育室 (北越谷小校舎内)	北越谷3-10-38	64.00	昭和48	鉄筋コンクリート造	35		
	30 大袋東学童保育室 (大袋東小校舎内)	大字袋山1750	64.00	昭和52	鉄筋コンクリート造	60		
	31 新方学童保育室 (新方小校舎内)	大字北川崎178	64.74	昭和45	鉄筋コンクリート造	35		
	32 大相模学童保育室	大成町2-1	104.34	平成16	木造	55		
	33 荻島学童保育室 (旧荻島公民館)	南荻島185-1	148.50	昭和45	鉄筋コンクリート造	80		
	34 城ノ上学童保育室 (城ノ上小校舎内)	増林6066-1	137.40	平成19	鉄筋コンクリート造	60		
	35 城ノ上第2学童保育室	増林6066-1	125.87	平成24	木造	60		
	36 蒲生第二学童保育室	蒲生旭町1-84	99.37	昭和56	軽量鉄骨造	60		
	37 明正学童保育室	川柳町1-401	142.85	平成25	木造	—		平成25年度建替
	38 明正第2学童保育室	川柳町1-401	136.22	平成25	木造	—		平成26年度建替
	39 桜井学童保育室	大泊1140	114.28	平成23	木造	40		
	40 桜井第2学童保育室	大泊1140	101.86	平成23	木造	40		
	合 計		4,688.38			1,907		

	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	定員	複合・併設施設の状況	備考
民間	ビノキオキッズ	越ヶ谷本町3-7	—	平成10	鉄筋コンクリート造	80	越ヶ谷保育園内	

② 開室時間・休室日

開室時間		休室日
学校授業日	放課後～午後7時	日曜日、祝日、 年末年始（12月29日～1月3日）、 その他、特に必要と認めた日（例：インフルエンザの流行や災害などにより、臨時に学校閉鎖になった場合）
学校休業日	月曜日～金曜日：午前8時～午後7時 土曜日：午前8時～午後6時	

③ 事業内容

就労等の理由で保護者が昼間家庭にいない小学校1年生から3年生までの児童(平成27年度より小学生全て)を対象に、校舎内に整備した施設等を利用し、遊びや生活の場所を提供しています。

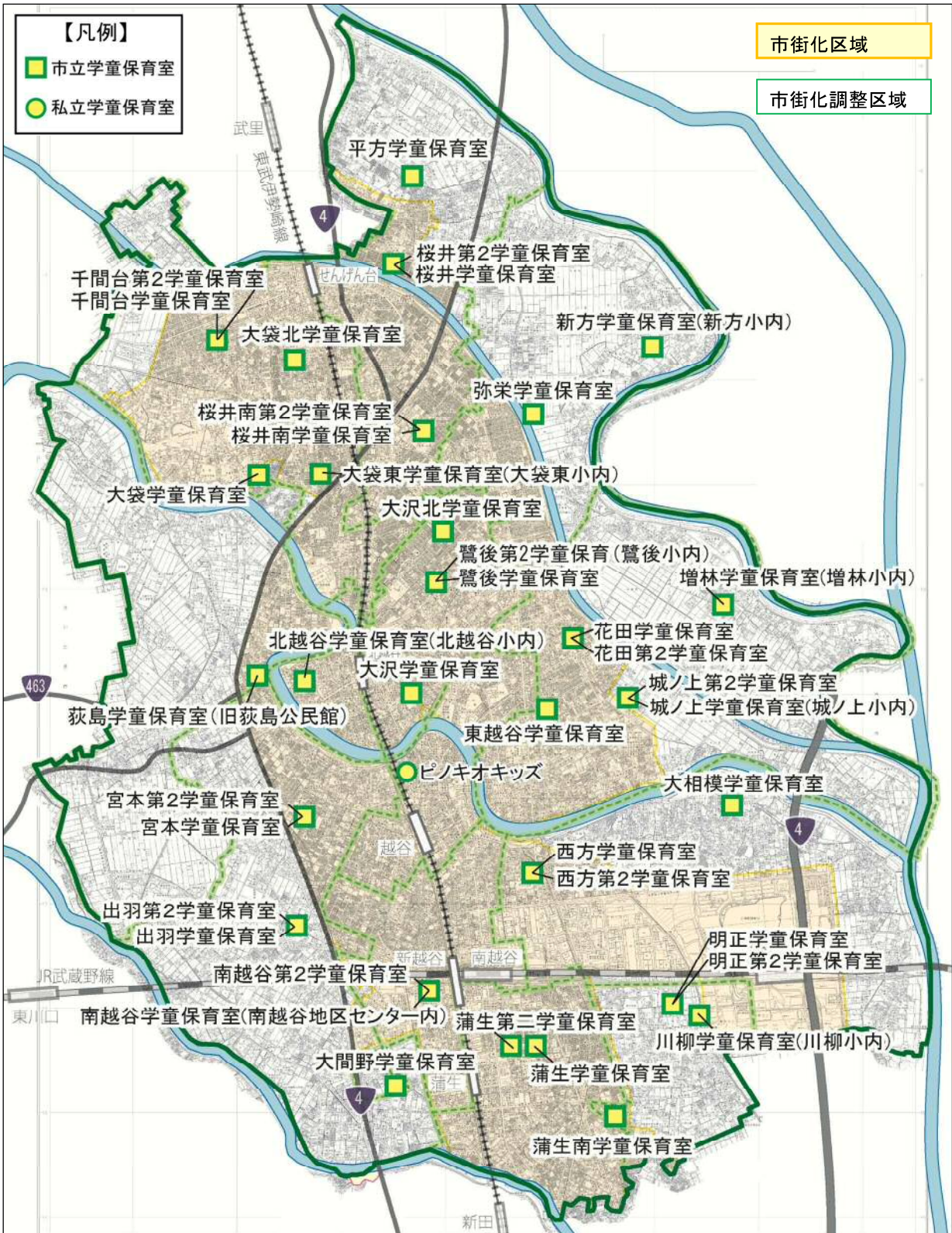
学童保育室の運営は、市の職員による直営で行われていますが、北越谷、大相模、城ノ上、城ノ上第2の4施設については、委託による運営となっています。

④ 配置状況

市立の学童保育室は、越ヶ谷小学校を除く各学校に設置しています。

(越ヶ谷小学校区については、民間学童保育室が設置されています)

学童保育室位置図



2) 利用実態

① 建物の状況

■ 学童保育室のスペック情報

スペック一覧

		複合・併 設状況	基本情報		耐震化	老朽化			アス ベスト	バリアフリー 対応	
No.	施設名	校 内 及 び 他 施 設 内	建 築 年 度	延 床 面 積 (㎡)	耐 震 改 修	築 年 数	直 近 の 大 規 模 改 修	築 年 数 ま た は 直 近 の 大 規 模 改 修 後 経 過 年 数	ア ス ベ ス ト の 除 去	障 が い 者 用 ト イ レ	車 い ず 用 ス ロ ー プ
1	蒲生学童保育室	○	昭和40	65	実施済み	48		48	—	—	—
2	南越谷学童保育室	○	平成14	135	不要	11		11	—	○	—
3	南越谷第2学童保育室		平成19	168	不要	6		6	—	○	○
4	大沢学童保育室		昭和62	108	不要	26		26	—	×	×
5	大袋学童保育室		昭和63	108	不要	25		25	—	×	×
6	東越谷学童保育室		昭和62	127	不要	26		26	—	×	×
7	弥栄学童保育室		平成3	99	不要	22		22	—	×	×
8	大袋北学童保育室		平成5	108	不要	20		20	—	×	×
9	宮本学童保育室		平成23	139	不要	2		2	—	○	○
10	宮本第2学童保育室		平成23	129	不要	2		2	—	×	×
11	蒲生南学童保育室		平成6	107	不要	19		19	—	×	×
12	西方学童保育室		平成25	157	不要	—		—	—	○	○
13	西方第2学童保育室		平成25	157	不要	—		—	—	×	×
14	桜井南学童保育室		平成22	154	不要	3		3	—	○	○
15	桜井南第2学童保育室		平成22	139	不要	3		3	—	×	×
16	大沢北学童保育室		昭和59	108	不要	29		29	—	×	×
17	鷺後学童保育室		平成4	108	不要	21		21	—	×	×
18	鷺後第2学童保育室	○	昭和53	194	実施済み	35		35	—	—	—
19	千間台学童保育室		平成21	139	不要	4		4	—	○	○
20	千間台第2学童保育室		平成21	139	不要	4		4	—	×	×
21	花田学童保育室		平成14	92	不要	11		11	—	○	○
22	花田第2学童保育室		平成14	92	不要	11		11	—	○	○
23	出羽学童保育室		平成11	104	不要	14		14	—	○	○

子育て支援施設（14）学童保育室

No.	施設名	複合・併 設状況	基本情報		耐震化	老朽化			アス ベスト	バリアフリー 対応	
		校 内 及 び 他 施 設 内	建 築 年 度	延 床 面 積 （ ㎡ ）	耐 震 改 修	築 年 数	直 近 の 大 規 模 改 修	築 年 数 ま た は 直 近 の 大 規 模 改 修 後 経 過 年 数	ア ス ベ ス ト の 除 去	障 が い 者 用 ト イ レ	車 い す 用 ス ロ ー プ
24	出羽第2学童保育室		平成24	129	不要	1		1	—	○	○
25	増林学童保育室	○	昭和49	90	実施 済み	39		39	—	—	○
26	平方学童保育室		平成12	104	不要	13		13	—	○	○
27	大間野学童保育室		平成13	104	不要	12		12	—	○	○
28	川柳学童保育室	○	昭和51	82	実施 済み	37		37	—	—	○
29	北越谷学童保育室	○	昭和48	64	実施 済み	40		40	—	—	—
30	大袋東学童保育室	○	昭和52	64	実施 済み	36		36	—	—	○
31	新方学童保育室	○	昭和45	65	実施 済み	43		43	—	—	—
32	大相模学童保育室		平成16	104	不要	9		9	—	○	○
33	荻島学童保育室 （旧荻島公民館）		昭和45	149	未実施	43		43	—	×	×
34	城ノ上学童保育室	○	平成19	137	不要	6		6	—	○	○
35	城ノ上第2学童保育室		平成24	126	不要	1		1	—	○	○
36	蒲生第二学童保育室		昭和56	99	未実施		実施中		—	×	×
37	明正学童保育室		平成25	143	不要	—		—	—	○	○
38	明正第2学童保育室		平成25	136	不要	—		—	—	×	×
39	桜井学童保育室		平成23	114	不要	2		2	—	○	○
40	桜井第2学童保育室		平成23	102	不要	2		2	—	×	×
合計				4,688							

記載例

実施済み=○
未実施 =×
不 要 ⇒—

蒲生学童保育室や南越谷学童保育室など 9 施設は、校内や地区センター内に併設された複合施設であることから、更新や改修の際には主体施設との一体的な検討が必要です。

荻島学童保育室（旧荻島公民館）および蒲生第二学童保育室は、昭和 5 6 以前に建設された、旧耐震基準の建物となっています。

大沢学童保育室や大袋学童保育室など 6 施設は、建設から 2 0 年以上が経過しており、今後老朽化対策の検討が必要です。

南越谷第 2 学童保育室や宮本学童保育室など 1 9 施設は、比較的新しい施設であり、建物の安全性は問題ありません。

② 利用状況

■ 児童数の推移

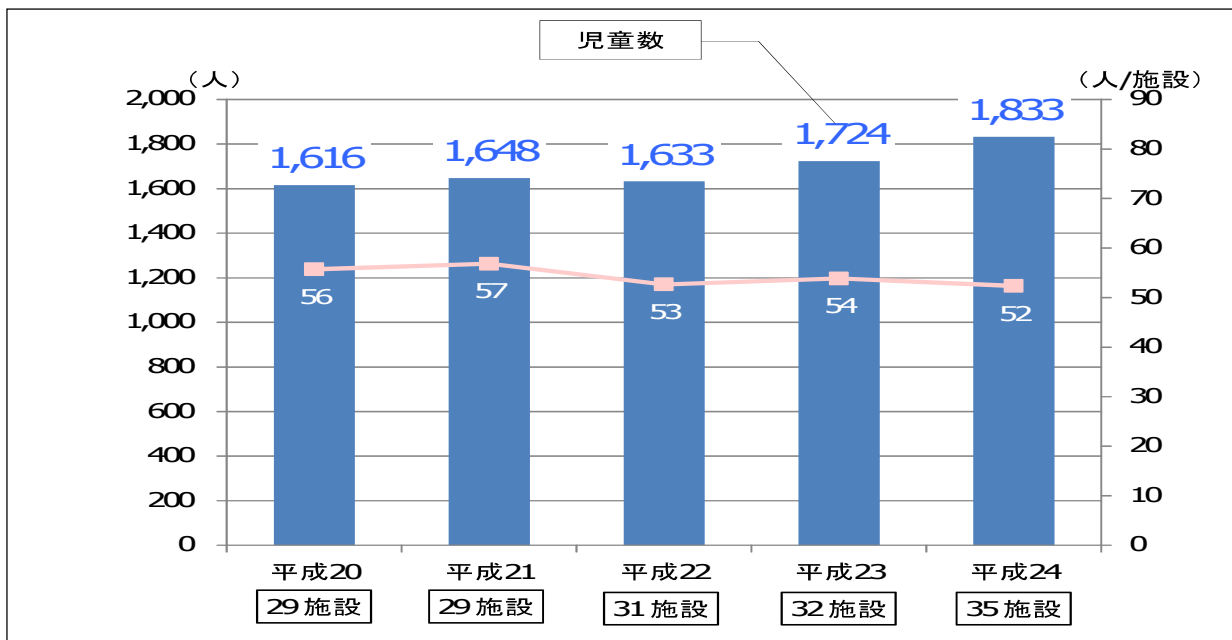
平成24年度の学童保育室の入室児童数は、全施設で約1,800人、1施設当たり52人となっています。

平成20年度からの推移をみると、平成20年度約1,600人に対し平成24年度は約1,800人と増加しております。施設数は平成20年度29施設に対し、5年間で6施設を整備しており平成24年度には合計35施設となっています。

待機児童の状況をみると、平成24年度は、65人となっています。平成20年度からの待機児童数の推移をみると、増減はあるものの、毎年待機児童がいる状況となっています。

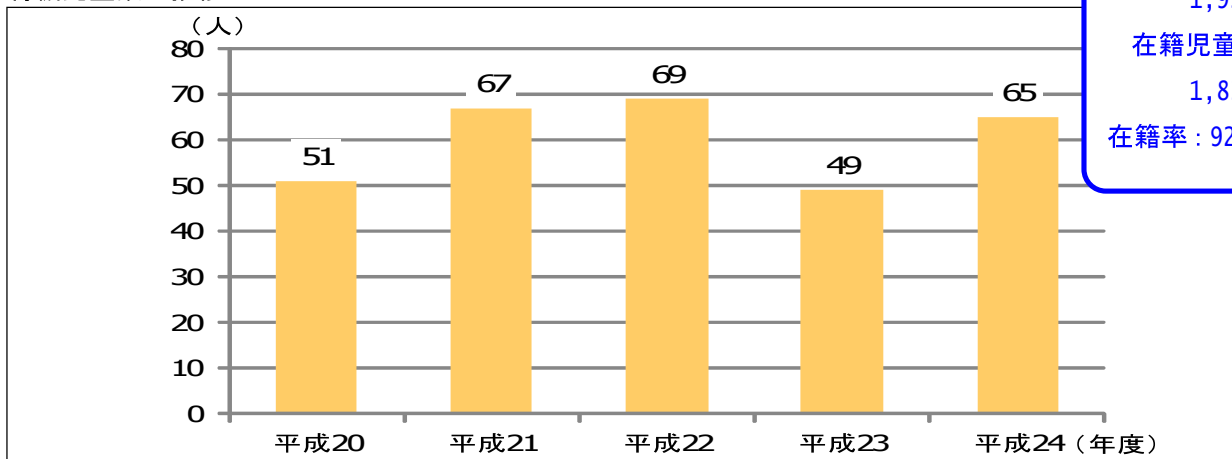
平成24年度の学童保育室の児童数は、定員1,990人に対して1,833人が在籍しており、約92.1%の在籍率となっています。

児童数の推移（各年4月1日現在）



※平成24年度は4月1日現在のため、出羽第2学童保育室及び城ノ上第2学童保育室を除く

待機児童数の推移



全施設定員

1,990人

在籍児童数

1,833人

在籍率：92.1%

3) コスト状況

■ 学童保育室のトータルコスト

学童保育室37施設※の年間トータルコストは、約4億5,000万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕費、光熱水費・委託費等）は約730万円、事業運営にかかるコスト（人件費・その他事業費等）は約4億3,000万円、減価償却相当額が約1,700万円となっています。

利用者からの使用料等の収入は約8,700万円となっており、全費用の19.2%となっています。

施設別行政コスト計算書

(円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		浦生学童 保育室	南越谷学 童保育室	南越谷第2 学童保育 室	大沢学童 保育室	大袋学童 保育室	東越谷学 童保育室	弥栄学童 保育室	大袋北学 童保育室	宮本学童 保育室	宮本第2学 童保育室	浦生南学 童保育室	西方学童 保育室	桜井南学 童保育室
施設にか かる コスト	修繕費	55,041	55,041	55,041	55,041	55,041	55,041	55,041	55,041	55,041	55,041	55,041	55,041	55,041
	改修費	0	0	0	0	1,243,550	0	0	0	0	0	1,243,550	0	0
	光熱水費	0	0	295,794	45,335	11,432	30,480	57,172	28,065	6,463	0	31,647	19,215	0
	委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	使用料及び賃借料	0	0	22,155	0	2,520	2,520	0	2,520	2,520	0	0	2,520	0
	施設にかかるコスト 計…A	55,041	55,041	372,990	100,376	1,312,543	88,041	112,213	85,626	64,024	55,041	1,330,238	76,776	55,041
事業運 営にか かる コスト	職員人件費	10,541,559	13,176,949	13,176,949	13,176,949	10,541,559	13,176,949	10,541,559	10,541,559	10,541,559	10,541,559	13,176,949	18,447,728	13,176,949
	講師等謝礼	857	857	857	857	857	857	857	857	857	857	857	857	857
	委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車両・備品購入費	14,802	14,802	14,802	14,802	14,802	14,802	14,802	14,802	14,802	14,802	14,802	14,802	14,802
	負担金補助及び交付金	703	703	703	703	703	703	703	703	703	703	703	703	703
	その他事業費	233,204	234,317	236,712	235,897	234,202	235,710	238,212	237,621	240,433	240,433	238,710	243,512	241,423
	事業運営にかかるコスト 計…B	10,791,126	13,427,628	13,430,023	13,429,208	10,792,123	13,429,021	10,796,133	10,795,542	10,798,354	10,798,354	13,432,021	18,707,603	13,434,734
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		10,846,167	13,482,670	13,803,014	13,529,584	12,104,667	13,517,062	10,908,346	10,881,169	10,862,379	10,853,396	14,762,260	18,784,379	13,489,775
【収入の部】														
収入	保育料	1,998,200	3,242,600	2,983,600	2,528,600	1,347,600	2,520,400	2,442,900	1,855,500	1,708,200	1,647,700	2,183,200	4,321,800	1,807,300
	使用料収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	諸収入	168,000	222,750	209,250	254,250	109,750	205,250	174,000	170,750	129,250	0	227,250	262,500	186,750
	収入合計…②	2,166,200	3,465,350	3,192,850	2,782,850	1,457,350	2,725,650	2,616,900	2,026,250	1,837,450	1,647,700	2,410,450	4,584,300	1,994,050
II. 現金収支を伴わないコスト														
減価償却相当額…③		228,931	0	0	264,600	361,620	322,518	696,354	544,800	1,785,751	宮本に含む	599,280	991,082	1,239,483
III. 総括														
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		11,075,098	13,482,670	13,803,014	13,794,184	12,466,287	13,839,580	11,604,700	11,425,969	12,648,130	10,853,396	15,361,540	19,775,461	14,729,258
収支差額(④-②)		8,908,898	10,017,320	10,610,164	11,011,334	11,008,937	11,113,930	8,987,800	9,399,719	10,810,680	9,205,696	12,951,090	15,191,161	12,735,208

(円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		桜井南第2 学童保育 室	大沢北学 童保育室	鷺後学童 保育室	鷺後第2学 童保育室	千間台学 童保育室	千間台第2 学童保育 室	花田学童 保育室	出羽学童 保育室	出羽第2学 童保育室	増林学童 保育室	平方学童 保育室	大間野学 童保育室	川柳学童 保育室
施設にか かる コスト	修繕費	55,041	55,041	55,041	55,041	55,041	55,041	55,041	55,041	0	55,041	55,041	55,041	55,041
	改修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	光熱水費	0	32,630	28,321	6,463	0	0	300,929	28,410	0	4,800	23,212	18,588	6,652
	委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	28,245	2,520	0	0	0	0	0
	施設にかかるコスト 計…A	55,041	87,671	83,362	61,504	55,041	55,041	384,215	85,971	0	59,841	78,253	73,629	61,693
事業運 営にか かる コスト	職員人件費	10,541,559	10,541,559	13,176,949	10,541,559	10,541,559	10,541,559	21,083,118	13,176,949	0	13,176,949	10,541,559	13,176,949	10,541,559
	講師等謝礼	857	857	857	857	857	857	857	857	0	857	857	857	857
	委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車両・備品購入費	14,802	14,802	14,802	14,802	14,802	14,802	14,802	14,802	589,575	14,802	14,802	14,802	14,802
	負担金補助及び交付金	703	703	703	703	703	703	703	703	0	703	703	703	703
	その他事業費	241,356	233,967	238,355	233,919	236,173	236,173	238,779	240,925	1,824	232,128	241,134	241,466	233,364
	事業運営にかかるコスト 計…B	10,799,278	10,791,888	13,431,666	10,791,840	10,794,095	10,794,095	21,338,259	13,434,236	591,399	13,425,439	10,799,055	13,434,777	10,791,285
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		10,854,319	10,879,560	13,515,028	10,853,345	10,849,136	10,849,136	21,722,475	13,520,208	591,399	13,485,280	10,877,308	13,508,406	10,852,979
【収入の部】														
収入	保育料	2,143,200	1,777,300	2,128,600	2,235,800	2,103,600	2,535,400	2,860,100	3,143,200	0	1,457,600	2,176,700	2,904,600	1,981,800
	使用料収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	諸収入	157,500	126,500	201,000	177,750	177,750	177,000	218,500	200,750	0	112,000	182,500	211,750	167,500
	収入合計…②	2,300,700	1,903,800	2,329,600	2,413,550	2,281,350	2,712,400	3,078,600	3,343,950	0	1,569,600	2,359,200	3,116,350	2,149,300
II. 現金収支を伴わないコスト														
減価償却相当額…③		桜井南に含む	235,200	640,684	鷺後に含む	1,807,326	千間台に含む	882,882	900,736	出羽に含む	0	948,406	989,284	0
III. 総括														
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		10,854,319	11,114,760	14,155,712	10,853,345	12,656,462	10,849,136	22,605,357	14,420,944	591,399	13,485,280	11,825,714	14,497,690	10,852,979
収支差額(④-②)		8,553,619	9,210,960	11,826,112	8,439,795	10,375,112	8,136,736	19,526,757	11,076,994	591,399	11,915,680	9,466,514	11,381,340	8,703,679

子育て支援施設（14）学童保育室

(円)

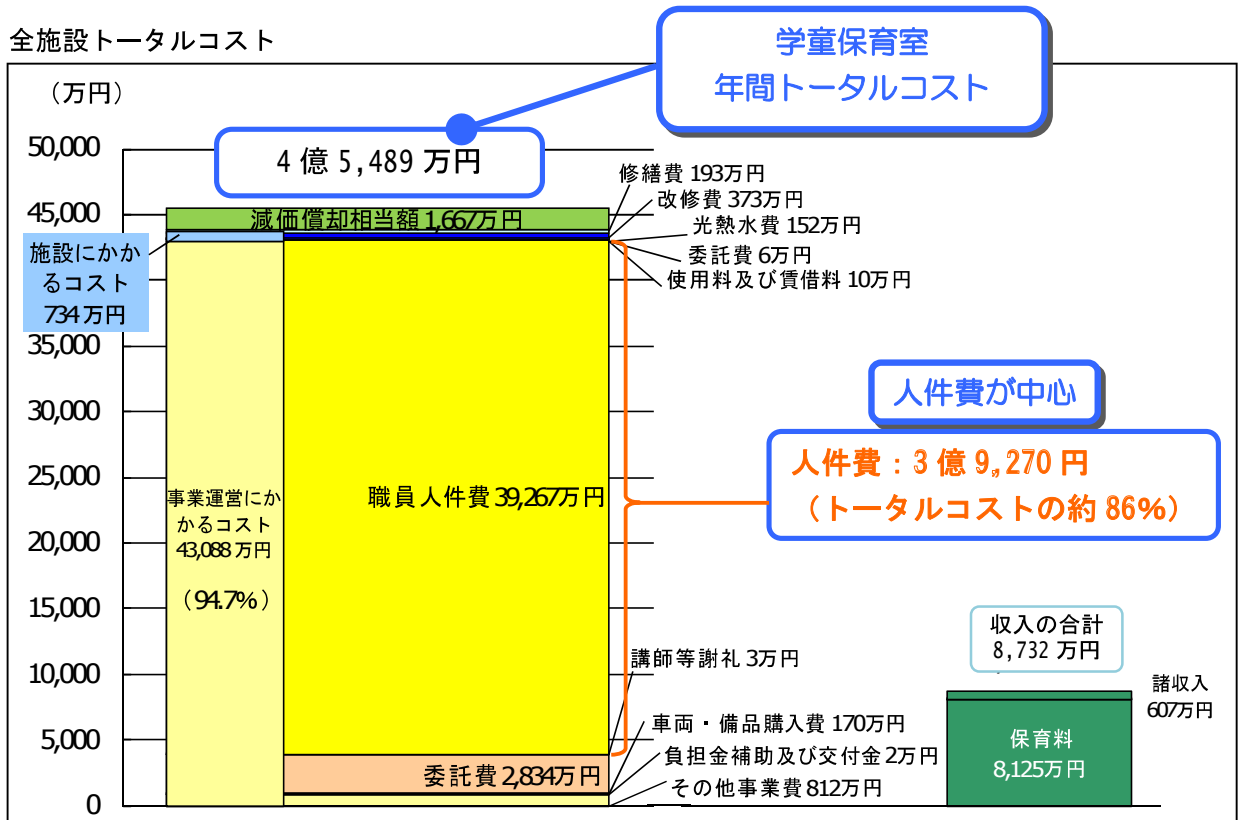
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		北越谷学 童保育室	大袋東学 童保育室	新方学童 保育室	大相模学 童保育室	荻島学童 保育室	城ノ上学 童保育室	城ノ上第2 学童保育 室	蒲生第二 学童保育 室	明正学童 保育室	桜井学童 保育室	桜井第2学 童保育室	合計
施設にかかる コスト	修繕費	55,041	55,041	55,041	55,041	55,041	55,041	0	55,041	55,041	55,041	55,041	1,926,452
	改修費	0	0	0	0	0	0	0	1,243,550	0	0	0	3,230,650
	光熱水費	0	0	0	0	518,508	0	0	12,653	10,710	0	0	1,517,479
	委託費	0	0	0	22,906	42,000	0	0	0	0	0	0	64,906
	使用料及び賃借料	0	0	0	0	29,820	0	0	2,520	0	0	0	97,860
施設にかかるコスト計…A		55,041	55,041	55,041	77,947	645,369	55,041	0	1,313,764	65,751	55,041	55,041	7,337,347
事業運営にかかる コスト	職員人件費	0	13,176,949	13,176,949	0	15,812,338	0	0	10,541,559	10,541,559	10,541,559	10,541,559	392,673,071
	講師等謝礼	857	857	857	857	857	857	857	857	857	857	857	30,000
	委託費	6,780,000	0	0	10,780,000	0	10,780,000	0	0	0	0	0	28,340,000
	車両・備品購入費	14,802	14,802	14,802	14,802	14,802	14,802	589,575	14,802	14,802	14,802	14,802	1,697,220
	負担金補助及び交付金	0	703	703	0	703	0	0	703	703	703	703	22,500
	その他事業費	169,943	234,609	232,124	186,073	235,594	172,337	1,726	235,193	233,546	238,736	238,670	8,118,502
	事業運営にかかるコスト計…B	6,965,602	13,427,920	13,425,435	10,981,732	16,064,295	10,967,997	591,301	10,793,114	10,791,468	10,796,658	10,796,591	430,881,293
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		7,020,643	13,482,961	13,480,476	11,059,680	16,709,664	11,023,038	591,301	12,106,879	10,857,219	10,851,699	10,851,633	438,218,640
【収入の部】													
収入	保育料	1,801,800	2,611,900	1,299,300	2,319,900	3,670,400	3,525,000	0	2,605,000	2,475,000	1,725,500	1,180,400	81,249,700
	使用料収入	0	0	0	0	1,500	0	0	0	0	0	0	1,500
	諸収入	91,750	186,500	74,750	158,750	259,250	260,500	0	238,250	166,000	98,250	109,250	6,073,500
	収入合計…②	1,893,550	2,798,400	1,374,050	2,478,650	3,931,150	3,785,500	0	2,843,250	2,641,000	1,823,750	1,289,650	87,324,700
II. 現金収支を伴わないコスト													
減価償却相当額…③		0	0	0	983,364	1,021,814	0	0	223,545	0	1,004,883	桜井に含む	16,672,543
III. 総括													
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		7,020,643	13,482,961	13,480,476	12,043,044	17,731,478	11,023,038	591,301	12,330,424	10,857,219	11,856,582	10,851,633	454,891,183
収支差額(④-②)		5,127,093	10,684,561	12,106,426	9,564,394	13,800,328	7,237,538	591,301	9,487,174	8,216,219	10,032,832	9,561,983	367,566,483

※平成 25 年度以降に整備された施設は除く

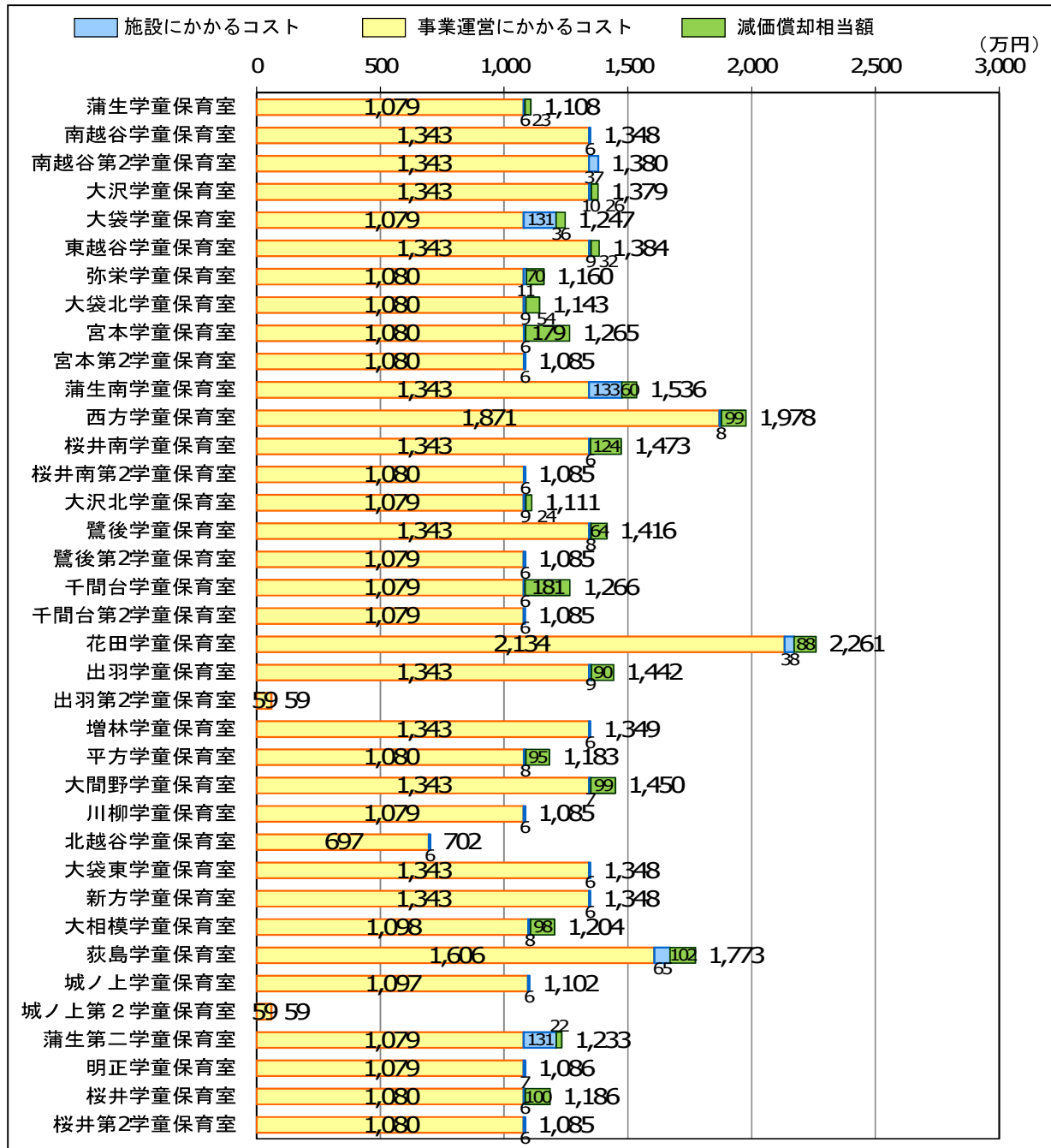
学童保育室の全施設トータルコストのうち人件費が約 3 億 9 000 万円と全体の約 86%を占めています。

また、施設別トータルコストでは、北越谷学童保育室の約 700 万円から花田学童保育室の約 2 300 万円となっています。

全施設トータルコスト



施設別トータルコスト



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

※平成25年度以降に整備された施設は除く

4）まとめ

- 学童保育室は昭和40年代から時代の要請により適宜建設され、現在計40施設を有しており、その内の9施設は学校施設等への併設施設となっています。昭和56年以前に建設された旧耐震基準の建物9施設のうち2施設が耐震化未整備であり、他の施設は耐震化の整備は不要となっていますが、建築後一定期間が経過し老朽化が顕著である施設も見受けられます。
- 構造も木造と鉄筋コンクリートが混在しており、総延床面積は約4,700㎡となっています。入所児童数は増加傾向にあり、学童保育室全体の定員1,990人に対し在籍率は約92.1%となっています。また、運営は市職員（非常勤）による直営のほか、4施設は委託で行われています。
- 年間コストは約4億5,000万円で、1施設平均約1,200万円となっており、利用者からの使用料等の収入は費用全体の19.2%となっています。
- 今後の検討課題としては、改修時に合わせて施設の複合・併設化などを検討する必要があります。また、児童福祉法の改正で、小学6年生までの児童を受け入れることになると、施設規模の拡大が必要になり、さらなる固定費の増加が想定されます。保育料の見直しや、効果的な運用形態等についても検討する必要があります。

（15）スポーツ施設

1）施設概要

① 設置目的等

本市では、昭和49年にスポーツ・レクリエーション都市を宣言し、ひとりひとりが生涯をとおしてスポーツ・レクリエーションに親しみ、健康でたくましい心とからだをつくるとともに、さらに市民の交流を深め連帯感に支えられた明るく豊かな住みよいまちを築くことを目的として、団体の育成や施設の整備、指導者の育成などが進められました。

施設の整備としては昭和36年に第1体育館、昭和41年に第2体育館が完成し、その後も学校の校庭や公園のナイター設備の設置、北体育館をはじめとする地域体育館や総合体育館等が整備されてきました。



総合体育館



弓道場

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	複合・併設施設の状況	備考
1 緑の森公園越谷市弓道場	越ヶ谷2579番地	511.21	平成8	木造 一部鉄骨造		
2 総合体育館	増林二丁目33番地	12,837.07	昭和62	鉄骨鉄筋 コンクリート造		
3 第1体育館	大沢二丁目10番21号	1,621.83	昭和36	鉄骨造		
4 第2体育館	大沢二丁目10番21号	1,200.30	昭和41	鉄骨造		
5 北体育館	大杉510番地	1,851.69	昭和56	鉄骨造		
6 南体育館	川柳町四丁目20番地	1,910.46	昭和57	鉄骨造		
7 西体育館	七左町四丁目223番地	2,129.00	昭和59	鉄骨造		
8 市民球場	増林三丁目1番地	5,297.89	平成6	鉄筋コンクリート造		
9 しらこばと運動公園競技場	大字小曾川729番地1	2,195.08	平成14	鉄筋コンクリート造		
10 市民プール	増林三丁目2番地2	1,869.97	平成14	鉄筋コンクリート造	市民プール 1,870㎡ 老人福祉センター ゆりのき荘 3,002㎡	
合 計		31,424.50				

② 開館時間・開館日数

名称	開館時間	休館日	開館日数
緑の森公園越谷市弓道場	午前 9 時～午後 9 時	月曜日、年末年始	308 日
総合体育館	午前 9 時～午後 10 時	年末年始	358 日
第 1 体育館	午前 9 時～午後 9 時	年末年始	354 日
第 2 体育館	午前 9 時～午後 9 時	年末年始	354 日
北体育館	午前 9 時～午後 9 時	年末年始	354 日
南体育館	午前 9 時～午後 9 時	年末年始	354 日
西体育館	午前 9 時～午後 9 時	年末年始	354 日
市民球場	【野球場】 午前 9 時～午後 9 時 【会議室】 午前 9 時～午後 9 時 ただし、12 月～3 月は午後 5 時まで	【野球場】 12 月から 3 月 【会議室】 年末年始	246 日
しらこぼと運動公園競技場	午前 9 時～午後 5 時	年末年始	354 日
市民プール	午前 9 時～午後 10 時 ※ただし、温水プール、トレーニングルームの利用時間は 午前 9 時 30 分～午後 9 時 30 分	月曜日、年末年始	308 日

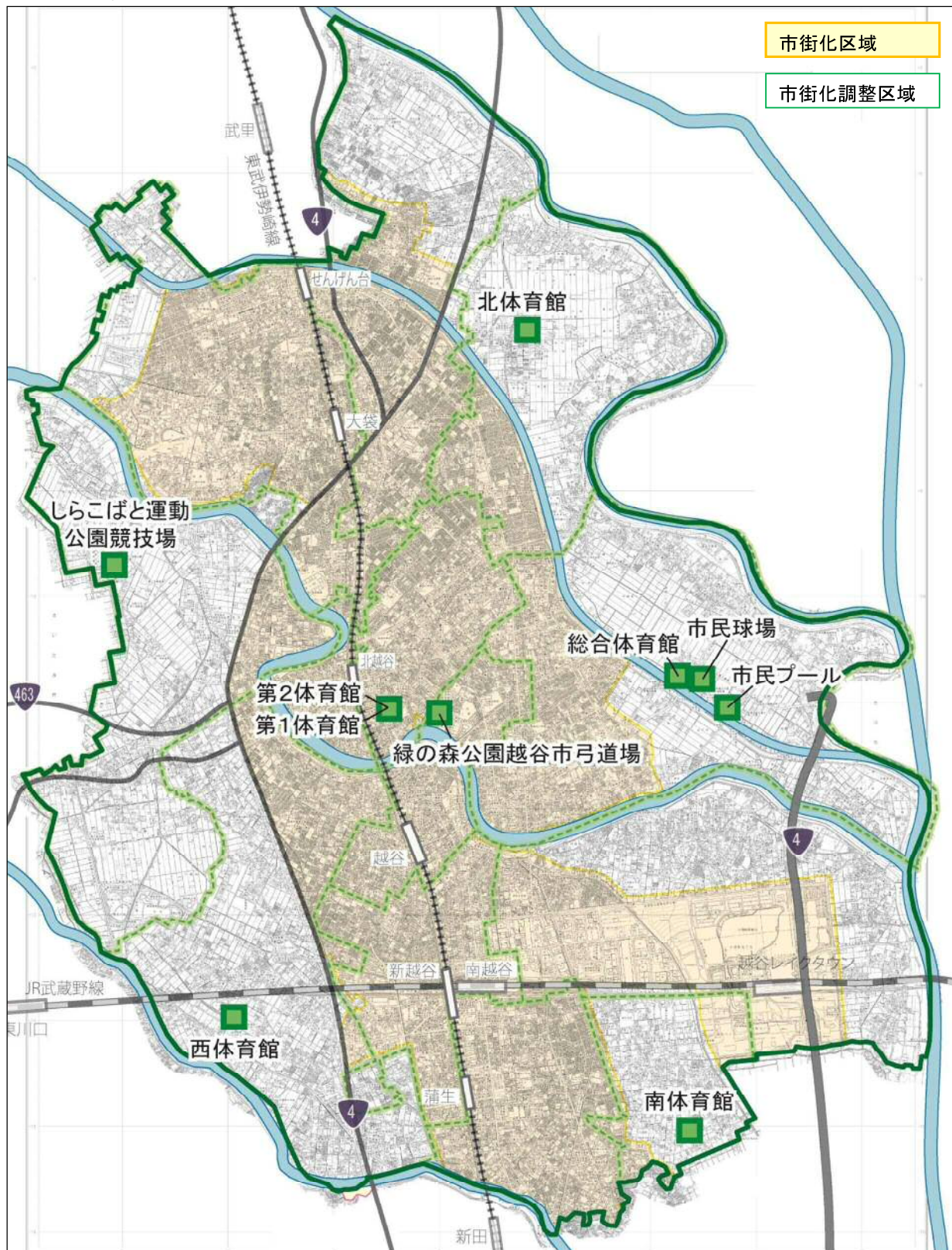
③ 事業内容

身近な地域で気軽にスポーツやレクリエーション活動をしたり、健康や体力の維持が図れるよう施設の貸し出しを行っています。また、一部の施設については埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム「まんまるよやく」の対象施設となっており、越谷市民だけではなく、5 市 1 町（草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町）の在住、在勤者へも貸し出しを行っています。

また、運営は総合体育館を除く体育館は市の直営で行われ、その他の施設は指定管理者制度を導入し、指定管理者が行っています。

④ 配置状況

スポーツ施設位置図



⑤ スペース構成

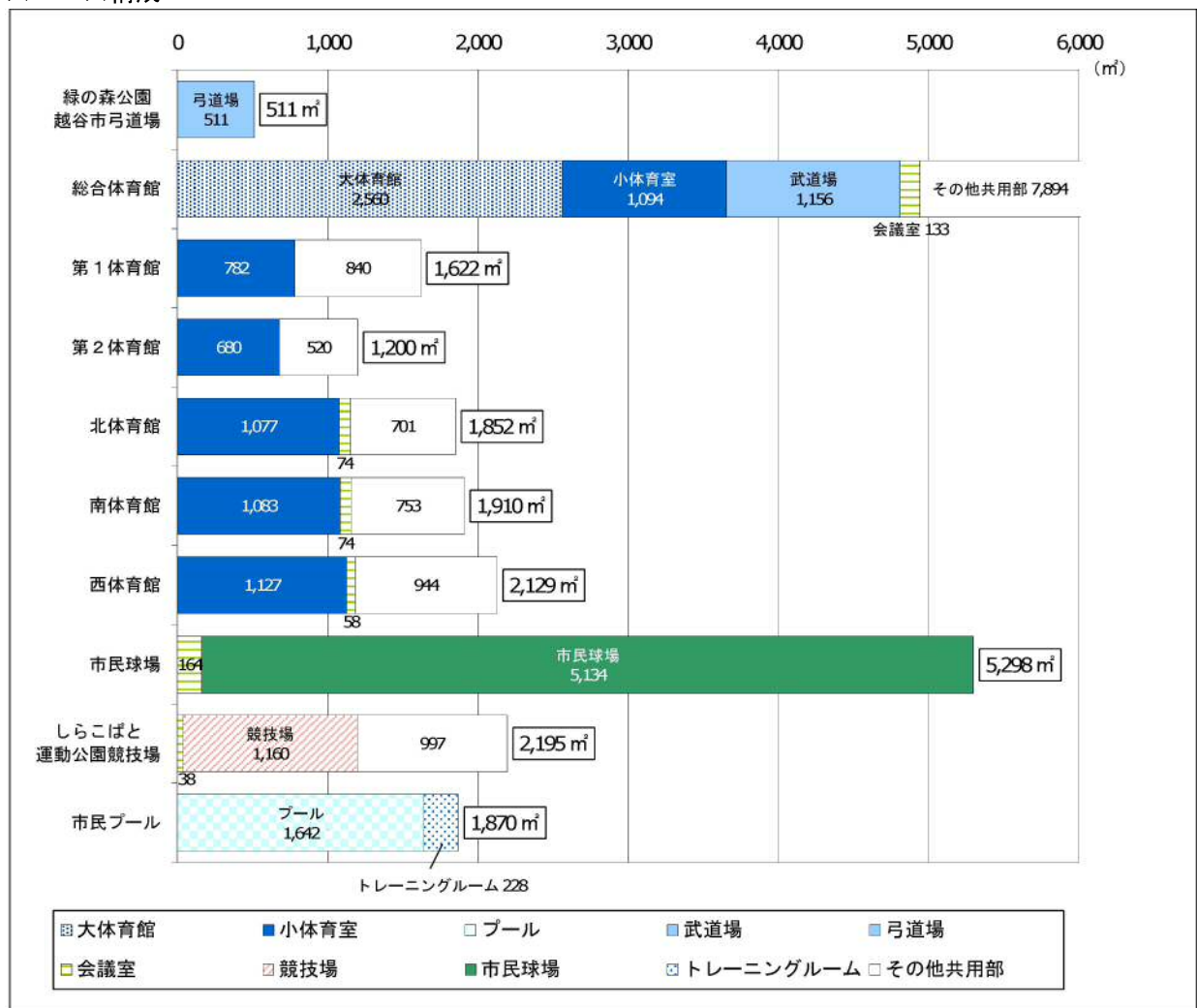
体育館は、関東地方において第1級の規模を誇る総合体育館と地域体育館の2種類があります。

総合体育館は第1体育室、第2体育室、武道場及び会議室を保有しています。第1体育室は、収容人員は固定客席2,224席、ロールバックスタンド(半固定席)2,220席、その他合わせて4,500名近くを収容することができ、スポーツ競技や国際試合だけでなく、各種イベントにも対応できます。第2体育室は、東地区の地域体育館の機能を有しています。

地域体育館は、第1体育館から西体育館及び総合体育館の第2体育室で、約680㎡から約1,100㎡の体育館です。

その他の施設のスペース構成は以下のとおりとなっています。

スペース構成



2) 利用実態

① 建物の状況

■スポーツ施設のスペック情報

スペック一覧

		基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応						環境対応			
No.	施設名	建築年度	延床面積（㎡）	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	車いす用エレベーター※1	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2
1	緑の森公園越谷市弓道場	平成8	511	不要	17		17	—	○	○	○	×	×	○	×	×	×	
2	総合体育館	昭和62	12,837	不要	26	平成25	0	—	○	○	○	○	×	×	×	×	○	
3	第1体育館	昭和36	1,622	未実施	52		52	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
4	第2体育館	昭和41	1,200	未実施	47		47	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
5	北体育館	昭和56	1,852	未実施	32		32	—	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
6	南体育館	昭和57	1,910	不要	31		31	—	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
7	西体育館	昭和59	2,129	不要	29		29	—	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
8	市民球場	平成6	5,298	不要	19		19	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
9	しらこぼと運動公園競技場	平成14	2,195	不要	11	平成24	1	—	○	×	×	×	×	×	×	×	○	
10	市民プール	平成14	1,870	不要	11		11	—	○	○	○	○	○	×	—	—	—	
	合計		31,425															

記載例	実施済み：○	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
	未実施：×	
	不要：—	

第1・第2体育館、北体育館は、旧耐震基準の建物であるため、耐震診断を実施し、耐震安全性が確保されているのかを早急に確認する必要があり、結果によっては、耐震化を図る必要があります。さらに、築30年以上を経過し、老朽化も進行しているため、老朽化対策も必要な施設となっています。

南体育館と西体育館は、新耐震基準の建物ですが、建設から30年近くが経過しているため、老朽化が懸念されます。

総合体育館や市民球場、しらこぼと運動公園競技場など5施設は、建物の安全性は問題が無い施設ですが、バリアフリー対応等が一部完了していないため、大規模改修時等での対応が求められます。

なお、市民プールは老人福祉センターゆりのき荘との複合施設となっており、改修時は一体での検討が必要です。

② 利用状況

■ 施設別利用状況

スポーツ施設の平成24年度の全体利用者数は年間約75万4,000人です。市民1人当たり年間平均2.3回/人となっています。

施設ごとの利用者数をみると、総合体育館は年間約32万3,000人（1日当たり約900人/日）であり、スポーツ施設全体の約43%を占めています。

緑の森公園越谷市弓道場は、年間約1万6,000人（1日当たり約50人/日）です。

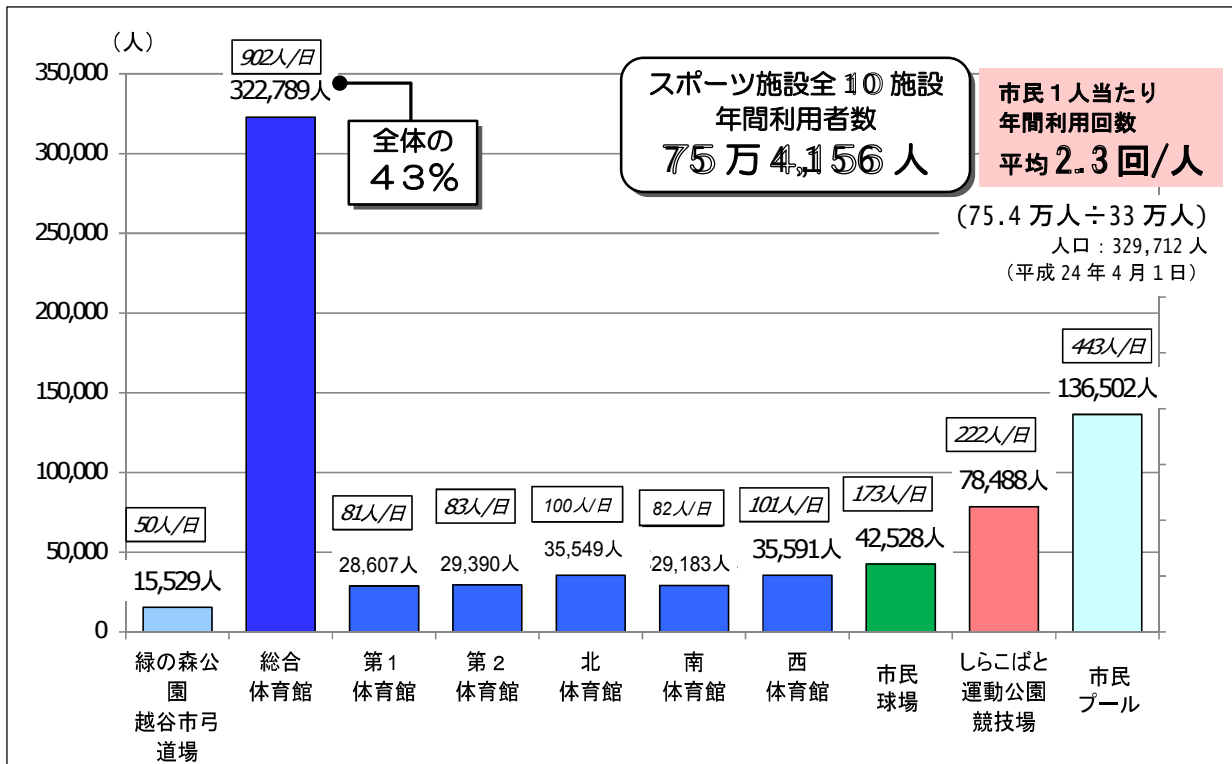
地域体育館は、第1体育館の年間約2万9,000人（1日当たり約80人/日）から西体育館の年間約3万6,000人（1日当たり約100人/日）とほぼ同程度です。

越谷市民球場は、年間約4万3,000人（1日当たり約170人/日）です。

しらこばと運動公園競技場は、年間約7万8,000人（1日当たり約220人/日）です。

越谷市民プールは、年間約13万7,000人（1日当たり約440人/日）と、総合体育館に次いで多くなっています。

施設別利用者数



■ 体育館の利用状況

体育館全6施設の平成24年度の年間利用者数は約48万1,000人です。

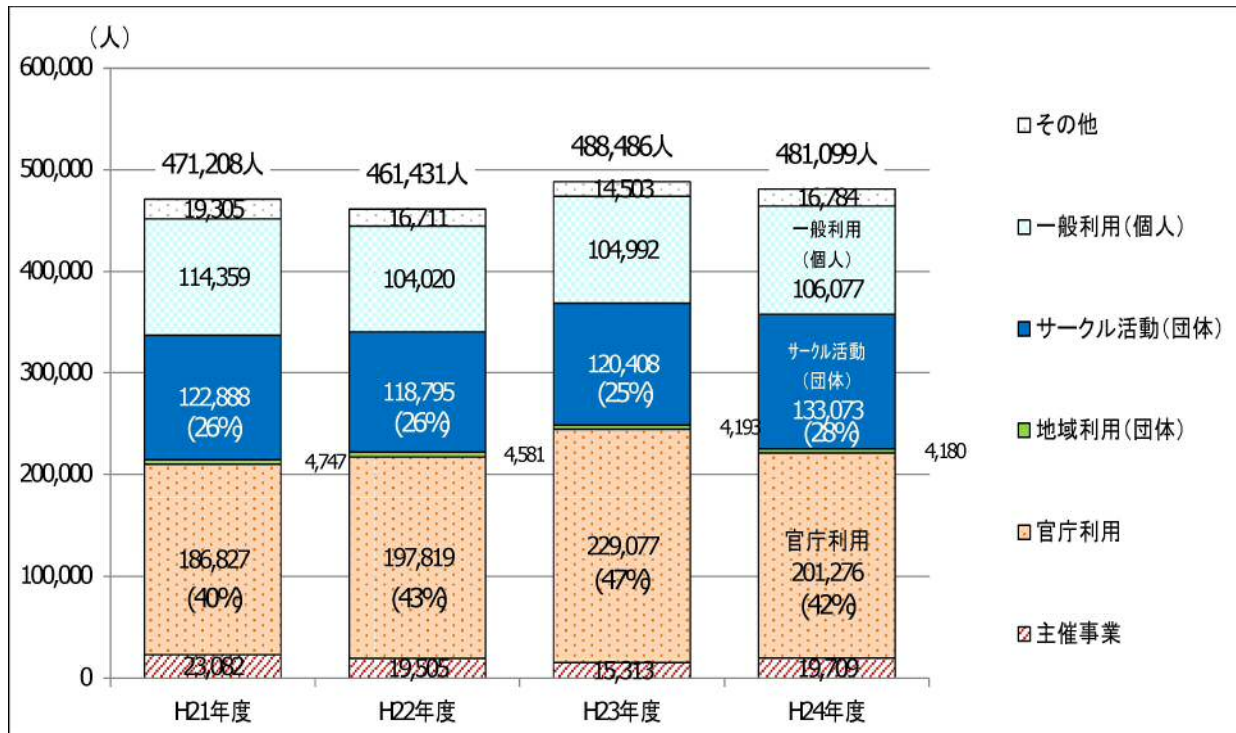
平成21年度以降の推移をみると、平成21年度の約47万1,000人から横ばい傾向です。

利用目的別の内訳をみると、官庁利用が40%から47%を占めています。次いで、サークル活動等の団体利用が25%から28%を占めています。

施設別の利用者数をみると、総合体育館は官庁利用が中心となっている一方、地域体育館は、サークル活動等の団体利用及び一般利用の割合が高くなっています。

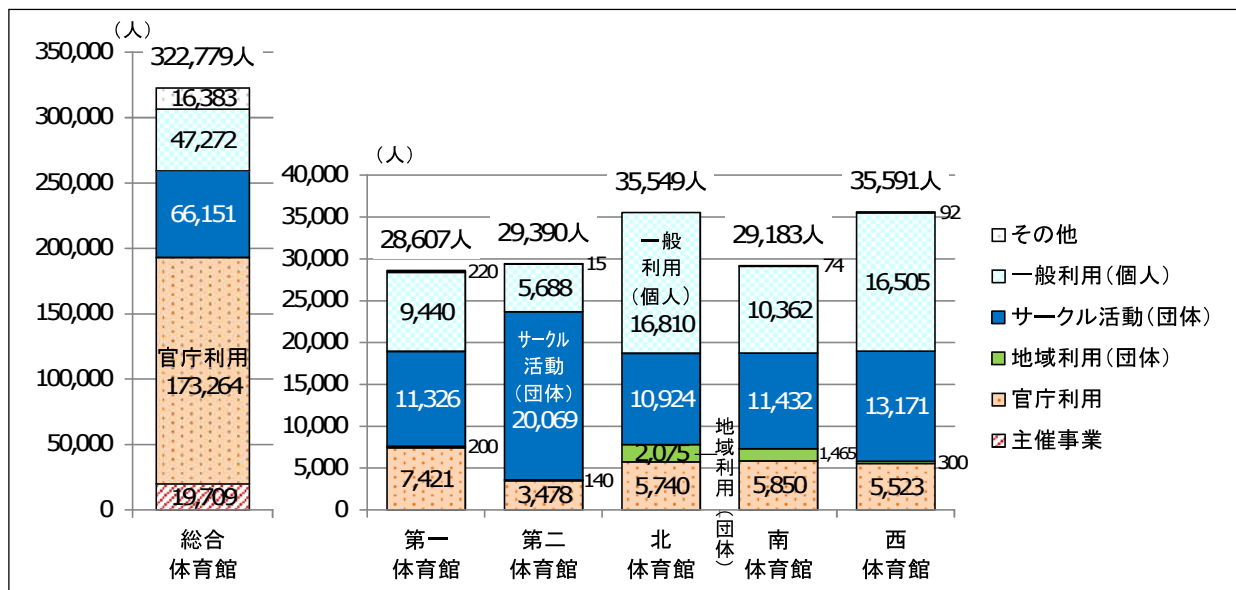
また、施設の主催事業は、総合体育館のみで行われています。

体育館施設の目的別利用者数の推移



※平成20年度については目的別データが総合体育館のみのため省いています

体育館施設の施設別・目的別利用者数



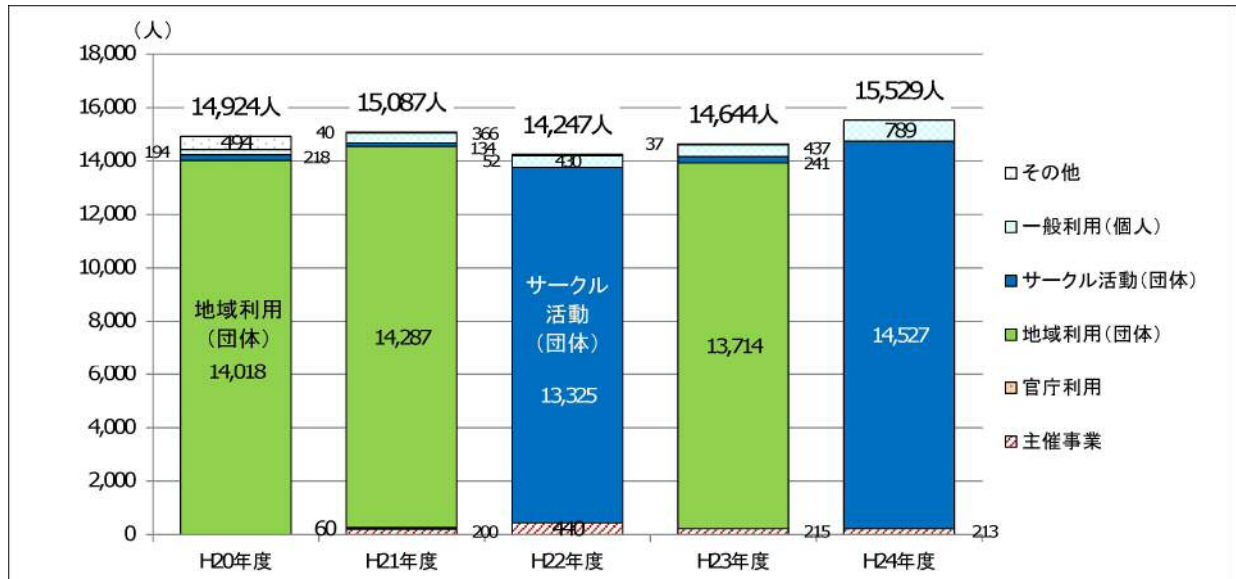
■ 緑の森公園越谷市弓道場の利用状況

緑の森公園越谷市弓道場の平成24年度の年間利用者数は約1万6,000人です。

平成20年度以降の推移をみると、平成20年度の約1万5,000人から平成24年度まで横ばい傾向です。

平成24年度の利用目的別の内訳をみると、サークル活動等の団体利用が約94%を占めています。

緑の森公園越谷市弓道場の目的別利用者数の推移



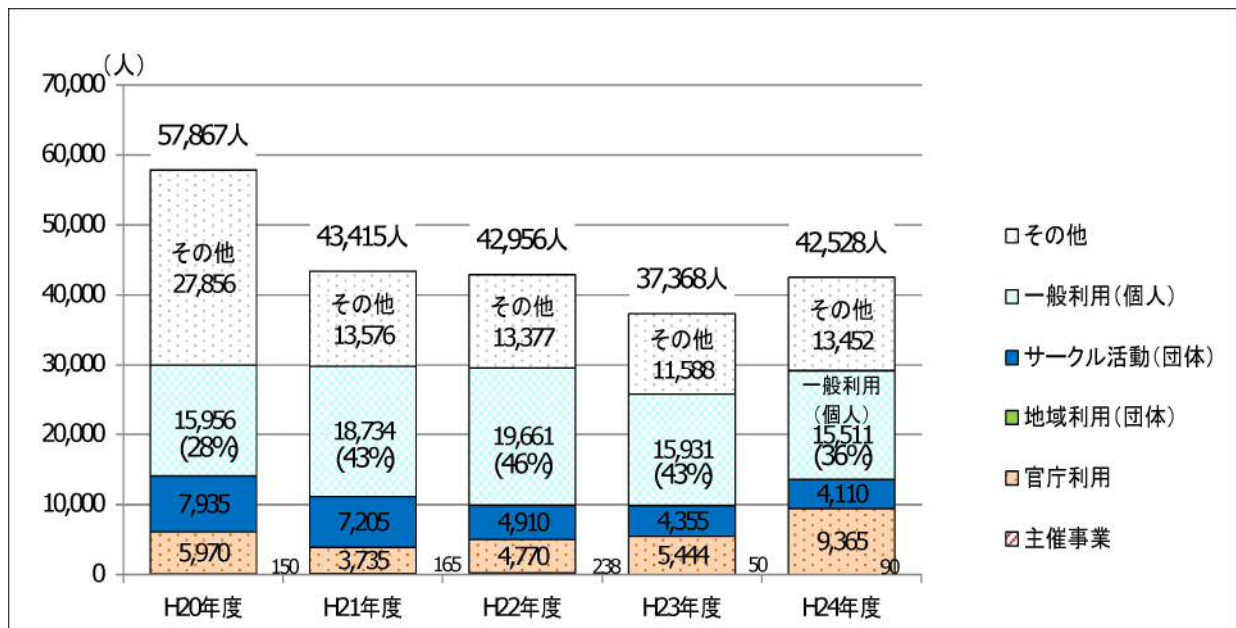
■ 市民球場の利用状況

越谷市民球場の平成24年度の年間利用者数は約4万3,000人です。

平成20年度以降の推移をみると、平成21年度に大きく減少しましたが、それ以降では、横ばい傾向です。

平成21年度以降の利用目的別の内訳をみると、一般利用が36%から46%を占めています。

市民球場の目的別利用者数の推移

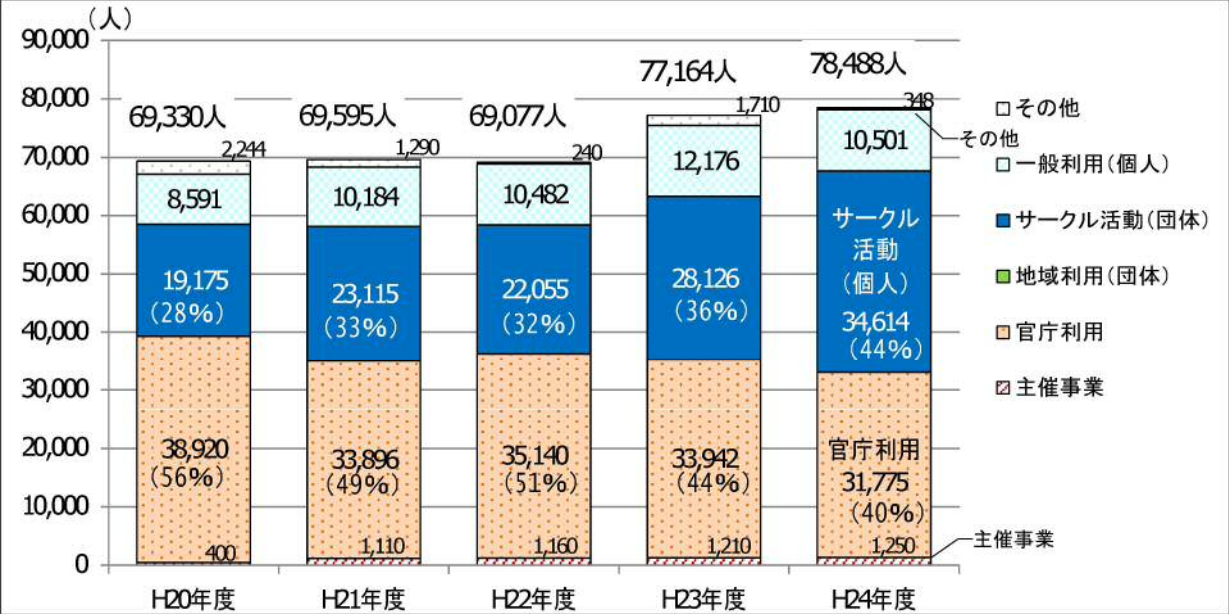


■ しらこばと運動公園競技場の利用状況

しらこばと運動公園競技場の平成24年度の年間利用者数は約7万8,000人です。
平成20年度以降の推移をみると、平成22年度約6万9,000人から平成24年度まで微増傾向です。

利用目的別の内訳をみると、平成22年度では官庁利用が51%を占めていましたが、平成23年度以降、官庁利用が減少する一方、サークル活動等の団体利用が増加しています。

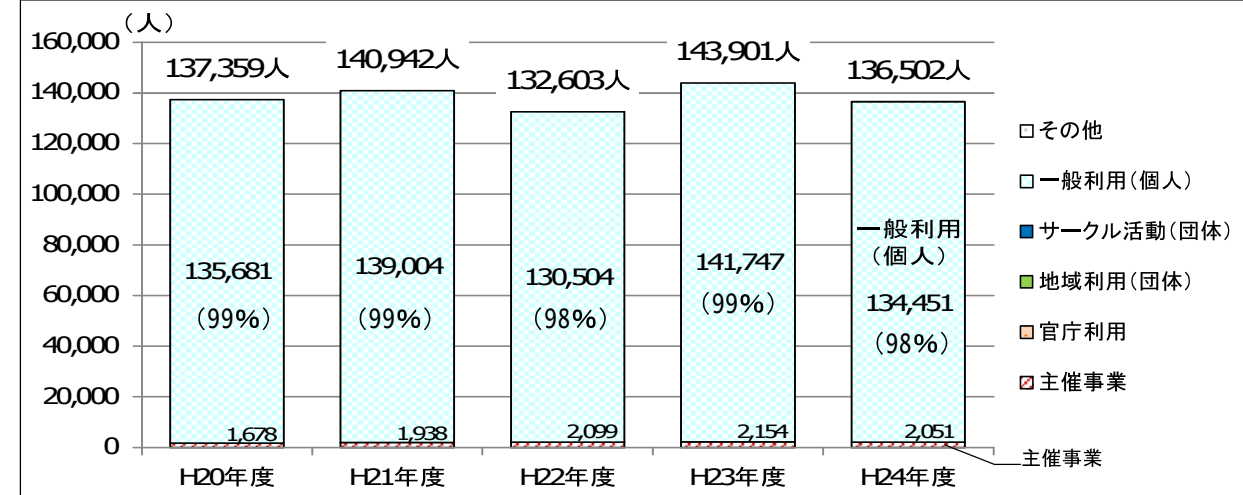
しらこばと運動公園競技場の目的別利用者数の推移



■ 市民プールの利用状況

市民プールの平成24年度の年間利用者数は約13万7,000人です。
平成20年度以降の推移をみると、平成20年度の約13万7,000人から平成24年度まで横ばい傾向です。
平成20年度以降の利用目的別の内訳をみると、一般利用が98%以上を占めています。

市民プールの目的別利用者数の推移



コスト状況

■ スポーツ施設のトータルコスト

スポーツ施設10施設の年間トータルコストは約5億7,000万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕費、光熱水費・委託費等）は約4,400万円、事業運営にかかるコスト（人件費・車両備品購入費等）は約5,000万円、指定管理料は約3億円、減価償却相当額が約1億7,000万円となっています。

また、利用者による使用料等の収入は約7,000万円、トータルコストに対する使用料収入の割合である受益者負担率は約12%です。

施設別行政コスト計算書

(円)

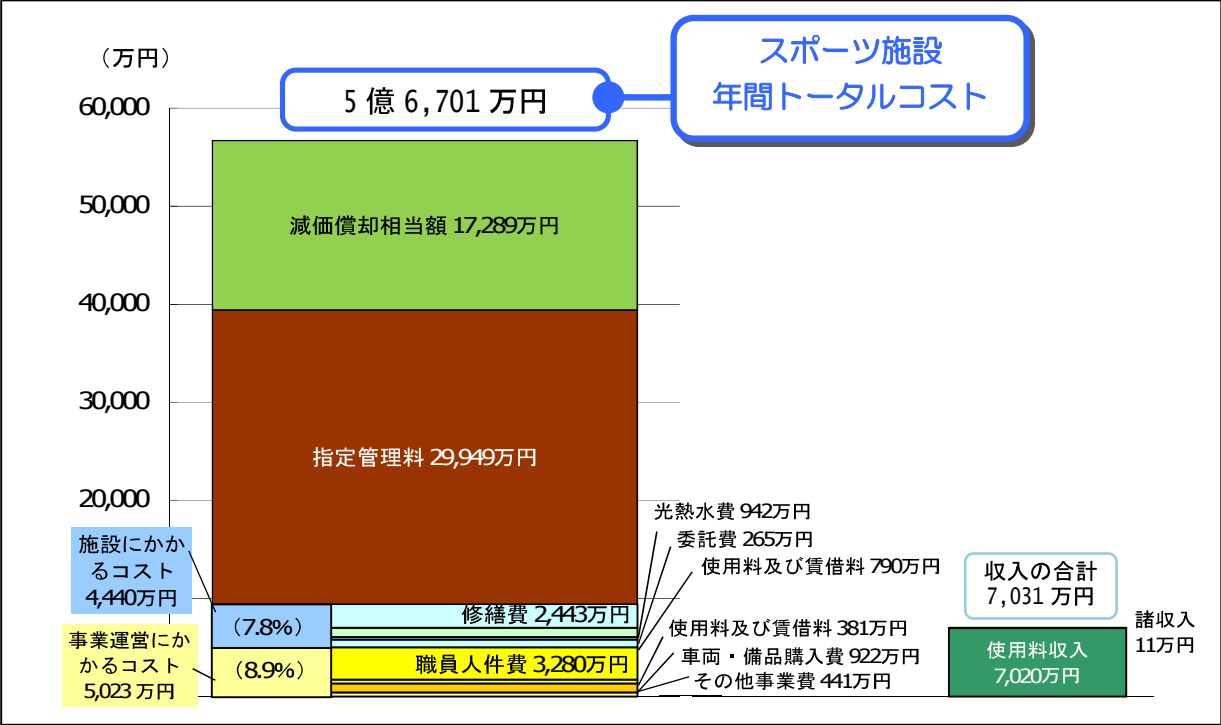
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		緑の森公園 越谷市弓道場	総合体育館	第1体育館	第2体育館	北体育館	南体育館	西体育館	市民球場	しらこぼと運動公園競技場	市民プール	合計
施設にかかる コスト	修繕費	99,855	6,479,550	158,060	118,461	316,249	322,266	79,716	3,601,500	9,077,712	4,179,000	24,432,369
	光熱水費	0	0	2,321,112	1,024,490	2,166,523	2,125,803	1,783,824	0	0	0	9,421,752
	委託費	0	693,000	190,144	114,250	581,644	571,144	504,144	0	0	0	2,654,326
	使用料及び賃借料	0	0	3,948,268	3,948,268	0	0	0	0	0	0	7,896,536
	施設にかかるコスト計…A	99,855	7,172,550	6,617,584	5,205,469	3,064,416	3,019,213	2,367,684	3,601,500	9,077,712	4,179,000	44,404,983
事業運営にかかる コスト	職員人件費	0	0	8,200,000	0	8,200,000	8,200,000	8,200,000	0	0	0	32,800,000
	使用料及び賃借料	0	0	57,330	57,330	57,330	57,330	57,330	0	0	3,521,448	3,808,098
	車両・備品購入費	265,125	0	0	0	44,100	0	0	0	8,909,250	0	9,218,475
	その他事業費	0	123,493	944,514	149,759	999,428	971,263	979,386	133,350	103,810	721	4,405,724
	事業運営にかかるコスト計…B	265,125	123,493	9,201,844	207,089	9,300,858	9,228,593	9,236,716	133,350	9,013,060	3,522,169	50,232,297
指定管理料…C		6,133,000	126,173,000	0	0	0	0	0	50,179,000	67,003,000	50,000,000	299,488,000
現金収支を伴うコスト合計(A+B+C)…①		6,497,980	133,469,043	15,819,428	5,412,558	12,365,274	12,247,806	11,604,400	53,913,850	85,093,772	57,701,169	394,125,280
【収入の部】												
収入	使用料収入	1,261,180	17,032,390	1,159,490	1,125,723	2,153,217	2,007,237	2,363,215	3,110,300	1,905,920	38,084,190	70,202,862
	諸収入	0	56,020	0	0	0	0	0	22,408	33,612	0	112,040
	収入合計…②	1,261,180	17,088,410	1,159,490	1,125,723	2,153,217	2,007,237	2,363,215	3,132,708	1,939,532	38,084,190	70,314,902
II. 現金収支を伴わないコスト												
減価償却相当額…③		129,998	87,423,170	227,552	0	9,166,007	7,945,153	10,568,278	30,015,388	27,410,926	0	172,886,472
III. 総括												
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		6,627,978	220,892,213	16,046,980	5,412,558	21,531,281	20,192,959	22,172,678	83,929,238	112,504,698	57,701,169	567,011,752
収支差額(④-②)		5,366,798	203,803,803	14,887,490	4,286,835	19,378,064	18,185,722	19,809,463	80,796,530	110,565,166	19,616,979	496,696,850

※燃料費は光熱水費に含まれています

施設別トータルコストでは、総合体育館が約 2 億 2 000 万円と全体の約 39 %を占めています。次いで、しらこぼと運動公園競技場が約 1 億 1 000 万円となっています。

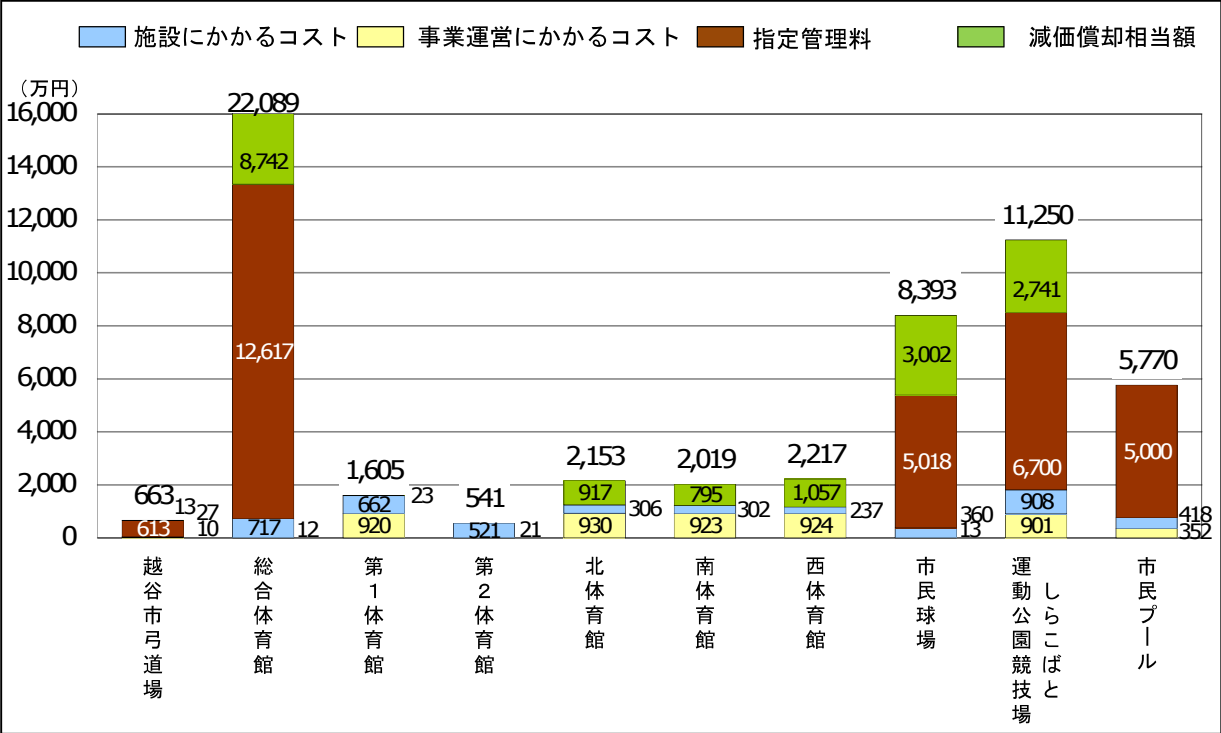
直営の地域体育館は、第2体育館の約 540 万円から北体育館の約 2 200 万円です。

全施設トータルコスト



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

施設別トータルコスト

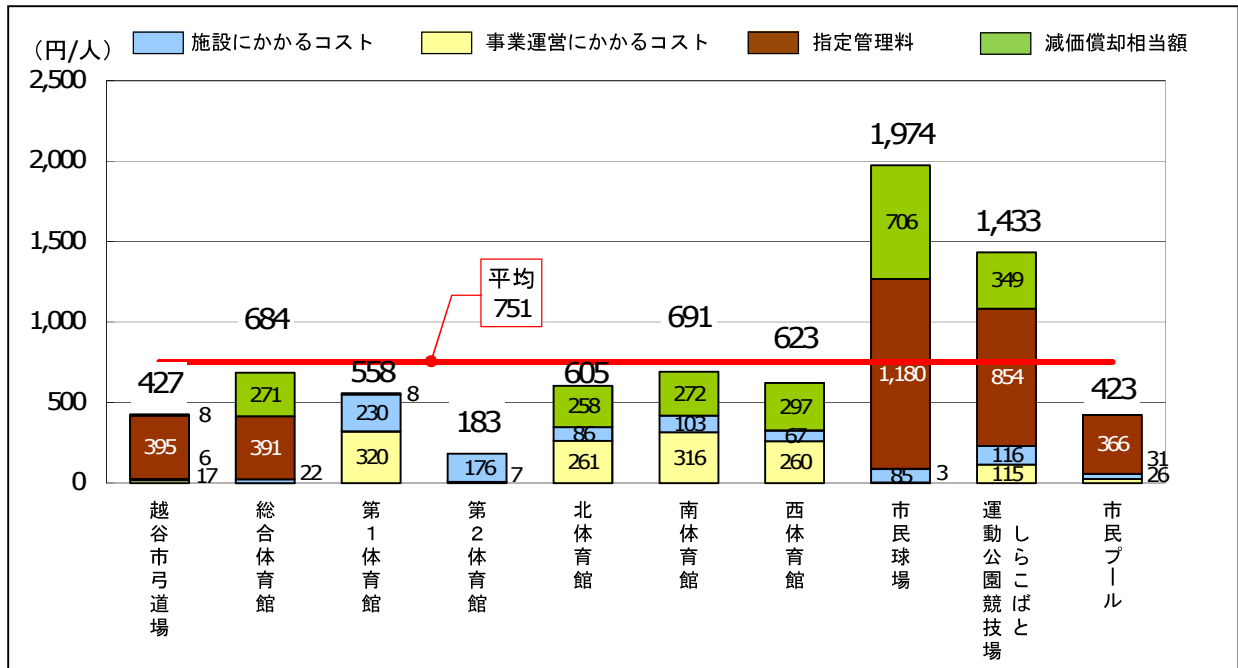


※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

■ 利用者 1 人当たりのコスト

利用者 1 人当たりのコストは、第 2 体育館の 183 円から市民球場の 1,974 円となっています。

施設別 利用者 1 人当たりにかかるコスト



※少数点以下を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

3) まとめ

- ・計 10 施設中、昭和 30 年代から 60 年代にかけて建設された体育館が 6 施設あり、第 1、第 2 体育館及び北体育館が旧耐震基準で耐震化未整備となっています。
- ・年間の利用状況は、総合体育館が約 32 万 3,000 人でスポーツ施設全体の約 43% を占め最も多く、次いで市民プールが 13 万 7,000 人、しらこぼと運動公園競技場が 7 万 8,000 人、市民球場が 4 万 3,000 人、5 つの地域体育館が 15 万 8,000 人、弓道場が 1 万 6,000 人の順となっています。
- ・運営は、5 施設が指定管理者制度を導入し、地域体育館 5 施設は直営となっています。
- ・年間コストは 5 億 7,000 万円で、スポーツの全施設トータルコストのうち指定管理料が約 3 億円と全体の約 53% を占めています。施設別トータルコストでは、総合体育館が約 2 億 2,000 万円と全体の約 39% を占めています。次いで、しらこぼと運動公園競技場が約 1 億 1,000 万円となっています。
- ・直営の地域体育館は、第 2 体育館の約 540 万円から北体育館の約 2,200 万円です。
- ・スポーツ施設は、多様な市民ニーズに対応しており、スポーツ・レクリエーション都市宣言をしている本市にとって大変重要な役割を担っていますが、今後の検討課題として、老朽化した地域体育館の建替えに伴う複合化及び運営手法の検討、ネーミングライツやスポンサーによる広告収入の拡大等の取り組みや受益者負担率も約 12% 程度であることから、使用料金や減免制度についての見直しを検討することが必要と考えます。

（１６）福祉施設

１）施設概要

① 設置目的等

本市には、高齢者福祉施設が３施設、障がい者福祉施設が２施設、児童福祉施設が１施設、計６施設設置されており、生きがいをもって安心して暮らせるまちづくりを推進しています。

【高齢者福祉施設】

お年寄りの方々に、健康で明るい生活を営んでいただくための拠点施設として、市内３か所に老人福祉センターを設置しています。市内の６０歳以上の方々を対象に、憩いとやすらぎの場を提供し、高齢者福祉の増進を図っています。運営は指定管理者制度を導入し、指定管理者が行っています。

なお、老人福祉センターは、現在、４番目の施設となる、「（仮称）第４老人福祉センター」の建設を行っています。



老人福祉センターけやき荘

高齢者福祉施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	複合・併設施設	備考
１ 老人福祉センターけやき荘	新川町二丁目55番地	1,513.17	昭和59	鉄筋コンクリート造		
２ 老人福祉センターくすのき荘	大字大杉655番地	3,425.54	平成5	鉄筋コンクリート造		
３ 老人福祉センターゆりのき荘	増林三丁目2番地2	4,872.16	平成14	鉄筋コンクリート造	老人福祉センターゆりのき荘3,002㎡ 市民プール1,870㎡	
合 計		9,810.87				

【障がい者福祉施設】

障がい者福祉施設として、障害者福祉センターこばと館と、障害者就労訓練施設しらこばとの2施設を設置しています。

障害者福祉センターこばと館は、障がい者の方々の機能訓練等を図りながら、社会との交流を促進することを目的として、中央市民会館内に設置されました。

障害者就労訓練施設しらこばとは、障がい者の就労に必要な知識や能力の向上のための訓練を行い、障がい者が地域で働き、自立し安心して暮らしていけるよう支援するとともに、障がい者やその家族を対象とした相談支援事業や、地域住民との交流事業を実施しています。また、施設内には、知的障害者通所授産施設しらこばと職業センターの新法体系移行により事業開始した、指定障害福祉サービス事業所しらこばとが移設されています。

両施設とも指定管理者制度を導入し、運営は指定管理者が行っています。



障害者就労訓練施設しらこばと

市が保有する障がい者福祉施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	複合・併設施設の状況	備考
1 障害者福祉センターこばと館	越ヶ谷4-1-1 (1階・2階)	1,026.13	平成4	鉄骨鉄筋 コンクリート造	・障害者福祉センターこばと館: 1,026㎡ ・中央市民会館: 8,077㎡ ・越ヶ谷地区センター・公民館: 569㎡ ・その他行政機能等: 2,617㎡	
2 障害者就労訓練施設しらこばと	大字増林5830-4	1,790.83	平成22	鉄筋コンクリート造		
合 計		2,816.96				

【児童福祉施設】

児童発達支援センターは、知的発達に遅れのある児童の通所施設「みのり学園」と運動発達に遅れのある児童の通所施設「あけぼの学園」の機能を統合するとともに、就学前児童の発達支援を総合的に行う施設として設置されました。運営は市の職員による直営で行われています。



児童発達支援センター

児童福祉施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	備考
1 児童発達支援センター	増林5827番地1	1,712.44	平成24	鉄骨造	

② 開所時間・休所日

【高齢者福祉施設】

施設名	開所時間	休所日
老人福祉センターけやき荘	午前９時３０分～午後４時	第１、３、５日曜日、第２、４月曜日、休日、年末年始
老人福祉センターくすのき荘	午前９時３０分～午後４時	第２、４日曜日、第１、３、５月曜日、休日、年末年始
老人福祉センターゆりのき荘	午前９時３０分～午後４時	毎週月曜日、年末年始

【障がい者福祉施設】

施設名	開所時間	休所日
障害者福祉センターこばと館	午前９時～午後５時 （貸室の利用については午後９時３０分まで）	毎週月曜日、祝日、年末年始
障害者就労訓練施設 しらこばと	午前８時３０分～午後５時	祝日、年末年始

【児童福祉施設】

施設名	開所時間	休所日
児童発達支援センター	午前８時３０分～午後５時	土曜日、日曜日、祝日、年末年始

③ 事業内容

＜老人福祉センター＞

けやき荘は「娯楽と教養」、くすのき荘は「趣味と学習」、ゆりのき荘は「ふれあいと健康づくり」とそれぞれの施設がテーマを掲げ高齢者の生きがいづくりにつとめています。

施設には教養娯楽室や集会室、多目的ホールや機能回復訓練室等を備え、各テーマにあわせた活動を行っています。

＜障害者福祉センター＞

障害者福祉センターこばと館では、障がい者の自立を目指し、機能訓練や社会適応訓練等を行っています。

また、ボランティアの育成や、手話通訳者や要約筆記者の養成事業の実施のほか、障害者の日記念事業「ふれあいの日」を実施し、市民に対し、障がい者福祉の啓発を行っています。

＜障害者就労訓練施設＞

障害者就労訓練施設しらこばとでは、障がい者が生産した品の展示や販売訓練などを行っており、対面販売を通して地域とのふれあい、交流を図るとともに、障がい者やその家族を対象とした相談支援事業を実施しています。

また、指定障害福祉サービス事業所では、就労に必要な知識や能力の向上のために、障害福祉サービス（就労移行支援・就労継続B型）を実施しています。

＜児童発達支援センター＞

児童発達支援センターでは、就学前の知的な発達や運動発達に遅れのあるお子さんを対象に、日常生活の基本的動作や集団生活の適応訓練などの療育を行っています。

また、お子さんの発達に応じ保健師などによる相談を行うほか、おもちゃ図書室を設置して遊びをとおして交流する場を設けています。

④ 配置状況

福祉施設位置図



※障害者福祉センターこばと館は中央市民会館内に併設され、老人福祉センターゆりのき荘は市民ホールとの複合施設です。

2) 利用実態

① 建物の状況

■ 福祉施設のスペック情報

<高齢者福祉施設>

スペック一覧

		基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応						環境対応				
No.	施設名	建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2
1	老人福祉センターけやき荘	昭和59	1,513	不要	29		29	—	○	○	—	○	○	×	×	×	×	×	×
2	老人福祉センターくすのき荘	平成5	3,426	不要	20		20	—	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
3	老人福祉センターゆりのき荘	平成14	4,872	不要	11		11	—	○	○	○	○	○	○	○	×		○	×
合計			9,811																

記載例

実施済み：○
未実施：×
不要：—

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

けやき荘は、建設から30年近くが経過しており、今後、老朽化対策が必要な施設です。

くすのき荘とゆりのき荘は、建物の安全性上は問題が無い施設ですが、ゆりのき荘は市民プールとの複合施設であることから、一体的な検討が必要です。

＜障がい者福祉施設＞

スペック一覧

No.	施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応						環境対応		
		建築年度	延床面積（㎡）	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・壁面緑化等	環境対応設備※2
1	障害者福祉センターこばと館	平成4	1,026	不要	21	平成23	2	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—
2	障害者就労訓練施設しらこばと	平成22	1,791	不要	3		3	—	○	○	—	○	○	○	○	○	○
合計			2,817														

記載例

実施済み：○
未実施：×
不要：—

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

障害者福祉センターこばと館は、中央市民会館内に併設された施設であり、市民会館と一体的な対応が必要ですが、市民会館の建物に対する大きな問題はありません。

障害者就労訓練施設しらこばとは、新しい施設であり、建物についての問題はありません。

＜児童福祉施設＞

スペック一覧

施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応						環境対応		
	建築年度	延床面積（㎡）	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・壁面緑化等	環境対応設備※2
児童発達支援センター	平成24	1,712	不要	1		1	—	○	○	—	○	○	○	○	○	○

記載例

実施済み：○
未実施：×
不要：—

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

児童発達支援センターは平成24年度に設置した新しい施設であり、建物に対する大きな問題はありません。

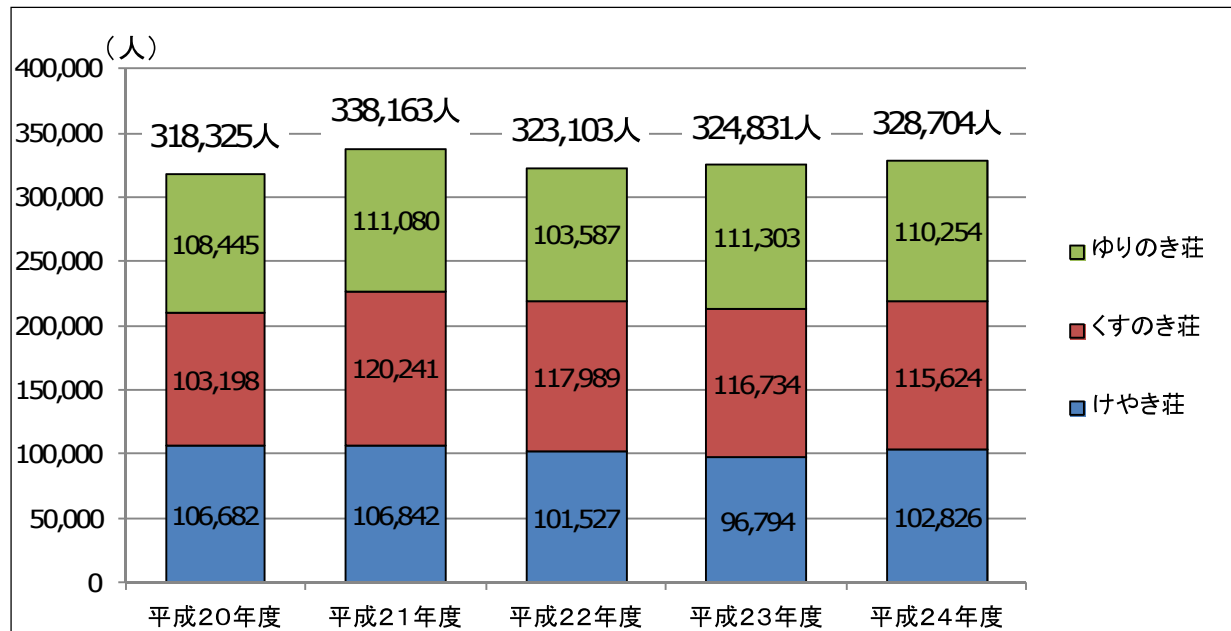
② 利用状況

＜高齢者福祉施設＞

老人福祉センターの平成24年度の利用者数は、3施設合計で約32万9,000人となっており、平成22年度から増加傾向となっております。

施設毎の利用者数を見ると、平成21年度からくすのき荘、ゆりのき荘、けやき荘の順番となっておりますが、施設毎の利用者数に大きな差はありません。

利用者数の推移



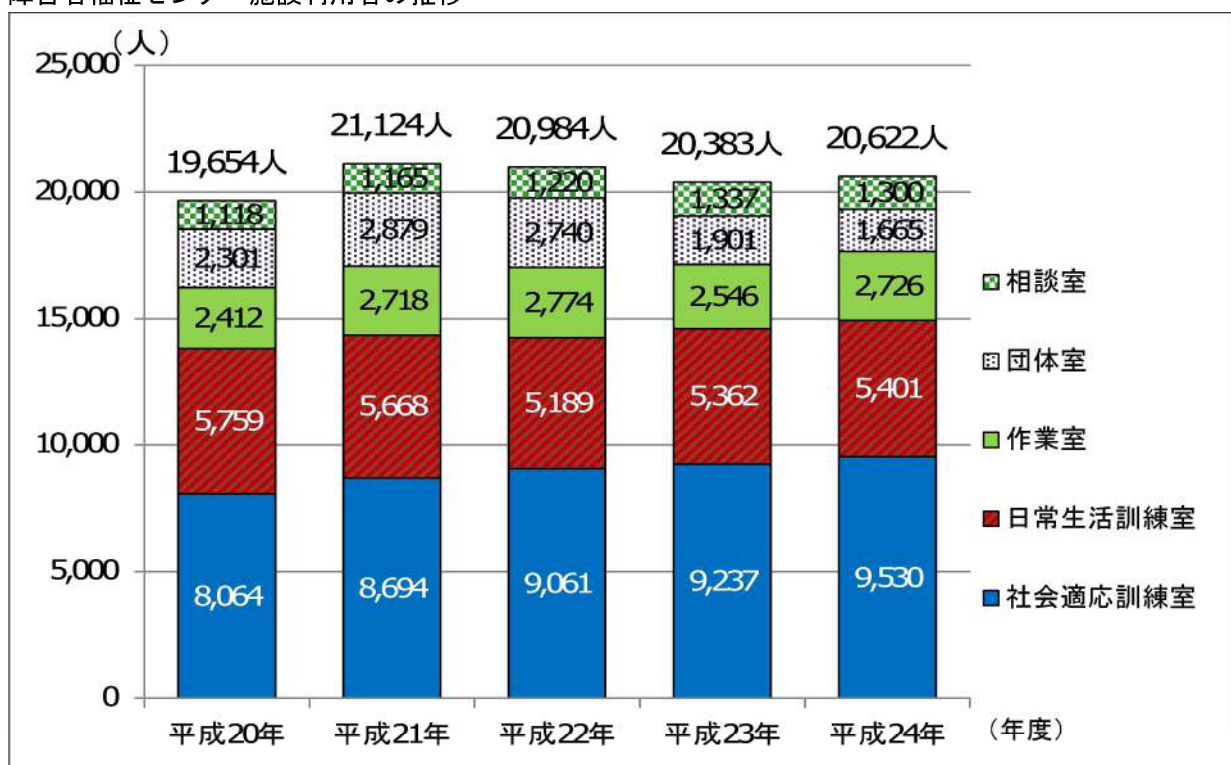
<障がい者福祉施設>

■ 障害者福祉センターこばと館

障害者福祉センターこばと館の年間利用者数は平成24年度で約2万1,000人です。

平成20年度からの利用者数の推移をみると、各年度約2万人で推移しており、利用者数に大きな変動はありません。また、部屋別の内訳をみると、各年度とも利用割合に大きな変化はなく、社会適応訓練室の利用者が約8,000人から約9,500人と全体の約41%から約46%を占めています。

障害者福祉センター施設利用者の推移



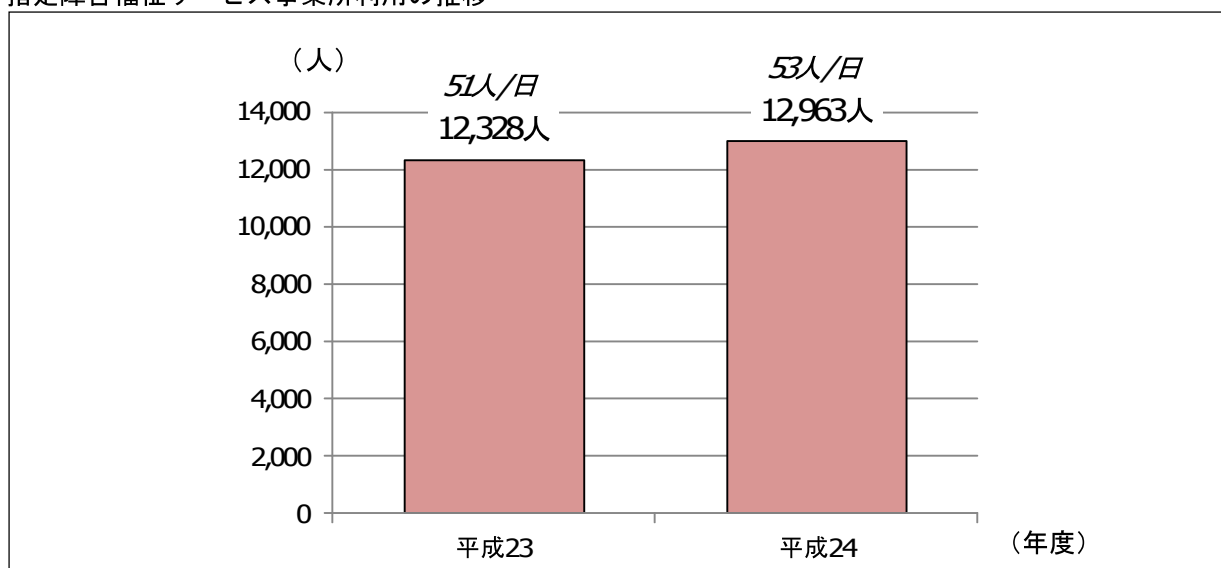
■ 障害者就労訓練施設しらこばと

指定障害者福祉サービス事業所（就労移行支援・就労継続支援B型）の利用状況は、平成24年度の年間登所延べ人数は約1万3,000人（1日当たり53人）となっており、平成23年度並で推移しています。

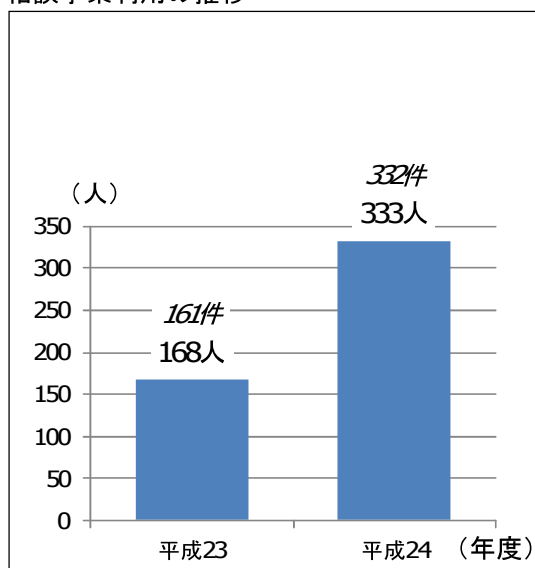
一方、就労訓練施設で実施する相談支援事業は、障がい者やその家族を対象とし、平成24年度は333人の利用があり、平成23年度と比較して利用者数が大幅に増加しています。

また、施設を利用した地域支援事業の利用者数も、平成24年度は約6,400人と平成23年度と比較して利用者数が大幅に増加していますが、ふれあいコーナーの利用者の増加が大きな要因となっています。

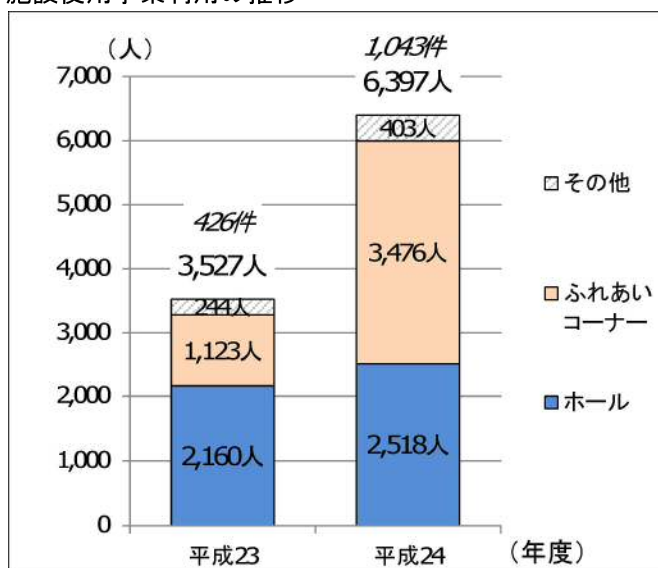
指定障害福祉サービス事業所利用の推移



相談事業利用の推移



施設使用事業利用の推移



3) コスト状況

■ 高齢者福祉施設

老人福祉センター3施設の年間トータルコストは約3億7,000万円で、内訳をみると、指定管理料が約2億4,000万円、委託費が約3,700万円等となっています。

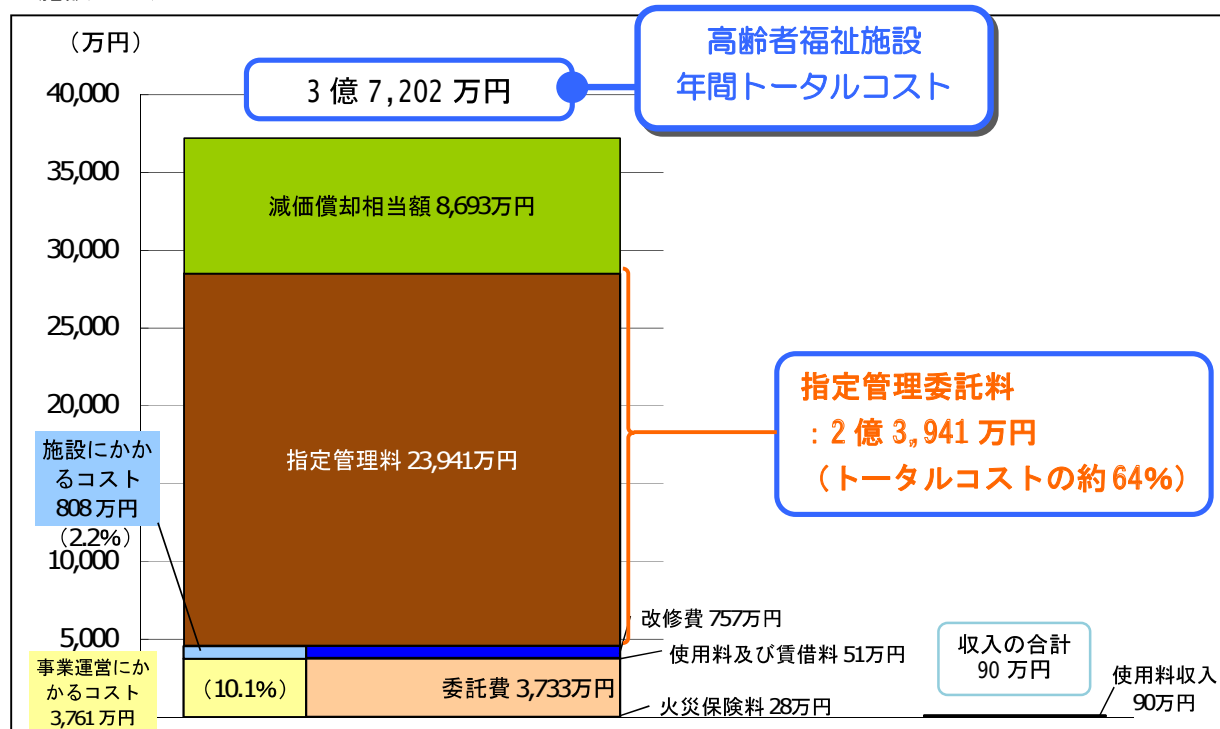
施設別行政コスト計算書

(円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		老人福祉センター けやき荘	老人福祉センター くすのき荘	老人福祉センター ゆりのき荘	合計
施設にか かる コスト	改修費	4,416,300	2,656,500	493,500	7,566,300
	使用料及び賃借料	512,942	0	0	512,942
	施設にかかるコスト 計…A	4,929,242	2,656,500	493,500	8,079,242
事業運 営にか かる コスト	委託費	8,892,000	14,504,830	13,934,280	37,331,110
	火災保険料	16,964	43,417	217,260	277,641
	事業運営にかかるコスト 計…B	8,908,964	14,548,247	14,151,540	37,608,751
指定管理料…C		66,527,502	75,931,909	96,947,395	239,406,806
現金収支を伴うコスト合計(A+B+C)…①		80,365,708	93,136,656	111,592,435	285,094,799
【収入の部】					
収入	使用料収入	336,600	140,800	424,200	901,600
	諸収入	1,260	0	0	1,260
	収入合計…②	337,860	140,800	424,200	902,860
II. 現金収支を伴わないコスト					
減価償却相当額…③		11,507,828	30,560,974	44,859,345	86,928,147
III. 総括					
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		91,873,536	123,697,630	156,451,780	372,022,946
収支差額(④-②)		91,535,676	123,556,830	156,027,580	371,120,086

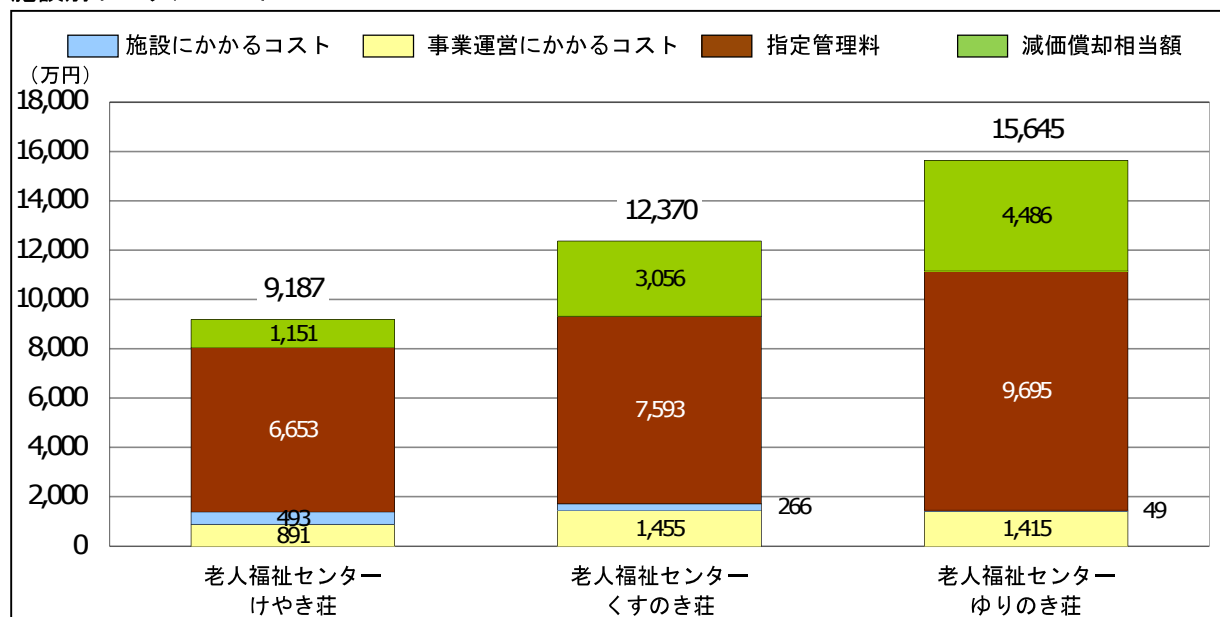
施設別トータルコストでは、けやき荘が約 9 2 0 0 万円、くすのき荘が約 1 億 2 0 0 0 万円、市民プールの管理を含むゆりのき荘は、約 1 億 6 0 0 0 万円となっています。

全施設トータルコスト



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

施設別トータルコスト



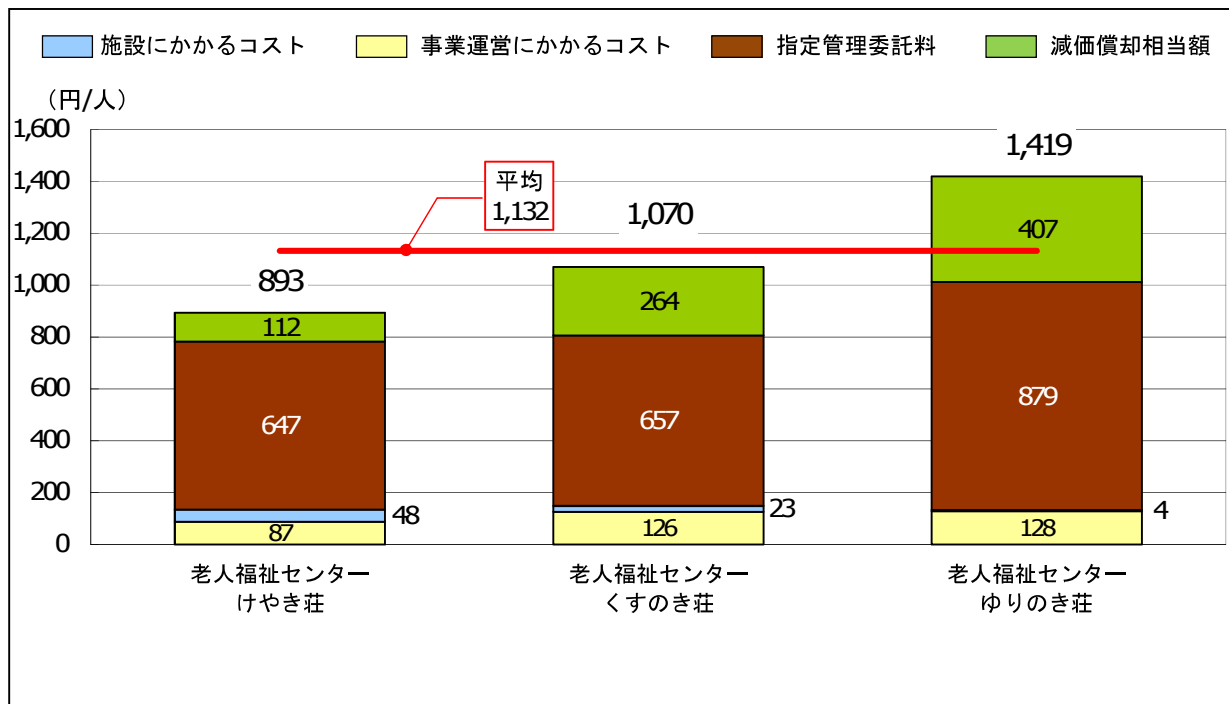
※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

■ 利用者 1 人当たりのコスト

利用者 1 人当たりのコストは、老人福祉センターゆりのき荘の約 1,400 円から老人福祉センターけやき荘の約 890 円となっています。

高齢者福祉施設の平均は約 1,100 円となっています。

施設別 利用者 1 人当たりにかかるコスト



※小数点以下を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

■ 障がい者福祉施設

障がい者福祉施設2施設の年間トータルコストは、約2億1,000万円です。

区分別にみると、施設にかかるコスト（使用料及び賃借料）が約7,300円、事業運営にかかるコスト（負担金補助及び交付金等）が約1,200万円、指定管理料が約1億8,000万円、減価償却相当額が約1,500万円です。

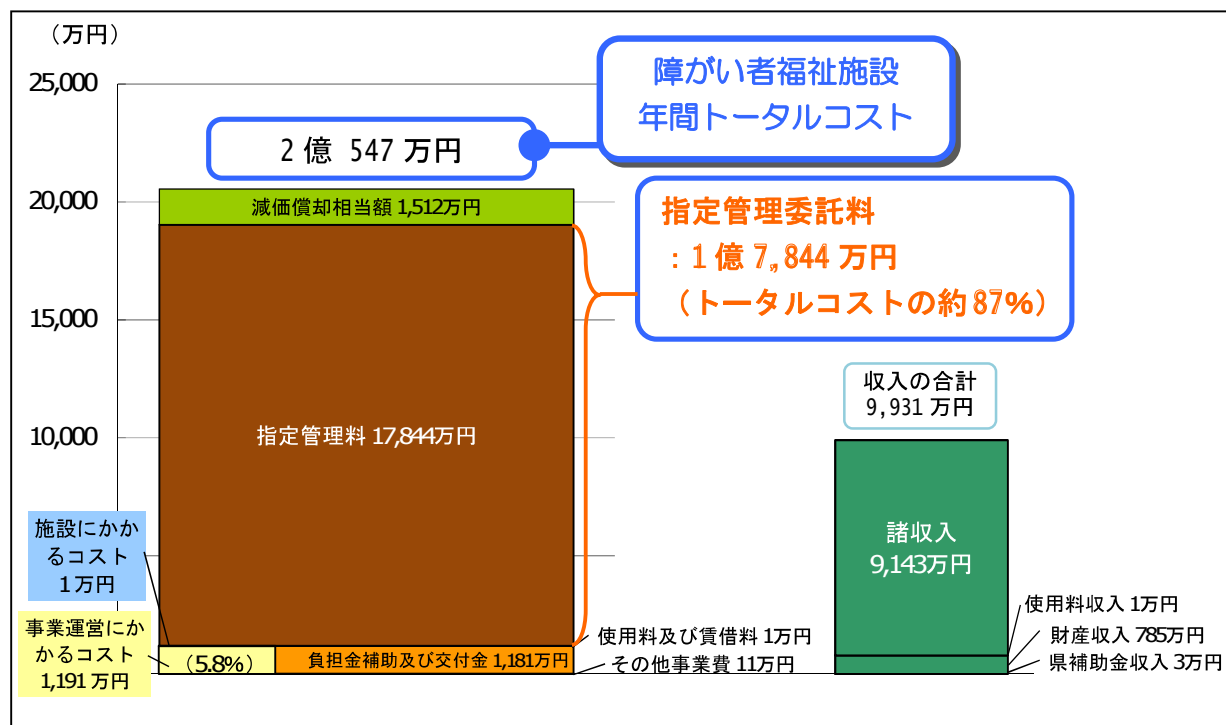
施設別行政コスト計算書

（円）

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		障害者就労訓練施設 しらこぼと	障害者福祉センター こぼと館	合計
コストにか かるとるに	使用料及び賃借料	7,330	0	7,330
	施設にかかるコスト計…A	7,330	0	7,330
事業運 営にか かるとるに	負担金補助及び交付金	11,805,893	0	11,805,893
	その他事業費	106,715	0	106,715
	事業運営にかかるコスト計…B	11,912,608	0	11,912,608
指定管理料…C		158,437,021	20,000,000	178,437,021
現金収支を伴うコスト合計(A+B+C)…①		170,356,959	20,000,000	190,356,959
【収入の部】				
収入	県補助金収入	26,390	0	26,390
	財産収入	7,846,792	0	7,846,792
	使用料収入	6,000	0	6,000
	諸収入	91,428,049	0	91,428,049
	収入合計…②	99,307,231	0	99,307,231
II. 現金収支を伴わないコスト				
減価償却相当額…③		10,522,013	4,594,860	15,116,873
III. 総括				
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		180,878,972	24,594,860	205,473,832
収支差額(④-②)		81,571,741	24,594,860	106,166,601

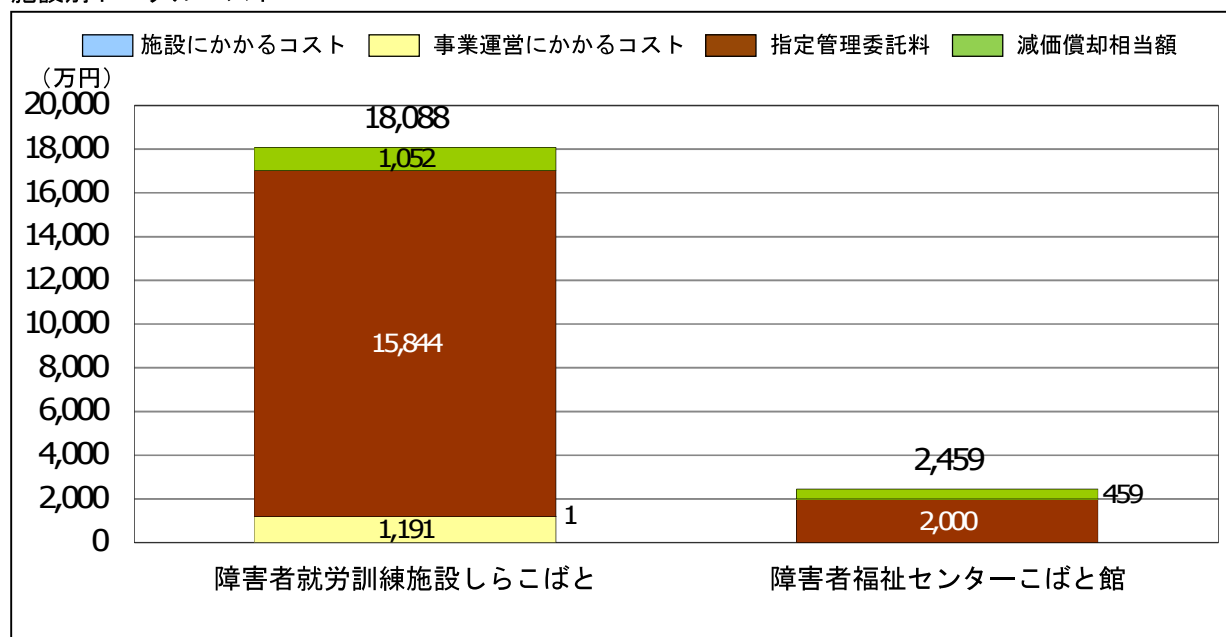
施設別トータルコストでは、障害者就労訓練施設しらこぼとが約1億8,000万円、障害者福祉センターこぼと館が約2,500万円となっています。

全施設トータルコスト



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

施設別トータルコスト



※障がい者福祉施設の利用状況は指定障害者福祉サービス事業、相談事業及び施設使用事業と異なる事業の利用データがあるため、利用者1人当たりコストの算出は行っていません。

※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

4) まとめ

<高齢福祉施設>

- 老人福祉センターは新耐震基準の建物ですが、けやき荘が建設から約30年、くすのき荘が約20年経過しています。また、運営は指定管理者制度を導入しております。
- 利用者数は概ね30万人代前半で推移しており、各施設とも継続的に一定の利用がされています。今後建設を予定している（仮称）第4老人福祉センターが建設された場合は、更なる利用者の増加が予想されます。
- 年間コストは約3億7,000万円となっており、指定管理料が約2億4,000万円と全体の約64%を占めています。
- 2施設で老朽化対策として、大規模修繕を行う必要があることから、施設の長期寿命化を見据えた修繕計画の策定を検討していく必要があります。また、施設の利用は原則無料となっておりますが、新たな施設の建設、高齢化の進展による利用者の増加等でコストが増加することが予想されます。施設の運営に対し利用料の負担など、市民や利用者の意見を踏まえて検討する必要があります。

<障がい者福祉施設>

- 障がい者福祉施設2施設は新しい施設や大規模改修を実施した施設となっており、建物の構造に大きな問題はありません。また、運営面では、両施設とも指定管理者制度を導入しています。
- 利用者数は、しらこばとは約1万3,000人、こばと館が約2万人で推移しており、利用者数に大きな変化はありません。
- 年間コストは約2億1,000万円となっており、指定管理料が約1億8,000万円と約87%を占めています。また、しらこばとではパン・ケーキ等の自主生産品の製造・販売を行っております。自主生産品を合わせた、しらこばとの収入は約9,900万円で、年間コストの約55%となっています。
- こばと館は中央市民会館内に設置された複合施設であることから、市民会館と一体となり施設の維持管理を図ることが必要です。運営面では指定管理者制度を導入しており、効率的な運営が行われています。

<児童福祉施設>

- 児童発達支援センターは平成25年4月1日に開所した新しい施設であり、建物に大きな問題はありません。

（１７）市営住宅

１）施設概要

① 設置目的等

市営住宅は公営住宅法等に基づき、住宅に困っている低所得者が健康で文化的な生活を営めるように整備された施設です。入居者は収入等に応じて低廉な家賃で入居することができ、現在、市内に 7 施設 250 戸の市営住宅が整備されています。

建築年度が古い施設は、2K が中心となっていますが、比較的新しく整備した住宅は、1DK から 3DK 等世帯のライフスタイルにあわせた間取りとなっています。また、西大袋中層住宅には、車いす単身者用の住宅や、緊急通報システムが設置され、生活援助員による福祉サービスが受けられる高齢者向けの住宅を整備しており、南越谷しのめ住宅は、民間の事業者が建設した賃貸住宅を市が 20 年間（平成 38 年 3 月 31 日まで）借り上げ、市営住宅として転貸している住宅となっています。



七左町中層住宅



西大袋中層住宅

施設一覧（平成 25 年 4 月 1 日現在）

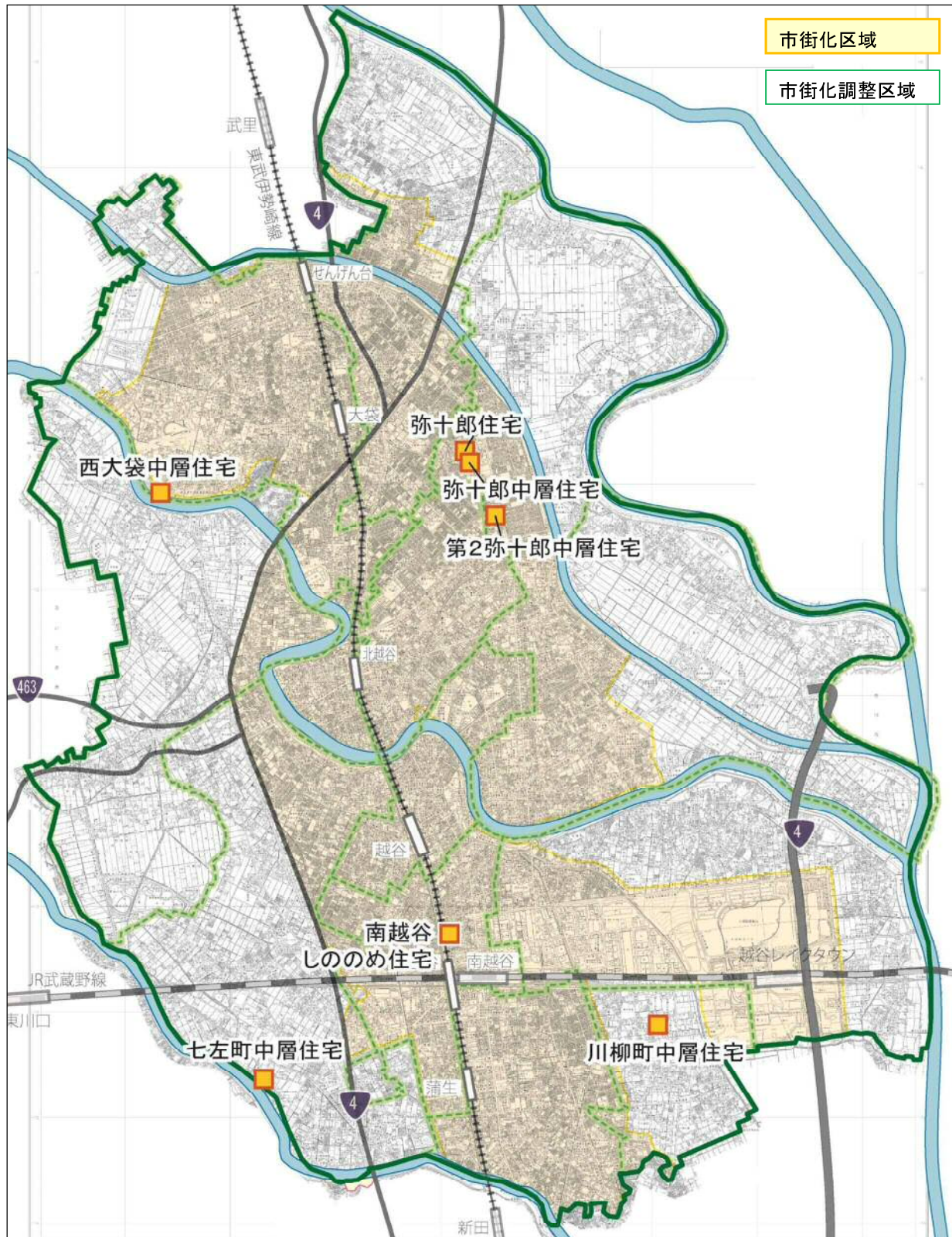
名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	主な 間取り	戸数	備考
1 弥十郎住宅	大字弥十郎753-1	1,651.96	昭和42	木造	2K	48戸	
2 弥十郎中層住宅	大字弥十郎742	1,443.29	昭和44	鉄筋コンクリート造	2K	36戸	
3 川柳町中層住宅	川柳町一丁目282-1	1,517.11	昭和45	鉄筋コンクリート造	2K	36戸	
4 第2弥十郎中層住宅	東大沢三丁目23-3	329.52	昭和46	鉄筋コンクリート造	2K	8戸	
5 七左町中層住宅	七左町四丁目372-1	3,898.29	平成6	鉄筋コンクリート造	2DK 3DK	54戸	
6 南越谷しのめ住宅	瓦曽根三丁目7-11	767.40	平成17	鉄筋コンクリート造	1LDK 2LDK	18戸	借上げ施設
7 西大袋中層住宅	大字大道306ほか	2,846.50	平成18	鉄筋コンクリート造	1DK 1LDK 2DK 2LDK 3DK	50戸	シルバー向け 車いす対応有
合 計		12,454.07				250戸	

② 事業内容

本市では、空住戸が生じた場合、年に 3 回、市の広報や埼玉県住宅供給公社のホームページ等を通じ、入居者の募集を行っています。入居するには市内に 1 年以上住んでいる、原則、現に同居又は同居しようとする親族(婚約者等を含む)がある、入居しようとする世帯全員の収入が基準内にある、住宅に困窮していることが明らかである、暴力団でない等といった要件があります。

③ 配置状況

市営住宅位置図



2) 利用実態

① 建物の状況

■ 市営住宅のスペック情報

スペック一覧

No.	施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応						環境対応		
		建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2
1	弥十郎住宅	昭和42	1,652	未実施	46		46	—	×	×	—	—	×	×	×	×	×
2	弥十郎中層住宅	昭和44	1,443	未実施	44		44	—	×	×	×	—	×	×	×	×	×
3	川柳町中層住宅	昭和45	1,517	未実施	43		43	—	×	×	×	—	×	×	×	×	×
4	第2弥十郎中層住宅	昭和46	330	未実施	42		42	—	×	×	×	—	×	×	×	×	×
5	七左町中層住宅	平成6	3,898	不要	19		19	—	×	○	○	—	○	×	×	×	×
6	西大袋中層住宅	平成18	2,847	不要	7		7	—	○	○	○	—	○	×	×	×	×
合計			11,687														

※南越谷しののめ住宅は、民間の事業者が建設した賃貸住宅を借り上げている施設であるため、建物総合評価の対象から除く。

記載例	実施済み：○	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
	未実施：×	
	不要：—	

弥十郎住宅をはじめ4施設は、耐震性の確保がされておらず、さらに老朽化も進行していることから、早急な耐震化および老朽化対策が必要となっています。

七左町および西大袋中層住宅は、建物の安全性に問題が無い施設ですが、バリアフリー対応等が一部完了していないため、今後、大規模改修時等での計画的な改修による対応が望まれます。

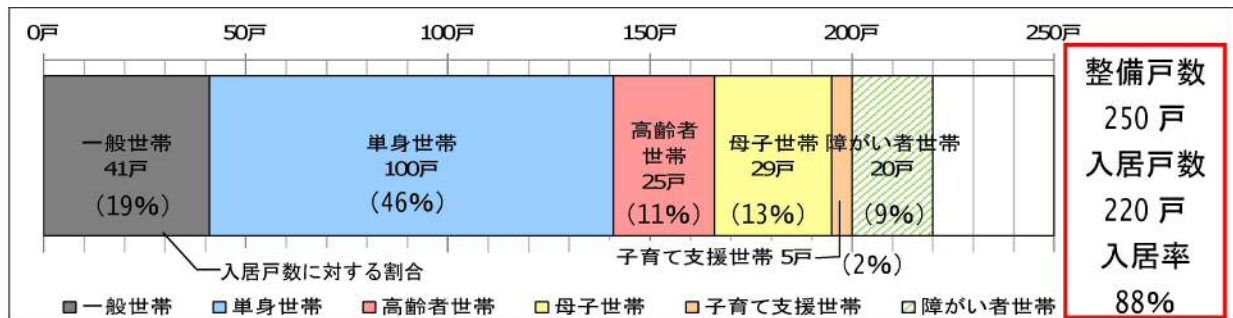
② 利用状況

■ 市営住宅の入居状況

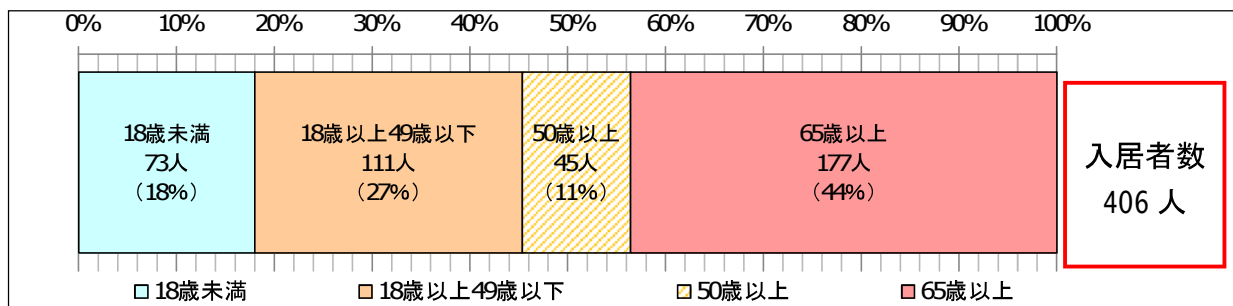
平成25年9月現在での入居状況をみると、全250戸中220戸、406人が入居しており、入居率は88%です。入居世帯の構成をみると、単身世帯が100戸と全体の約46%を占めており、年齢別では65歳以上の高齢者が177人と全体の44%を占めています。

施設ごとの入居状況をみると、弥十郎中層住宅の入居率が53%と最も低くなっていますが、他の6施設は85%から100%と高い入居率となっております。また、入居者の年齢構成をみると、弥十郎住宅など築年数が古い施設は、65歳以上の高齢者が60%以上を占めています。

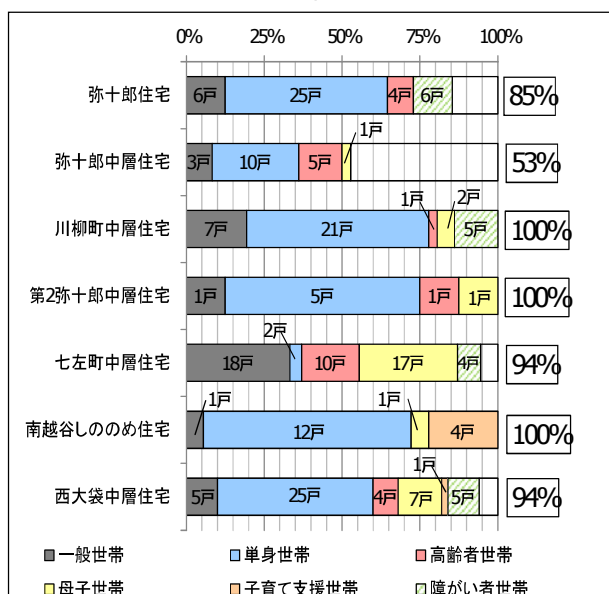
全施設の入居状況（平成25年9月27日現在）



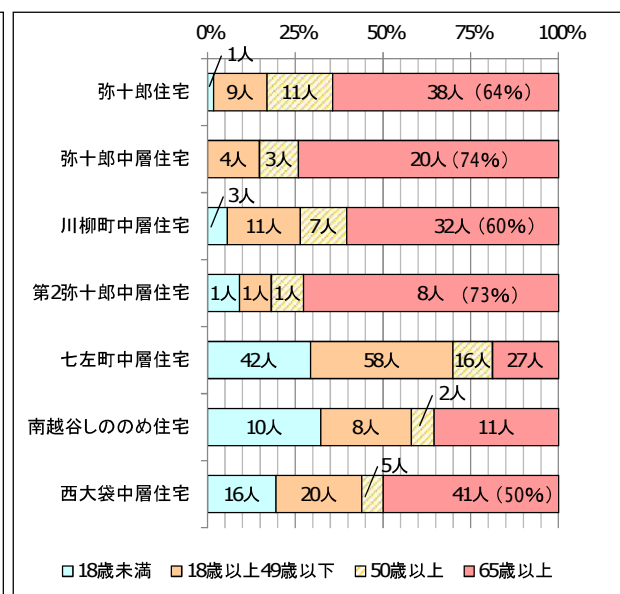
全施設の入居者割合（平成25年9月27日現在）



全施設の入居者状況（世帯別）



全施設の入居者状況（年齢別）



３）コスト状況

■ 市営住宅のトータルコスト

借上げ住宅である南越谷しののめ住宅を除いた市営住宅 6 施設の年間トータルコストは、約 7,300 万円となっており、主な費用は施設の維持管理に係る委託費や減価償却相当額となっています。

区分別では、施設にかかるコスト（光熱水費、委託費）が約 2,400 万円、事業運営にかかるコスト（使用料及び賃借料、火災保険料）は約 28 万円、減価償却相当額は約 4,900 万円となっています。

また、市営住宅の家賃の使用料収入等は年間約 4,800 万円で、年間の収支差額（ネットコスト）は、約 2,400 万円、受益者負担率は約 67 %となっています。

施設別行政コスト計算書（平成 24 年度）

（円）

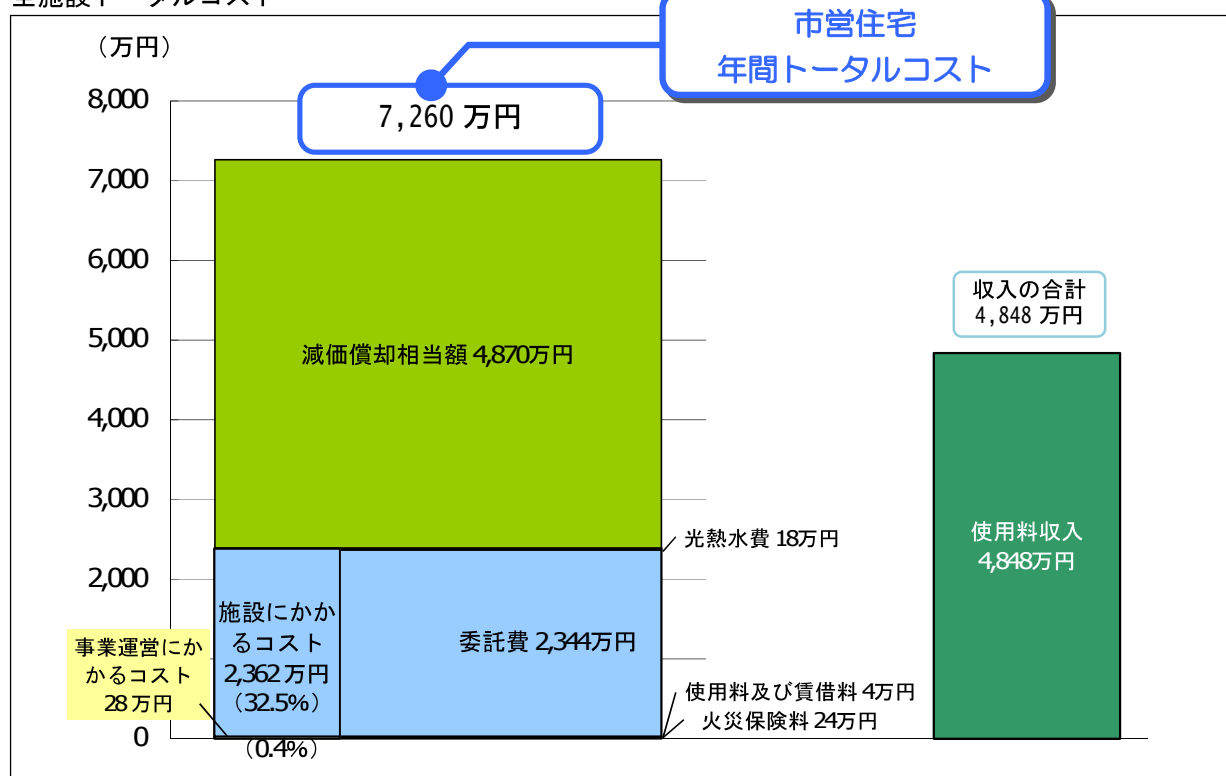
		弥十郎 住宅	弥十郎 中層住宅	川柳町 中層住宅	第2弥十郎 中層住宅	七左町 中層住宅	西大袋 中層住宅	合計
Ⅰ.現金収支を伴うもの								
【コストの部】								
施設 にかかる コスト	光熱水費	0	0	0	0	179,284	0	179,284
	委託費	4,938,367	3,703,775	3,703,775	399,000	5,555,663	5,144,132	23,444,712
	施設にかかるコスト 計…A	4,938,367	3,703,775	3,703,775	399,000	5,734,947	5,144,132	23,623,996
事業 運営に かかる コスト	使用料及び賃借料	8,758	6,568	6,568	1,460	9,852	9,122	42,328
	火災保険料	34,171	20,541	23,615	7,182	102,781	50,783	239,073
	事業運営にかかるコスト 計…B	42,929	27,109	30,183	8,642	112,633	59,905	281,401
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		4,981,296	3,730,884	3,733,958	407,642	5,847,580	5,204,037	23,905,397
【収入の部】								
収入	手数料収入	0	0	0	0	600	200	800
	使用料収入	3,293,600	2,640,600	5,457,900	1,145,180	19,641,500	16,303,200	48,481,980
	収入合計…②	3,293,600	2,640,600	5,457,900	1,145,180	19,642,100	16,303,400	48,482,780
Ⅱ.現金収支を伴わないコスト								
減価償却相当額…③		0	5,081,364	5,843,885	1,777,302	23,752,048	12,241,304	48,695,903
Ⅲ.総括								
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		4,981,296	8,812,248	9,577,843	2,184,944	29,599,628	17,445,341	72,601,300
収支差額(④-②)		1,687,696	6,171,648	4,119,943	1,039,764	9,957,528	1,141,941	24,118,520

※借り上げ施設である南越谷しののめ住宅を除く。

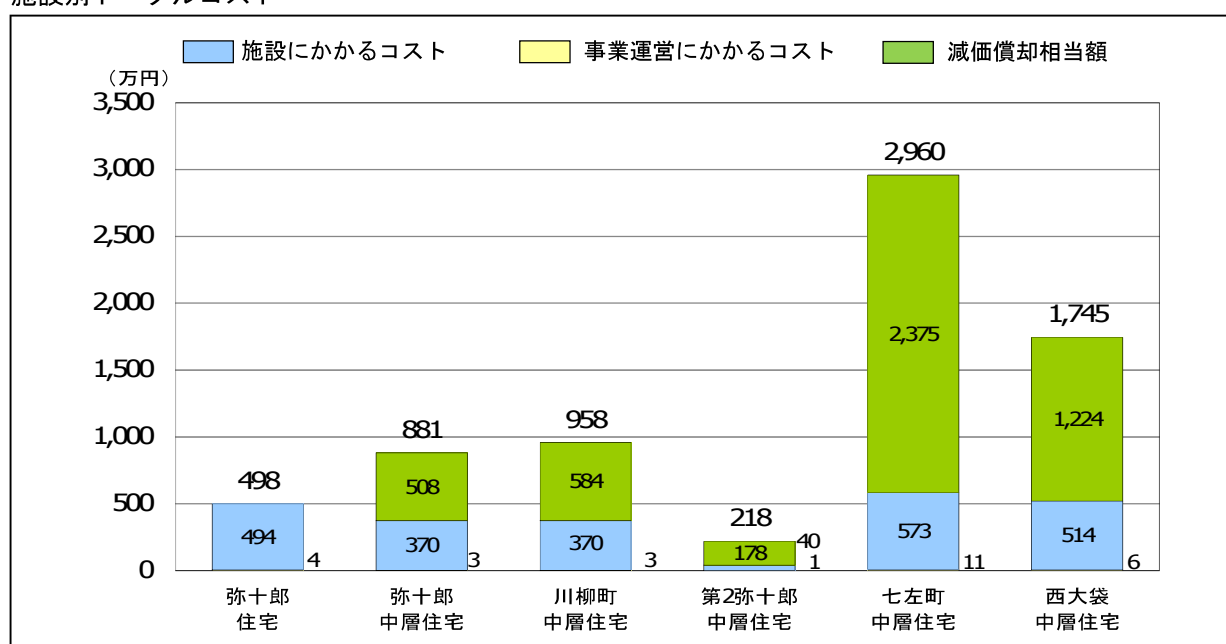
市営住宅の年間トータルコストのうち減価償却相当額が約４，９００万円と全体の約６７％を占めています。また、施設にかかるコスト約２，４００万円のうち、管理代行業務に要する費用が約２，３００万円と約９９％を占めています。

施設別トータルコストでは、減価償却相当額で大きな差がありますが、施設にかかるコストは、第２弥十郎中層住宅を除く５施設はほぼ同様となっています。

全施設トータルコスト



施設別トータルコスト



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

４）まとめ

- 市営住宅は旧耐震基準で建設され、耐震化も未整備となっている施設が全 7 施設中 4 施設で、戸数では全 250 戸中 128 戸と全体の約 51 %を占めています。また、南越谷しののめ住宅は民間からの借り上げ施設です。
- 入居戸数は全 250 戸中 220 戸、入居者数は約 400 人となっており、入居率は 88 %と高くなっています。
- 民間借り上げ施設を除く年間コストは約 7,300 万円で、㎡あたりの単価は約 6,200 円です。入居者による家賃収入等は約 4,800 万円、受益者負担率は約 67 %となっています。
- 市営住宅は、公営住宅法等に基づき低額所得者の生活安定を図るために設置していますが、旧耐震基準施設の大規模改修や更新について検討していく必要があります。また、入居者の高齢化や単身化も進行しており、現在のニーズにあった設備や間取りへの変更も必要です。
- 今後は、レイアウトの変更や維持管理・修繕が容易な施設を検討するとともに、民間活力を利用した維持管理や運営、民間借り上げ方式による整備などもあわせて検討していくことが求められます。

（１８）保健施設

１）施設概要

① 設置目的等

保健センターは市民の健康を守り、きめ細かな保健サービスを総合的に提供することを目的として設置されました。施設内には保健業務の中心となる予防接種室や検診室、計測室などのほか、医師会や歯科医師会の事務所もあり、保健活動の拠点施設となっています。



保健センター

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	備考
保健センター	東大沢一丁目 12番地1	2,484.02	昭和62	鉄筋コンクリート造	

② 開所時間・休所日

施設名	開所時間	休所日
保健センター	午前8時30分～午後5時15分	土曜日、日曜日、国民の祝日、 年末年始（12月29日～1月3日）

③ 事業内容

＜保健センター＞

保健センターでは健診や予防接種のほかに、健康相談や保健指導といった取り組みを実施しています。おもな事業内容はつぎのとおりです。

運営は市の職員による直営で行われています。

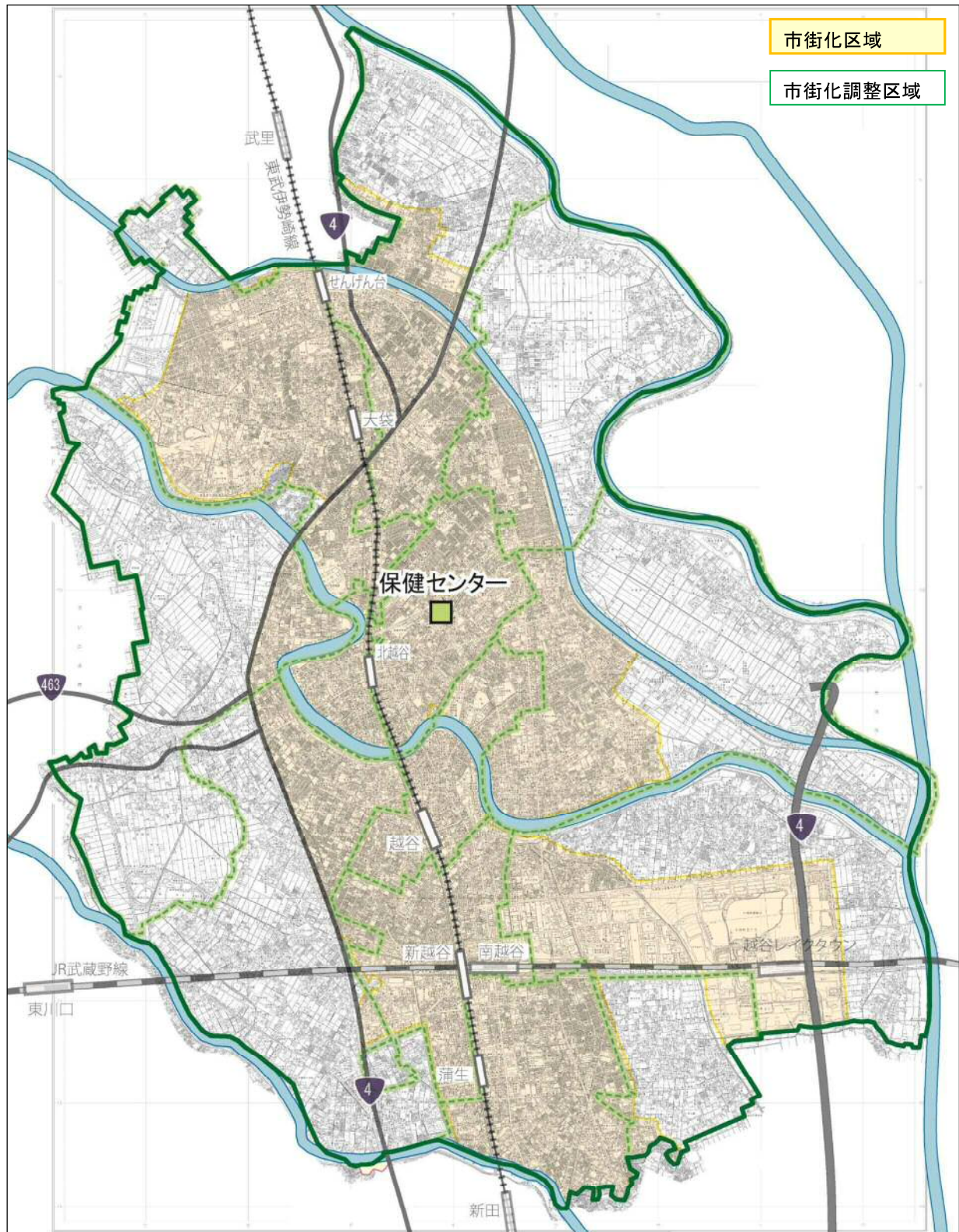
【保健事業】

■母子保健 4か月児健康診査 10か月児健康診査 1歳6か月児健康診査 3歳児健康診査 1歳6か月児・3歳児継続相談 - 特別発達相談 - 妊婦健康診査 - 妊婦歯科健康診査 - 母子健康手帳の交付 - 妊婦健康診査費用助成 - 母親学級・両親学級 - 乳幼児育児相談 - 母子訪問活動 - 低体重児の届出	■成人保健 - 健康手帳の交付 - 健康相談 - 健康教育 - 集団検診・保健指導 - 肝炎ウイルス検診 - 胃がん検診 - 子宮がん検診 - 乳がん検診 - 大腸がん検診 - 肺がん検診 - 結核検診 - がん検診推進事業 - 前立腺がん検診 - 骨粗しょう症検診 - 成人歯科健康診査 - 口腔がん検診 - 在宅訪問歯科保健事業 - 歯科健康診査及び歯科相談 - 機能訓練 - 自主訓練グループ - 訪問指導
■栄養指導 - 母子保健相談指導・母子栄養管理 - 成人栄養指導 - 食生活改善推進員地区組織活動 - 食生活改善健康づくり推進事業 - 食生活改善推進員養成講座 - 推進員の再教育事業	■予防接種 - 乳幼児等予防接種（定期接種） - 高齢者インフルエンザ予防接種

：保健センター内で行われている事業及び保健センター職員が出張・訪問して行っている事業

④ 配置状況

保健施設位置図



2) 利用実態

① 建物の状況

■ 保健センターのスペック情報

スペック一覧

No.	施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応						環境対応		
		建築年度	延床面積（㎡）	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2
1	保健センター	昭和62	2,484	不要	26		26	—	○	○	○	○	○	×	×	×	×

記載例

実施済み：○

未実施：×

不要：—

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

保健センターは、新耐震基準の建物ですが、建設から25年以上が経過しており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。また、バリアフリーが一部で未対応となっており、環境対応等を含め大規模修繕時等での計画的な改修が求められます。

３）コスト状況

■ 保健センターのトータルコスト

本施設の年間トータルコストは、約 20 億円です。

主な費用は健診等に関する委託費が約 16 億円となっており、全体の約 82 % を占めています。
その他、事業運営にかかる保健師等の職員人件費が約 3 億円などとなっています。

区分別にみると、施設にかかるコスト（修繕費・光熱水費・委託費等）が約 2,400 万円、事業運営にかかるコスト（運営委託費・人件費等）が約 20 億円、減価償却相当額が約 1,400 万円となっています。

行政コスト計算書

(円)

Ⅰ. 現金収支を伴うもの

【コストの部】		保健センター
施設にかかるコスト	修繕費	11,820,270
	光熱水費	5,679,683
	委託費	6,274,908
	使用料及び賃借料	100,275
	施設にかかるコスト 計…A	23,875,136
事業運営にかかるコスト	事業運営	
	委員報酬	148,500
	報償費等	2,205,403
	委託費	1,644,245,626
	使用料及び賃借料	21,795
	車両・備品購入費	317,205
	負担金補助及び交付金	3,990,475
	その他事業費	15,903,100
	小計…(ア)	1,666,832,104
	理学療法士・作業療法士	
	職員人件費	16,400,000
	小計…(イ)	16,400,000
	保健師	
	職員人件費	236,988,771
	小計…(ウ)	236,988,771
	事務・庶務	
	職員人件費	26,574,172
	小計…(エ)	26,574,172
	栄養士	
	職員人件費	16,400,000
	小計…(オ)	16,400,000
	事業運営にかかるコスト 計 (ア+イ+ウ+エ+オ)…B	1,963,195,047
現金収支を伴うコスト合計 (A+B)…①		1,987,070,183

【収入の部】

収入	分担金及び負担金(収入)	663,600
	使用料収入	326,495
	諸収入	240,000
	収入合計…②	1,230,095

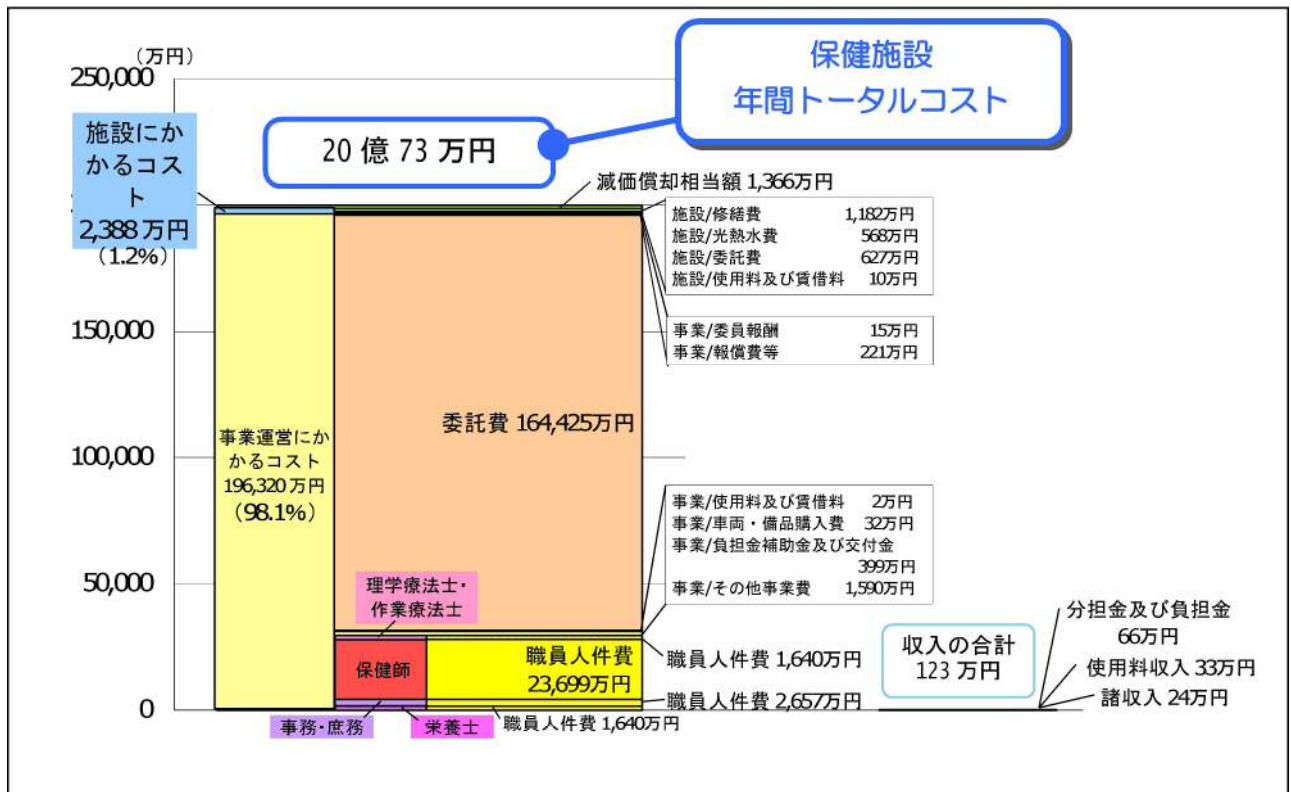
Ⅱ. 現金収支を伴わないコスト

減価償却相当額…③	13,661,727
-----------	------------

Ⅲ. 総括

コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)	2,000,731,910
収支差額(④-②)	1,999,501,815

トータルコスト



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

4) まとめ

- ・保健センターは耐震改修の必要はありませんが、建設から25年以上が経過しており、老朽化が進行しています。運営は、直営となっていますが、各種健（検）診や予防接種などの事業は医師会等へ委託しています。
- ・年間コストは約20億円となっており、各種事業の委託費が約16億円と約82%を占めています。今後は、老朽化による長寿命化計画を策定するとともに、工事コスト縮減に向けた材料や工法の選定を検討する必要があります。

（19）医療施設

1）施設概要

① 設置目的等

市立病院は急激な都市化と人口急増による医療機関の不足に対応するため、地域の基幹病院として計画され、昭和51年に診療を開始しました。その後も年々増大する医療需要に対応するため、増築工事等を実施するなど、病棟や外来、救急部門の充実が図られています。



市立病院

急患診療所は夜間における急病者の診療を確保するため、平成14年に小児夜間急患診療所が、平成24年に旧看護専門学校の施設の一部を改修し、成人夜間急患診療所が設置されています。

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	複合・併設施設	備考
1 市立病院	東越谷十丁目47番地1	31,158.62	昭和50	鉄骨鉄筋 コンクリート造		
2 成人夜間急患診療所	東越谷十丁目81番地	380.86	昭和48	鉄骨鉄筋 コンクリート造		平成24年に設置
3 小児夜間急患診療所	神明町二丁目60番地1	506.89	平成14	鉄骨造		
合 計		32,046.37				

※小児及び成人夜間急患診療所を統合し、小児から成人を対象にした夜間急患診療所（面積 529.08 ㎡）を、保健所内に開設（平成 27 年 3 月 1 日から診療開始予定）

② 受付時間・休診日

施設名	受付時間	休診日
市立病院	午前8時30分～午前11時まで (但し、診療予約をしている者は午前8時～午後5時まで)	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日） (但し、救急は受付時間、休診日に関わらず診療)
成人および小児夜間急患診療所	午後7時30分～午後10時30分	年中無休

③ 事業内容

市立病院は地域の総合病院としての役割のほか、入院、治療を必要とする重症の救急患者の治療を行う二次救急病院として県東部地域の住民の医療・福祉向上を目指しています。運営は市の職員による直営で行われています。

夜間急患診療所は症状が軽症な内科系の患者の治療を行う一次救急医療の役割を担っており、運営は越谷市医師会に委託しています。

主な診療科目は次のとおりです。

<越谷市立病院>

内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科・婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科

<成人夜間急患診療所>（対象16歳以上）

内科

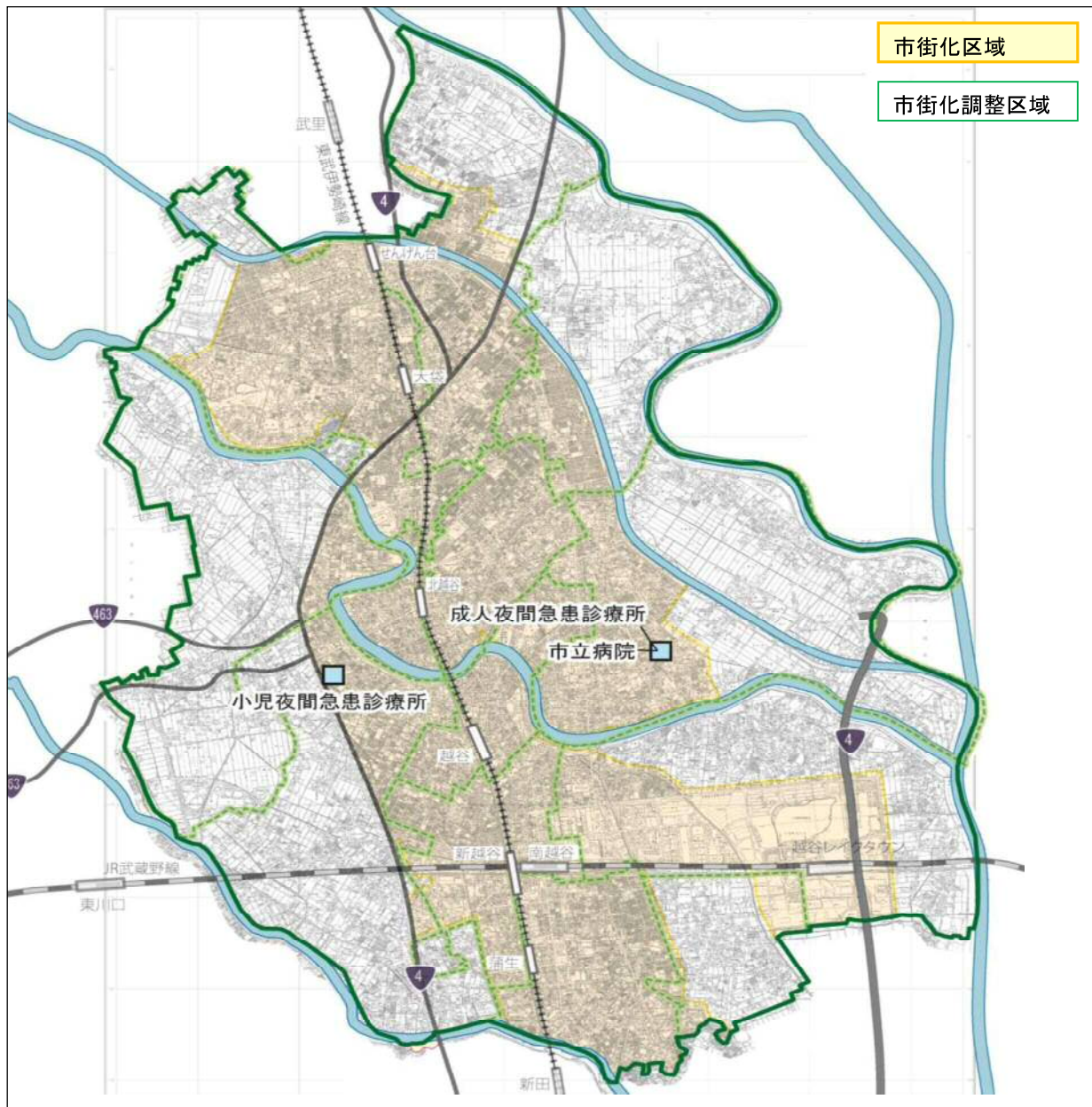
<小児夜間急患診療所>（対象16歳未満）

小児科（内科的疾患）

④ 配置状況

成人夜間急患診療所は旧看護専門学校施設の一部を改修し、市立病院に隣接した施設です。

医療施設位置図



2) 利用実態

① 建物の状況

■ 医療施設のスペック情報

スペック一覧

No.	施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応						環境対応		
		建築年度	延床面積（㎡）	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・壁面緑化等	環境対応設備※2
1	市立病院		31,159														
	市立病院既存棟	昭和50	16,515	実施済	38	平成9	16	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	市立病院増築棟	平成7	11,326	不要	18		18	—	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	市立病院エネルギーセンター棟	昭和50	2,245	実施中	38		38	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×
	市立病院西棟	平成23	1,072	不要	2		2	—	○	○	○	○	○	○	×	×	×
2	成人夜間急患診療所	昭和48	381	未実施	40	平成23	2	—	○	○	—	○	○	○	×	×	×
3	小児夜間急患診療所	平成14	507	不要	11		11	—	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	合計		32,046														

記載例

実施済み：○
未実施：×
不要：—

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置

※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

市立病院エネルギーセンター棟は、耐震診断を行った結果、耐震安全性の確保がされていないため、現在耐震化の工事に取り組んでいます。また、市立病院既存棟は建設から30年以上が経過しており、今後も建物の長寿命化を見据えた大規模改修を計画的に行う必要があります。

市立病院の既存棟や増築棟などは、環境対応が一部完了していないため、今後、大規模改修を実施する場合には計画的な改修等での対応が望めます。

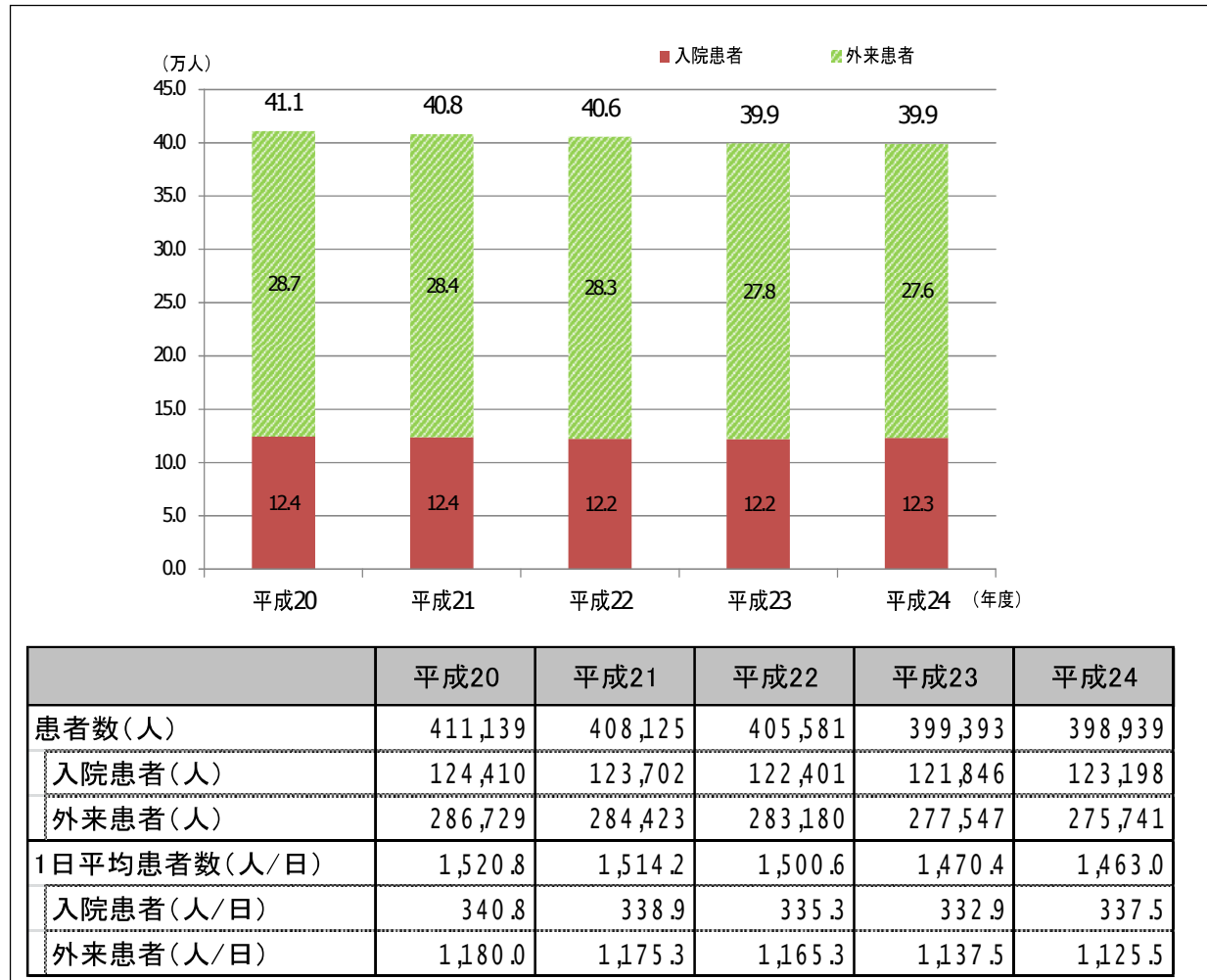
② 利用状況

＜市立病院＞

平成２４年度の患者数は、約３９万９,０００人です。そのうち、入院患者が約１２万３,０００人、外来患者が約２７万６,０００人となっています。

患者数は、平成２０年度から入院・外来患者数ともに減少していましたが、平成２４年度は入院患者数が増加しています。

患者数の推移



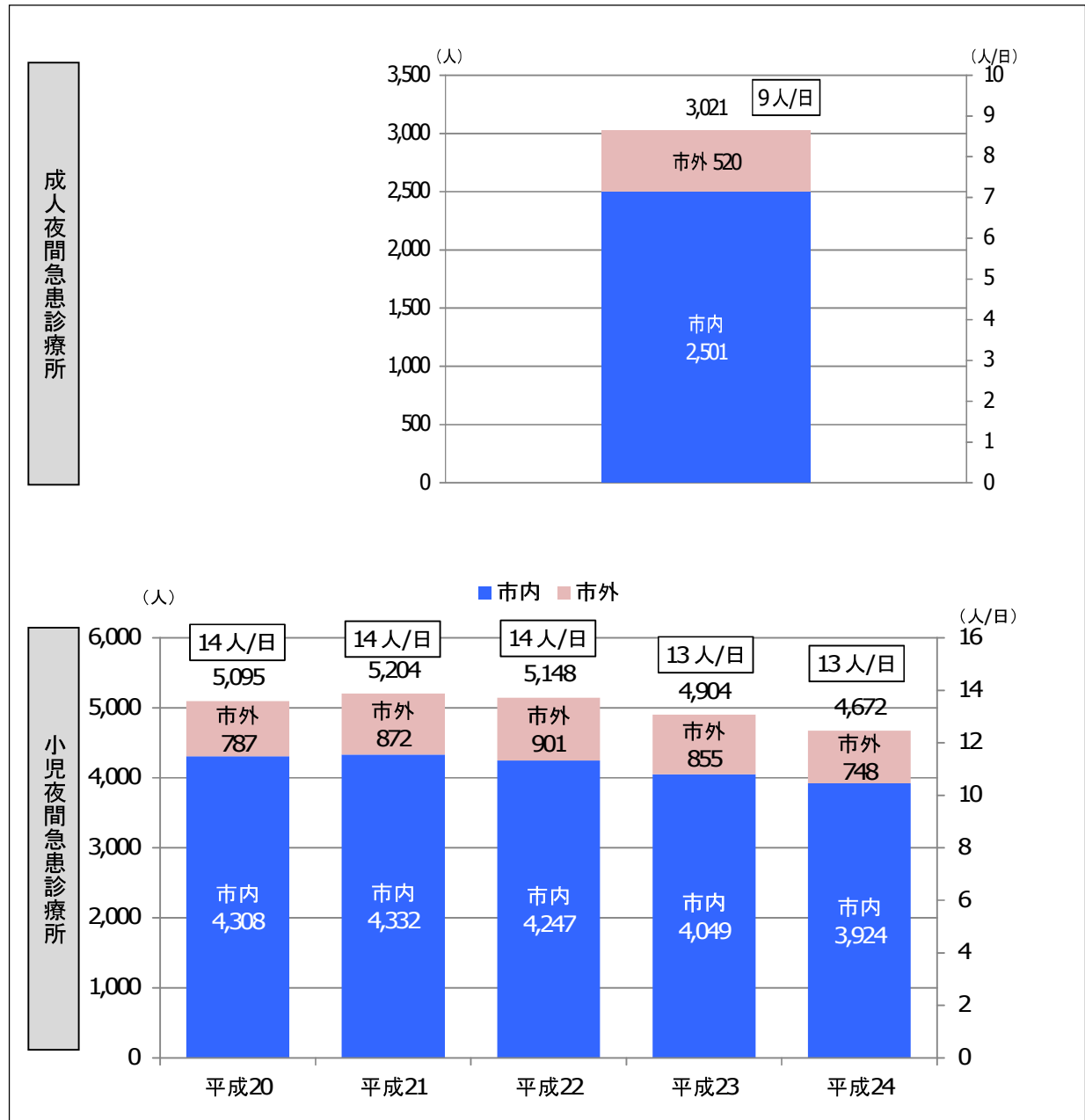
<成人夜間急患診療所・小児夜間急患診療所>

成人夜間急患診療所は、平成24年度に開所しており、平成24年度の受診者数は、年間約3,000人です。そのうち、市内が約2,500人（約83%）、市外が約520人となっています。

小児夜間急患診療所は、平成24年度の受診者数は、約4,700人です。そのうち、市内が約3,900人（約84%）、市外が約750人となっています。

直近5年間の推移をみると平成21年度の約5,200人をピークに減少傾向にあります。

受診者数



３）コスト状況

■ 診療所のトータルコスト

医療施設のうち急患診療所２施設の年間トータルコストは、約１億４０００万円となっています。主な費用としては、診療にかかる委託費が約１億２０００万円、施設の保守管理にかかる委託費が約５２０万円等となっています。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕費・光熱水費・委託費等）は約９８０万円（６．９％）、事業運営にかかるコスト（診療管理者報酬・委託費等）は約１億３０００万円（８９．４％）、減価償却相当額が約５３０万円となっています。

施設別行政コスト計算書

（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの
【コストの部】

		成人夜間 急患診療所	小児夜間 急患診療所	合計
施設に かかる コスト	修繕費	175,350	135,702	311,052
	光熱水費	1,502,696	1,203,128	2,705,824
	委託費	2,115,862	3,092,356	5,208,218
	使用料及び賃借料	34,860	1,581,810	1,616,670
	施設にかかるコスト 計…A	3,828,768	6,012,996	9,841,764
事業 運営に かかる コスト	診療管理者報酬	1,891,413	1,996,800	3,888,213
	委託費	58,233,966	61,459,043	119,693,009
	使用料及び賃借料	1,553,076	1,657,908	3,210,984
	車両・備品購入費	271,845	0	271,845
	その他事業費	286,590	292,523	579,113
事業運営にかかるコスト 計…B		62,236,890	65,406,274	127,643,164
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		66,065,658	71,419,270	137,484,928

【収入の部】

収入	使用料収入	828,403	112,578	940,981
	諸収入	13,510,591	47,852,065	61,362,656
	収入合計…②	14,338,994	47,964,643	62,303,637

Ⅱ.現金収支を伴わないコスト

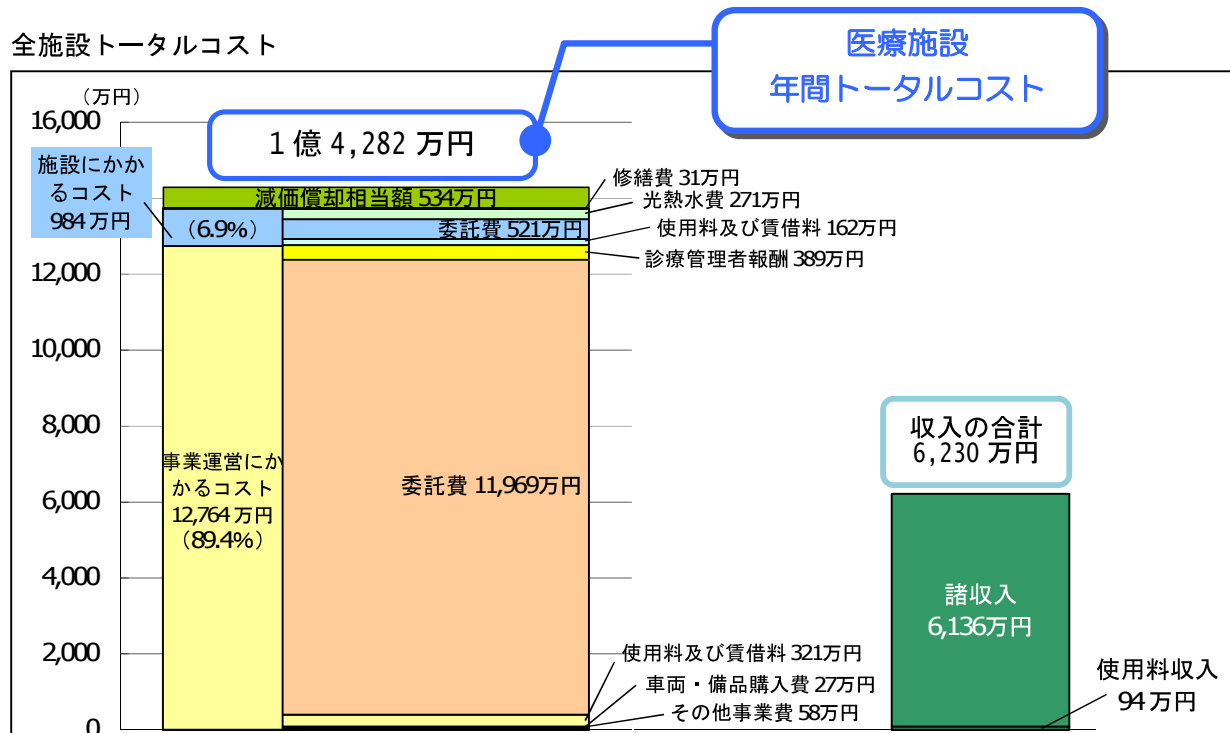
減価償却相当額…③	670,628	4,668,496	5,339,124
-----------	---------	-----------	-----------

Ⅲ.総括

コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)	66,736,286	76,087,766	142,824,052
収支差額(④-②)	52,397,292	28,123,123	80,520,415

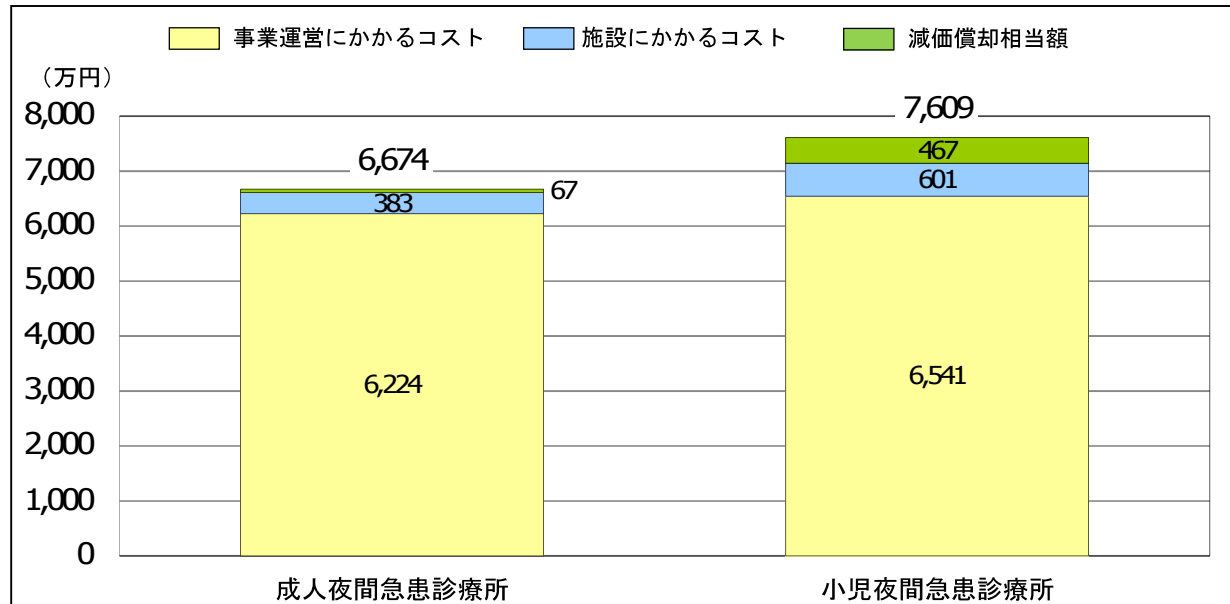
施設別トータルコストでは、成人夜間急患診療所が約 6,700 万円、小児夜間急患診療所が約 7,600 万円となっています。

全施設トータルコスト



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

施設別トータルコスト



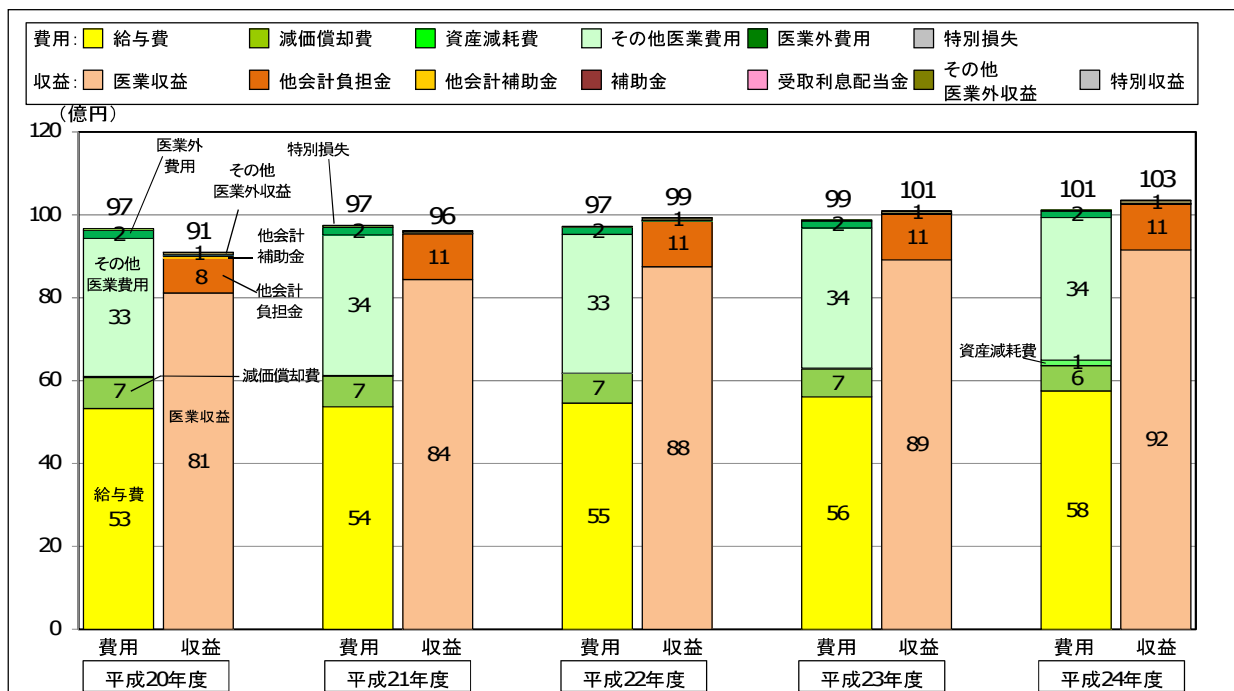
■ 市立病院のコスト状況

市立病院は地方公営企業法の財務規定を適用しています。平成24年度の病院収益は約103億5,000万円、費用は約101億2,000万円となっており、約2億3,000万円の黒字となっております。市の一般会計からは、救急医療など収益性を求めることが難しい事業の維持のため、平成24年度は11億円を支出しています。

損益計算書より

(万円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
医 業 収 益	858,010	897,548	929,786	946,100	973,458
うち、他会計負担金	46,220	53,692	54,550	54,550	58,000
医 業 費 用	943,386	951,731	952,922	968,149	993,523
給与費	532,851	536,712	545,683	560,878	575,045
減価償却費	74,662	74,473	71,703	67,487	61,136
その他医業費用	335,873	340,546	335,536	339,784	357,342
医業損益	△ 85,376	△ 54,183	△ 23,135	△ 22,049	△ 20,065
医 業 外 収 益	51,156	63,512	62,973	62,834	61,424
うち、他会計負担金・他会計補助金	41,780	56,308	55,450	55,450	52,000
医 業 外 費 用	18,959	18,351	17,415	16,782	15,831
医業外損益	32,197	45,162	45,558	46,052	45,592
特 別 利 益	61	83	12	27	22
特 別 損 失	4,710	4,442	2,121	2,870	2,571
当年度純損益	△ 57,828	△ 13,380	20,313	21,160	22,979
うち、他会計負担金・他会計補助金	88,000	110,000	110,000	110,000	110,000



4) まとめ

- 市立病院の耐震化工事は、現在実施中のエネルギーセンター棟を含め全ての旧耐震基準の建物で実施しており、問題はありません。今後は、建設から30年以上が経過している、既存棟とエネルギーセンター棟の老朽化対策が必要となっています。
- 成人夜間急患診療所と小児夜間急患診療所は現在、市立病院隣に建設中の越谷市保健所へ移設する予定となっており、現行施設の今後の活用等を検討する必要があります。また、運営は、市立病院は直営となっていますが、成人夜間急患診療所及び小児夜間急患診療所は越谷市医師会に委託しています。
- 年間の患者数は、市立病院では年間約39万9,000人と減少傾向ですが、平成24年度の入院患者数は増加していることから、病床稼働率も増加しています。小児夜間急患診療所の受診者数は約4,700人と減少傾向となっております。成人夜間急患診療所は平成24年度からの開設です。
- 年間コストは、市立病院は公営企業法の財務を適用し、市からの負担金を含めた収入は約103億円、支出が約101億円となっております。成人夜間急患診療所及び小児夜間急患診療所のトータルコストは合計で約1億4,000万円となっています。
- 医療施設は、市民の命を守り、健康を維持するためにこれからも必要な施設ですが、効率的な運用による費用の削減を検討する事が必要です。市立病院では、病床稼働率の上昇や新たな診療報酬の獲得による収益の増加、医療資材の適正管理やジェネリック医薬品の活用などによる費用の削減に取り組み、収益力の強化を図る必要があります。夜間急患診療所では今後予定される保健所との複合化による費用の抑制について、検討を行う必要があります。